

# 官報 號外

大正十年三月十九日 土曜日

印刷局

第四十四回衆議院議事速記録第三十號

大正十年三月十八日(金曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第二十九號 大正十年三月十八日

午後一時開議

- 第一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託ス(キ委員ノ選舉) 第一讀會
- 第三 製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託ス(キ委員ノ選舉) 第一讀會
- 第五 簡易生命保險特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託ス(キ委員ノ選舉) 第一讀會
- 第七 樺太ノ地方制度ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託ス(キ委員ノ選舉) 第一讀會
- 第九 樞密院官制改正ニ關スル建議案(副島義一君提出)
- 第十 科學知識普及ニ關スル建議案(鈴木鏡藏君提出)
- 第十一 商務省及工務省設置ニ關スル建議案(與村安太郎君外一名提出)
- 第十二 癲狂院増設ニ關スル建議案(中馬與九君外三名提出)
- 第十三 傳染病豫防法改正ニ關スル建議案(松下禎二君外三名提出)
- 第十四 中央線淺川驛鹽山驛間電力速成ニ關スル建議案(三枝彦太郎君提出)
- 第十五 賣藥營業稅廢止ニ關スル建議案(高見之通君外二名提出)
- 第十六 大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案(山口義一君外四名提出)
- 第十七 國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案(日野辰次君外一名提出)
- 第十八 櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案(津野田是重君外九名提出)

- 第十九 勢江鐵道速成ニ關スル建議案(天春文衛君外七名提出)
- 第二十 西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案(成田榮信君外五名提出)
- 第二十一 溫泉政策ニ關スル建議案(成田榮信君外一名提出)
- 第二十二 港灣行政ニ關スル建議案(三善清之君外四名提出)
- 第二十三 鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案(禱苗代君外七名提出)
- 第二十四 三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(井上角五郎君外三名提出)
- 第二十五 酒造稅法中改正ニ關スル建議案(中村清造君外四名提出)
- 第二十六 農產物收穫調査及農家經濟調査確立ニ關スル建議案(土井權大君提出)
- 第二十七 軍人恩給法中改正ニ關スル建議案(近藤達兒君提出)
- 第二十八 清酒ノ滓引及貯藏減量控除額増加ニ關スル建議案(山邑太三郎君外二名提出)
- 第二十九 相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案(伊坂秀五郎君外四名提出)
- 第三十 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外三名提出)
- 第三十一 柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外三名提出)
- 第三十二 濃飛鐵道速成ニ關スル建議案(匹田銳吉君外三名提出)
- 第三十三 僧侶其ノ他諸宗教師ニ被選舉權附與ニ關スル建議案(安藤正純君提出)
- 第三十四 東京外國語學校修業年限延長ニ關スル建議案(菅原傳君外三名提出)
- 第三十五 北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(伊藤廣鏡君外四名提出)
- 第三十六 木次三次間鐵道建設ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)

- 第三十七 落合木次間鐵道起工年度繰上ニ關スル建議案(佐野正雄君外五名提出)
- 第三十八 日向沿岸國庫補助港設定ニ關スル建議案(長峰與一君外二名提出)
- 第三十九 恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)
- 第四十 福山三次間鐵道速成ニ關スル建議案(永屋茂君外三名提出)
- 第四十一 吉野縱貫鐵道建設ニ關スル建議案(岩本平藏君外三名提出)
- 第四十二 癲狂院關係法規改正ニ關スル建議案(中馬與九君外二名提出)
- 第四十三 山田川ニ河川法適用ニ關スル建議案(原田藤次郎君外五名提出)
- 第四十四 鴨綠江岸道路修築ニ關スル建議案(高見之通君外五名提出)
- 第四十五 京都監獄移轉ニ關スル建議案(藤次郎君外三名提出)
- 第四十六 六大都市特別市制速成ニ關スル建議案(與村安太郎君外三名提出)
- 第四十七 國幣大社大山祇神社昇格ニ關スル建議案(深見寅之助君外五名提出)
- 第四十八 國幣大社大山祇神社國寶殿建築ニ關スル建議案(深見寅之助君外五名提出)
- 第四十九 山田豐岡間鐵道速成ニ關スル建議案(長田桃藏君外二名提出)
- 第五十 富山伏木間鐵道建設ニ關スル建議案(高見之通君外三名提出)
- 第五十一 松江隱岐間海底電線増設速成ニ關スル建議案(若林德懋君外五名提出)
- 第五十二 金融機關整備ニ關スル建議案(河上哲太君外十一名提出)
- 第五十三 思想問題審議機關設置ニ關スル建議案(星島二郎君提出)
- 第五十四 米麥多收穫獎勵ニ關スル建議案(多木久米次郎君外一名提出)
- 第五十五 大直鐵道建設速成ニ關スル建議案(吉良元夫君外三名提出)

第五十六 織物消費稅交付金増額ニ關スル建議案(竹上藤次郎君外三名提出)

第五十七 函館釜谷間鐵道速成ニ關スル建議案(黒住成章君外一名提出)

第五十八 酒造稅法中改正ニ關スル建議案(日野辰次君外十名提出)

第五十九 朝鮮ニ於ケル植林事業保護ニ關スル建議案(松山常次郎君外二名提出)

第六十 大田瀧原間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(平田民之助君外四名提出)

第六十一 國立綿業試驗所設置ニ關スル建議案(深見寅之助君外五名提出)

第六十二 福相鐵道速成ニ關スル建議案(鐸木三郎兵衛君外七名提出)

第六十三 癘兵優遇及軍人遺族扶助料改正ニ關スル建議案(津野田是重君外二名提出)

第六十四 高田川井間鐵道速成ニ關スル建議案(菊池長右衛門君外三名提出)

第六十五 衛生行政機關ノ統一及擴大ニ關スル建議案(山田永俊君外五名提出)

第六十六 精神病院法施行促進ニ關スル建議案(山田永俊君外五名提出)

第六十七 穀物檢査統一ニ關スル建議案(田中萬逸君外二名提出)

第六十八 平小名濱間鐵道速成ニ關スル建議案(白井博之君外六名提出)

第六十九 陸軍給與令改正ニ關スル建議案(仙波太郎君外三名提出)

第七十 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外四名提出)

第七十一 米穀貯藏方法調査研究ニ關スル建議案(山口嘉藏君外四名提出)

第七十二 日本大博覽會開設ニ關スル建議案(竹澤太一君提出)

第七十三 境飯能間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(山崎猛君外十名提出)

第七十四 江戶崎境間及佐貫佐野間鐵道速成ニ關スル建議案(市村貞造君外十一名提出)

第七十五 自治體ノ貯蓄銀行經營ニ關スル建議案(赤田瑳一君外一名提出)

第七十六 航行中ノ船舶乗込船員ノ投票權行使ニ關スル建議案(植原悅二郎君外一名提出)

第七十七 學校衛生ノ振興改善ニ關スル建議案(山田永俊君外五名提出)

第七十八 第五回極東競技大會派遣選手援助ニ關スル建議案(鳩山一郎君外一名提出)

第七十九 三國港築港ニ關スル建議案(野村勘左衛門君外四名提出)

第八十 北海道鐵道速成ニ關スル建議案(松實喜代太君外七名提出)

第八十一 養蠶業並絹絲工業調査會設置ニ關スル建議案(飯塚春太郎君外四名提出)

第八十二 水産銀行設置ニ關スル建議案(鶴澤宇八君外四名提出)

第八十三 縣社乃木神社昇格ニ關スル建議案(横田千之助君外二名提出)

第八十四 斐伊川治水工事速成ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)

第八十五 長崎五島佐世保間交通運輸ノ設備ニ關スル建議案(牧山耕藏君外三名提出)

議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

簡易生命保險特別會計法中改正法律案

樺太ノ地方制度ニ關スル法律案

(以上三月十七日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

支那共和國留學生教育ニ關スル建議案

提出者 一宮房治郎君

日本海沿岸鐵道完成ニ關スル建議案

提出者 田邊 熊一君

高橋金治郎君

枝口 義矩君

齋藤巳三郎君

千曲川鳴瀬川江合川改修工事費國庫補助増額ニ關スル建議案

提出者 遠藤 良吉君

菅原 傳君

中島 麟六君

澤 來太郎君

伊澤平左衛門君

野副 重一君

高橋長七郎君

春日 俊文君

樋口 秀雄君

降旗元太郎君

森山儀文治君

佐藤寅太郎君

小坂 順造君

塚原 嘉藤君

花岡 次郎君

仁淀川外五川改修費國庫支辨ニ關スル建議案

提出者 水野吉太郎君

坂本素魯哉君

大石 大君

國澤新兵衛君

竹内明太郎君

佐原松岸間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 濱口吉兵衛君

宮古啓三郎君

東洋文庫設立ニ關スル建議案

提出者 澤 來太郎君

田村順之助君

戶狩權之助君

福井 三郎君

清 峯太郎君

伊澤平左衛門君

(以上三月十八日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

血清販賣及之ニ關聯スル事項ニ關スル質問主意書

提出者 山田 永俊君

(以上三月十七日提出)

一 昨十七日內閣總理大臣ヨリ議長宛左ノ通發令アリ

タル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏省所管事務政府委員被仰付

農商務省所管事務政府委員被仰付

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 昨十七日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

馬籍法案

藏內次郎作君

前田 米藏君

松岡 俊三君

八田 宗吉君

成田直一郎君

伊藤 廣幾君

河崎 清君

川村 數郎君

山口 義一君

阪上 貞信君

岩切 重雄君

齋藤宇一郎君

阿由葉勝作君

小池 仁郎君

正木 照藏君

三浦得一郎君

大口 喜六君

佐々木平次郎君

一 昨十七日遠美鐵道速成ニ關スル建議案外二件委員

松浦五兵衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ三枝彦太郎

君ヲ府縣制中改正法律案外八件委員岡本幹輔君

辭任ニ付其ノ補闕トシテ淺川浩君ヲ航空事業ノ擴

張及其ノ行政機關ノ統一ニ關スル建議案委員改野  
耕三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鶴澤總明君ヲ、身元  
保證ニ關スル法律案委員森下龜太郎君辭任ニ付其  
ノ補闕トシテ上島益三郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定  
セリ

一昨十七日府縣制中改正法律案外八件理事補闕選  
舉ノ結果左ノ如シ  
府縣制中改正法律案外八件委員  
理事 野村 嘉六君(理事小山松壽君補闕)  
一今十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ  
馬籍法案委員  
委員長 藏内次郎作君 理事 八田 宗吉君  
齋藤宇一郎君  
大口 喜六君

○議長(奧繁三郎君) 會議ヲ開キマス、諮問事項ガアリマ  
ス、第四部選出懲罰委員三木武吉君、第六部選出懲罰委  
員作間耕逸君、右兩君ヨリ常任委員辭任ノ申出ガアリマ  
シタガ、許可スルニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ之ヲ許  
可スルコトニ決シマシタリ 横山勝太郎君ニ御紹介シマス  
ガ、一昨日議長ヨリ横山君ノ演說中、或ル言葉ニ對シテ、  
御注意ヲ申上ゲタ點ガ二點アリマシタガ、君ハ速記ヲ見  
タ上ノコトニスルト云フ御言葉デアリマシタガ、君ハ速記  
御覽デシタデセウ、議長モ速記ヲ調ベマシタガ、議長ハ其中  
ノ一點、憲法皇室典範ノ引用セラレタルコトニ就テ御注意  
ヲ申シマシタコトハ是ハ演說ノ前後ノ聯絡等ヲ調ベマスル  
ト、議長ガ御注意申上ゲタヤウナ廉ヲ發見シマセヌ、故ニ此  
點ニ對スル御注意ハ議長ニ於テ撤回致シマス、(公平)ト呼  
フ者アリ)ソレカラ内務大臣ニ對シテ御發言ハ、矢張議長  
ガ注意致シタヤウニ、不忠不義ノ臣ト云フコトデアリマス、

〔内務大臣ガ冷カナル態度デアリマス以上ハ私ハ上皇室ニ  
對シテ不忠不臣〕ト申サレテ居リマス、其前ニモアリマス是ハ  
不穩當ト認メマスカラ取消ノコトヲ勸告致シマス  
○横山勝太郎君 極メテ簡單デアリマスカラ此席ヨリ一  
言ヲ御許ヲ願ヒタイ、一昨日ノ議場ニ於テ、只今議長ヨリ  
御注意ノ點ニ對シテ、當時私ヨリ斯ク申上ゲテ置キマシタ  
〔只今議長ノ御忠告ガゴザイマシタガ、私ハ國務大臣ニ對シ  
テ無禮ニ當ルト云フ點ニ就テハ、議長ト私ト見解ヲ異ニ致  
シマスガ、私ガ斯ク申シタノハ、上皇室ニ對シテ恐懼ノ至リニ  
堪ヘザルガ故ニ、斯ノ如キ言論ヲ致シタノデアリマス、故ニ内  
務大臣ニシテ、此表參道ノ問題ニ關シテ責任ヲ明カニセラ  
レタ暁ニ於テハ、私ハ斯様ナ言ヲ取消スカモ知レマセヌガ、今

日ノ如ク内務大臣ガ冷カナル態度デアリマス以上ハ、私ハ  
上皇室ニ對シテ不忠不臣ト申シマシタ言葉ハ取消シマセ  
ヌ〕ト斯ク御答致シテ置キマシタ、其後深切ナル議長ノ御忠  
告ニ基イテ、詳細速記ヲ調査致シマシタ、成程速記録ノ  
上ニ於キマシテハ、議長御忠告ノ如キ文章ニ相成テ居ルト  
云フ事柄ハ私モ之ヲ承認致シマス、然レドモ當時議長モ御  
承知ノ通り當日ノ議場ノ光景ハ、其原因那邊ニ在ルカハ  
存ジマセヌケレドモ、非常ナル騷擾紛擾ヲ醸シタル議場デゴ  
ザイマシテ、私ノ發言ガ悉ク一言半句モ間違ナク速記ノ上  
ニ現ハレテ居ルカドウカモ、私トシテモ非常ニ疑ヲ持テ見ル  
ベキ狀況デアッタト云フ事柄ハ、御承知ノ通りデアリマス、デ  
議長ノ御忠告ノ通り、私ハ徒ラニ國務大臣ニ對シテ無禮ノ  
言語ヲ弄スルト云フ心事ハ毛頭持テ居リマセヌ、此故ニ當  
時私ノ申上ゲマシタ趣意ハ、此明治神宮參道ノ問題ニ關シ  
テ、内務大臣ハ直接ノ責任ハナイケレドモ、東京市經營ノ  
事業ニ關シテハ、其事項ガ内務行政ノ一部タル關係ニ於テ  
内務大臣ハ責任ガ有ルモノデアリ、然レニ今日ニ至ルマデ内  
務大臣ガ其責任ガ有ル事柄ヲ事實ノ上ニ於テ御現シニ  
ナラヌト云フ點ハ、私ハ甚ダ上皇室ニ對シテモ、不忠不臣ト  
ナル次第デアルト斯様ニ申上ゲタノデアリマス、此故ニ内務  
大臣ニシテ今少シク言動ヲ明瞭ニセラレテ、無論直接ノ責  
任ハ無イケレドモ、内務行政ノ一部トシテ、責任ガ有ルモ  
ノデアルト云フ事柄ヲ明瞭ニシテ吳レマスルナラバ、私ハ無  
論斯ノ如キ發言ヲ爲スノデアリマセヌ、無論斯ノ如キ發言  
ハ取消シテモ宜シウゴザイマスガ、今日ノ程度ニ於キマシテ  
ハ、過日斷言致シマシタ通り、私ハ誠心誠意上皇室ニ對  
スル關係ニ於テ、内務大臣ノ爲サレマスル行動ハ、甚ダ穩當  
ヲ缺イテ居ルト信ジマスカラシテ、其意味ニ於テ前日ノ私ノ  
發言ハ取消ヲ致シマセヌ、併ナガラ深切ナル議長ノ注意ノ  
アル所ハ、私ハ之ヲ服膺致シテ置ク考デアリマス是ダケヲ申  
上ゲマス

○議長(奧繁三郎君) 少シ曖昧デスガ、議長ノ好意——注  
意ハ服膺スルト云フコトハ、ソレニ從フト云フ意味デスカ  
○横山勝太郎君 議長ガ本員ニ對シテ御深切ニ忠告下  
サル點ニ於テハ、私ハ議員トシテ感謝ノ意ヲ表白致シマス  
ガ、取消ヲセヨト云フ命令ニ對シテハ、斷ジテ承認スルコトハ  
出來ナイト云フ意味デアリマス

○議長(奧繁三郎君) 一寸横山君ノ命令スルカモ知レヌ、  
只今ハ好意ヲ以テ貴方ニ自省ヲ望ンデ居リマス、ソレデレ  
ニ對シテ明カナル答ヲ得タイノデアリマス、服膺スルト仰シ  
ヤレバ、此方ノ忠告ニ從フト云フ意味デスカ  
○横山勝太郎君 折角デゴザイマスルガ、御忠告ニハ應ジ  
ラレマセヌ

○議長(奧繁三郎君) 更メテ横山君ニ申シマス、横山君  
ガ不忠不義ノ臣ト内務大臣ニ對シテ言ハレタノハ無禮ノ言  
ト認メマス、仍テ之ガ取消シテ命令シマス  
〔ノウ〕ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 横山君、此命令ニ從ヒマスカ、ドウ  
デス  
〔男ヲシクヤレ〕ト呼フ者アリ

○横山勝太郎君 幾度申上ゲテモ同ジ事デアリマス  
○議長(奧繁三郎君) 横山君ハ議長ノ命令ニ從ヒマセヌ  
カラ、此行爲ヲ懲罰委員ニ付シマス(拍手起ル)——日程ニ  
入りマス、日程第一、關稅定率法中改正法律案ノ第一讀  
會ヲ開キマス

### 第一 關稅定率法中改正法律案(政府提 出)

關稅定率法中改正法律案 第一讀會  
第二條 從價稅品ハ輸入ノ際ニ於ケル到着價格ニ依  
リテ課稅ス

第九條 輸入原料品ニシテ命令ヲ以テ指定シタル輸出  
品ノ製造ニ使用スルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其  
ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコト  
ヲ得  
輸入原料品ニシテ亞鉛華、厚〇、二五ミリメートルヲ  
超エサル亞鉛薄板又ハ命令ヲ以テ指定シタル肥料ノ  
製造ニ使用スルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸  
入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得  
前二項ノ規定ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ爲ス場合ニ於テハ  
輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得  
詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ第一項又ハ第二項ノ  
拂戻ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ハ關稅法第七十五  
條ノ例ニ依リ處分ス

第十條 船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用スル鐵鋼材、鐵裝  
品、鐵裝品中部分品、機關又ハ機關部分品ニシテ命令  
ヲ以テ指定シタルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ  
輸入稅ヲ免除スルコトヲ得  
別表輸入稅表中左ノ如ク改ム

第二十九號中「二」及「木藍」ヲ「木藍及甜菜」ニ改ム  
第一百十號中「四、五〇」ヲ「一、〇〇」ニ改ム  
第一百十一號中「一、七〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム  
第一百十四號中「三、四五」ヲ「一、〇〇」ニ改ム  
第一百六十三號中「〇、七〇」ヲ「一、五〇」ニ改ム

第六十五號ヲ左ノ如ク改ム

一六五 曹達灰及天然曹達

同 一〇、三五

第六十七號中「四、六〇」ヲ「一五、六〇」ニ改ム

第七十二號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一七三 安息香酸曹達

同 三割五分

第二百一十一號中「鹽酸コカイン及」ヲ削ル

第二百一十一號ノ次ニ左ノ如ク加フ

三二 鹽酸コカイン

同 三割五分

第二百五十九號ノ次ニ左ノ如ク加フ

三九 石炭タール、瀝青又ハ土瀝青

ノ製品ニシテ道路修築用ノモ

無 稅

第四百十八號中「白金粉ヲ有スルモノヲ含ム」ヲ削ル

第四百六十二號第一項ヲ左ノ如ク改ム

二 塊及錠(シートバー及テイ

ンバーヲ含ム)

甲 銑鐵

乙 スピーゲルアイゼン、フェ

ロマンガニス其ノ他ノ

不可鍛性鐵合金

同 從價一割

丙 其ノ他

同 從價一割二分

同號第二項中「每百斤」ヲ「同二、〇、六〇」ヲ「一割五分」ニ改ム

分三、第三項中「〇、九〇」ヲ「一割五分」ニ改ム

同號第四項ヲ左ノ如ク改ム

四 板

甲 金屬ヲ鍍セサルモノ

甲ノ一 有紋ノモノ

甲ノ二 波形ノモノ

甲ノ三 其ノ他

イ 厚〇、七ミリメー

トルヲ超エサルモノ

ロ 其ノ他

乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ

乙ノ一 錫鍍シタルモノ

(葉鐵及葉鋼)

イ 尋常ノモノ

ロ 品鍍、有紋其ノ他

乙ノ二 電鍍シタルモノ

(波形ト否トヲ別タス)

乙ノ三 其ノ他

同號第五項ヲ左ノ如ク改ム

五 線

甲 金屬ヲ鍍セサルモノ

乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ

乙ノ一 電鍍シタルモノ

乙ノ二 錫鍍シタルモノ

乙ノ三 其ノ他

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同號第六項中「每百斤」ヲ「同三、一、八五」ヲ「一割五分」ニ、第七項中「一、五〇」ヲ「一割五分」ニ改ム

同號第八項ヲ左ノ如ク改ム

八 帶(捲鐵)

同 一割五分

同號第九項中「每百斤」ヲ「同三、四、一〇」ヲ「一割五分」ニ、從價ヲ「同三、第十項中「每百斤」ヲ「同三、六、〇〇」ヲ「一割三、第十一項中「二、二〇」ヲ「一割三、改

ム

同號第十二項ヲ左ノ如ク改ム

十二 筒及管(別號ニ掲ケサ

ルモノ)

甲 金屬ヲ鍍セサルモノ

甲ノ一 エルボー及ジョイ

ント

イ 不可鍛性ノモノ

ロ 其ノ他

甲ノ二 其ノ他

イ 鑄タルモノ

ロ 其ノ他

乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ

同 從價一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

第四百八十四號中「一、九〇」ヲ「二、八〇」ニ改ム

第四百八十五號中「一、九五」ヲ「二、九〇」ニ改ム

第四百八十八號中「同」ヲ「從價三、一、九五」ヲ「一割五分」ニ改ム

第四百八十九號第一項中「從價」ヲ「同三、第二項中「ギアリングチエーン」ノ下ニ(自轉車用ノモノヲ含ム)ヲ加ヘ「二、〇〇」ヲ「三、八〇」ニ改ム

第四百九十三號中「六、四〇」ヲ「七、六〇」ニ改ム

第四百九十四號中「一、二〇」ヲ「一、二、四〇」ニ改ム

第四百九十六號第一項中「每百斤」ヲ「從價三、二、五五」ヲ「一割三、第二項中「四、〇〇」ヲ「一割三、第三項中「同」ヲ「每百斤」ニ、一、一、六〇」ヲ「一、三、七〇」ニ、第四項中「一、五、九〇」ヲ「一、七、〇〇」ニ、第五項中「二、一、〇〇」ヲ「二、三、〇〇」ニ、第六項中「五、一五」ヲ「五、六〇」ニ、第七項中「二、七、九〇」ヲ「三、三、八〇」ニ、八、〇〇」ヲ「一、八、九〇」ニ、九、七〇」ヲ「一、五、六〇」ニ、一〇、〇〇」ヲ「一、四、四〇」ニ、第八項中「一、二、五〇」ヲ「一、四、一〇」ニ、第九項中「二、〇、一〇」ヲ「二、三、〇〇」ニ、第十項中「四、一〇」ヲ「五、〇〇」ニ、一、一〇」ヲ「一、三、六〇」ニ改ム

第四百九十八號中「七、八〇」ヲ「八、二〇」ニ改ム

第四百九十九號中「四、六五」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第五百五號中「五〇、五〇」ヲ「五四、二〇」ニ改ム

第五百六號中「〇、一〇」ヲ「〇、一六」ニ改ム

第五百六號中「八、八五」ヲ「九、七〇」ニ改ム

第五百二十四號中「一、七〇」ヲ「一、三、六〇」ニ、一、〇〇」ヲ「一、三、〇〇」ニ、七、五〇」ヲ「八、五〇」ニ、五、〇〇」ヲ「六、〇〇」ニ改ム

第五百三十號中「一、一、六〇」ヲ「一、六、七〇」ニ改ム

第五百六十二號中「一、四〇」ヲ「三、三〇」ニ、五〇」ヲ「二、四〇」ニ、三、〇〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第五百六十五號中「一、六、〇〇」ヲ「一、六、六〇」ニ改ム

第五百六十六號中「原動力機」ア下ニ「及錠」ヲ加ヘ「錠」ヲ削リ「一、八、一〇」ヲ「二、一、〇〇」ニ、三、一、四〇」ヲ「三、二、九〇」ニ、九、七〇」ヲ「一〇、五〇」ニ改ム

第五百六十九號中「三、七〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第五百七十號第二項ヲ左ノ如ク改ム

二 コルゲーテッドポイラー

フアーネスチエーブ

同 二、四五

同號第三項ヲ左ノ如ク改ム

三 フランジドポイラープレート

同 四、一〇

同號ニ左ノ如ク加フ

四 其ノ他

從價二割五分

第五百七十三號中「七、六〇」ヲ「九、〇〇」ニ改ム  
「一〇、六〇」ニ改ム

第五百七十四號中「ボータブルスチームエンジン及スチ  
ームロードローラー」ヲ「ボータブルスチームエンジン」ニ  
改ム

第五百八十三號中「四、二〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム  
「五、二〇」ヲ「六、六〇」ニ改ム  
同 五、九〇  
五七四ニスチームロードローラー

第五百八十五號中「五、〇〇」ヲ「五、九〇」ニ改ム  
第五百九十八號中「二、四〇」ヲ「二、九〇」ニ改ム  
第六百五號中「二八、四〇」ヲ「三六、〇〇」ニ改ム  
「一六、〇〇」ニ改ム

第六百十二號第一項丙中「每立方メートル」ヲ削リ「四、  
二〇」ヲ「無稅」ニ改ム  
第六百十九號ノ次ニ左ノ如ク加フ  
第六百十九號ノ次ニ左ノ如ク加フ  
六九三白金又ハ白金鹽類ヲ含ム媒

無稅

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○三木武吉君 私ハ議事ノ進行ニ關スル發言、特ニ私ノ  
身上ニ關スル事ニ就テ、議長ニ御尋シタト思ヒマス

○議長(奧繁三郎君) 今日程第一ニ入ルコトヲ宣言シマ  
シタカラ、之ヲ濟マセテ後ニ許シマス

〔國務大臣子爵高橋是清君登壇〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 關稅定率法中改正法  
律案提出ノ理由ヲ簡單ニ說明致シマス、本案ノ第一ノ骨  
子ト致シテ居リマス所ハ、製鐵並ニ造船事業ノ發達ヲ圖ル  
點アリマシテ、之ニ就キマシテハ、政府ハ豫テ臨時財政經  
濟調査會ニ諮問ヲ致シテ居リマスガ、最近ニ於テ其答申ヲ  
得マシタノデ、其等ヲ斟酌致シマシテ、鐵ハ銑鐵ヲ除クノ外、  
大體ニ於テ從價一割五分程度ノ課稅ヲ致スコト、致シ、之  
ニ件ヒマシテ、鐵ノ製品及機械類ノ稅率モ權衡上幾分ノ  
引上ヲ行ヒマシタ、又造船事業ノ獎勵ニ就テハ、曾テ造船  
獎勵金ノ如キ制度ニ依リテ居タノデアリマスガ、今回ハ之ニ  
加フルニ、材料ノ輸入稅ヲ免除スルコト、致シタ次第デアリ  
マス、次ニ曹達亞鉛其他三種ノ物品ニ付キマシテモ稅率ノ  
改正ヲ加ヘテ、内地産業ノ獎勵ト、維持ヲ圖ルコト、致シマ  
シタガ、其結果ノ下關係ノアリマスル他ノ事業ニ、好マシカ  
ラザル影響ヲ及ボス點ニ就テハ、特ニ考慮ヲ加フル必要ガア  
ルノデアリマスカラ、例ヘバ亞鉛ノ如キ一般ニハ輸入稅率ヲ  
引上ゲマシタガ、内地ニ於テ亞鉛華及亞鉛薄板ノ製造ヲ致  
シマス場合ニ、原料トシテ輸入セラル、物ニ對シマシテハ、特  
ニ輸入稅ヲ免除、又ハ拂戻ヲ爲スコト、致シマシタ、尙ホ之

ニ附隨致シマシテ、現在行ハレテ居リマス戻稅ノ制度デアリ  
マスガ、是ハ手續上成ベク免稅ノ制度ニ改メルコトガ、官民  
共ニ利便ト認メマシタノデ、此點ニ就テ改正ヲ加ヘマシタ、  
又從價稅中ハ從來輸入港ニ到著シタル時ノ價格ヲ標準ト  
スルコトニナラセリマスガ、貨物ガ輸入港ニ到著シタル後、  
實際輸入セラル、ニ至ル迄ニハ、隨分時日ヲ要スルコトガア  
リマスカラ、其間ニ著シク相場ノ變動スル場合等モアリマス、  
故ニ成ベク貨物ガ實際ニ輸入セラル、際ノ實況ニ依ル適  
當ト認メマシテ、輸入手續ヲ爲スニ至リタル時期ヲ標準ト  
シテ其際ニ於ケル貨物ノ到著價格ニ依ルコト改正致シマ  
シタ、大要右ノ通りデアリマスガ、尙ホ委細ニ涉リマシテハ、  
委員會ニ於テ詳細說明致シマス、速ニ御審議ノ上協賛アラ  
ンコトヲ望ミマス

○議長(奧繁三郎君) 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員  
ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ  
選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指  
名アランコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ  
カ

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ岩崎  
君動議ノ如ク決シマシタ

○三木武吉君 昨日ノ議場ハ議長御承知ノ通りニ、終始混  
亂ヲ致シテ居リマシタ、隨テ議場ニ於ケル議員ノ發言並ニ  
議長ノ宣告ハ往々ニシテ徹底ノ缺點ノ狀態ガアリマシタ、取  
別ケ森田君ノ演說中ニ起リマシタ議長ト私ノ間ニ關ス  
ル事柄ハ、後ニ議長ノ御宣告並ニ同僚諸君ノ話ニ依リマシテ、  
稍、事實ノ真相ヲ捕捉スルコトハ出來マシタケレドモ、尙ホ  
十分ニ諒解スルコトノ出來ナイ事柄ガアリマスカラ、其點  
ニ就テ御尋致シタト思ヒマス、即チ森田君ガ演說中ニ私  
ガ或事ニ就テ發言ヲ求メタ時ニ、議長ハ之ヲ制止サレタ  
サウデゴザイマス、私ハソレヲ知ラズシテ更ニ發言ヲ求メマシ  
タ、所ガ議長ハ更ニ之ヲ制止シ、尙ホ其制止ニ應ゼザルノ理  
由ヲ以テ、私ニ退場ヲ命ゼラレタサウデゴザイマス、其退場ヲ  
命ゼラレテ、引續イテ直チニ議長ハ、私ヲ又懲罰委員ニ付ス  
ルノ宣言ヲセラレタサウデアリマス

○議長(奧繁三郎君) 岩本君、靜ニナサイ

○三木武吉君(續) 私議場ヲ退席致シテ更ニ再ビ入場致  
シマシタ際ニ、議長ハ更メテ宣告ニナリマシタ、其宣告ノ要

ハ、是亦十分ニ聽取レハ致シマセナカッタガ、私ノ退席ハ議長  
ノ命令ヲ遵守シタルカノ如クニ解セラレル、隨テ入場ヲ許ス  
ト云フコトヲ御宣告ニナラセヨウデゴザイマス、私懲罰ノ事實、  
退場ヲ命ゼラレタル事實ニ就テ、明確ナル知覺ヲ持ッテ居リ  
マセヌケレドモ、サウ云フ事ガアッタヤウナ氣持モ致シマスガ  
ラ御尋ヲ致スノデアリマスガ、私ニ對スル退場ノ命令ト、懲  
罰委員ニ附スル御宣告トハ、如何ヤウナル狀態ニナッテ居ル  
ノデゴザイマスガ、議長ノ昨日ノ御宣告ニ依リマスレバ、懲罰  
事犯トシテノ御宣告ハ、其意味ニ於テ取消サレタ如クニモ  
思ハレルノデゴザイマスガ、本日ノ公報ニ依リマスルト、私ハ  
懲罰委員ニ付セラレタルガ如クニモ見エルノデアリマス、此  
點ニ就テ更メテ議長ノ御宣告ヲ願ヒタト思ヒマス

○議長(奧繁三郎君) 三木君ニ御答スル前ニ御尋致シ  
マスガ、議長ガ昨日ノ御宣告事ハ速記ニ載テ居リマスカラ、  
今日更メテ宣告スル必要ハ無イ、但シ昨日ノ意思ヲ御尋ニ  
ナレバ、卒直ニ御答致シマス、昨日ハ三木君ガ度々發言セラ  
レマシタ、殊ニ森田君ノ演說中ニ發言サレマシタ、議長ノ許  
可ヲ得シテ發言サレマシタ故ニ、度々注意モ加ヘ、禁止モ  
致シマシタケレドモ、尙ホ止マラスシテ發言サレマシタカラ退  
場ヲ命ジマシタ、尙ホ速ニ退場ナサレト云フコトヲ二回許リ  
注意ヲ喚起致シマシタ、然ルニモ拘ラズ退場ナサレタ故ニ退  
場サレナカッタ故ヲ以テ、懲罰委員ニ付スルコトヲ云フコトヲ宣  
言致シマシタ、所ガ議長ハ今申シタヤウナ手續ヲ執リマシタ  
ガ、議院法並ニ規則ヲ見マスルト、退場命令ニ直チニ服從  
セザルノ故ヲ以テ、懲罰事犯ニ付スルコトヲ云フ手續ハアリマ  
ス、其故ニ議長ハ議長ノ制止ヲ背セザル故ヲ以テ退場ヲ命  
ズルカ、議長ノ制止ヲ背セザル故ヲ以テ懲罰事犯ニ付スル  
カ、下チラカ一ツノ方法ヲ執ッタ方ガ適當ナリト自覺シタコ  
トガアリマス、其瞬間ニ——而シテ暫クシテ三木君ハ議場  
ニ居ラレナカッタ、此瞬間ニ居ラレナイノカ、議長ノ退場命  
令ヲ遵奉シテ議席ニ居ラレナイノカ、他ノ故ヲ以テ居ラレナ  
イノカ、三木君ノ意思ハ付度出來マセヌ——付度出來マセ  
ヌガ、暫ク議席ニ居ラレマセナカッタ、擲ニ議長ガ速ニ退場ヲ  
サイト云フ其瞬間ニ退場ナサレタナラバ、議長ノ命令ヲ遵奉サレ  
タト見エマスガ、稍、經テ退場サレタカラ、意思ハ付度出來  
ナイ、サウシテ實ハ採決ノ際ニモ——或ハ總理大臣ノ演說ノ  
際ガ採決ノ際ニ於テ、若シモ三木君ガ議長ノ命令ニ從ッテ退  
場サレレテ居ルナラバ、入場ヲ許スト云フコトヲ御知ラセ申サ  
ウト存ジテ居ッタ頃ニ著カレタ、斯ウ云フ事實デアリマス  
ガ、其際議長ハ、善意ヲ以テ三木君ハ議長ノ命令ニ服從シ  
テ退場サレタモノト認メル、サウシテ今席ニ著カレルノハ之ヲ  
許ス、其通り申シタ、左様御承知アレ

○三木武吉君 懲罰ノ事ハドウナリマシタカ

七四三

官報號外 大正十年三月十九日 衆議院議事速記第三十號 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉





〔贊成々々〕下呼フ者アリ  
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス。日程第七、樺太ノ地方  
制度ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、永井樺太長  
官

### 第七 樺太ノ地方制度ニ關スル法律案 第一讀會

(政府提出)  
樺太ノ地方制度ニ關スル法律案

第一條 樺太ニ地方ノ事務ヲ處理セシムル爲町又ハ村  
ヲ置ク

第二條 町又ハ村ノ名稱及區域ハ樺太廳長官之ヲ定ム

第三條 町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第四條 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法律勅令ニ依  
リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第五條 町村ニ町村長ヲ置ク樺太廳長官之ヲ任免ス

第六條 町村ハ町村ノ事務ヲ擔任シ町村ヲ代表ス

第七條 町村ニ町村評議員ヲ以テ組織シ町村長ノ諮問ニ  
應ジ意見ヲ開申ス

第八條 町村評議員ハ名譽職トス町村ニ住所ヲ有スル者ニ就  
キ樺太廳支廳長之ヲ命ス

第九條 町村ハ法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費  
用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第十條 町村ハ前條ノ費用ニ充ツル爲町村税、使用  
料、手数料及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第十一條 町村ハ永久ノ利益ト爲ルヘキ事業、舊債償還  
又ハ天災事變ノ爲必要アル場合ニ限り借入金ヲ爲ス  
コトヲ得

第十二條 町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲必要アルトキハ其ノ會  
計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一時ノ借入金ヲ爲  
スコトヲ得

第十三條 本法ニ定ムルモノノ外町村吏員、町村評議會、  
町村評議員、町村ノ財務、町村ノ監督其ノ他ノ必要  
ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 本法ハ樺太廳長官ノ指定スル地域ニ付之ヲ  
適用ス

附則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○政府委員(永井金次郎君) 本案ニ就キマシテ説明ヲ申  
上ゲタイト思ヒマス、樺太ハ我が領有以來十有七年ヲ經過  
致シマシテ、其間國運ノ發展ニ伴ヒマシテ、樺太ノ拓殖モ追  
發展ヲ致シタ次第ゴザイマシテ、只今人口既二十一万ヲ

數フルニ至リマシテ、町村數ヲ構成致シマスト、六十二箇町  
村ヲ組織構成スルヤウナ次第ゴザイマス、隨テ此町村ニ於  
キマシテ、或ハ學校ノ經營、道路ノ施設、或ハ衛生上ノ設備  
其他諸般ノ公共事務ヲ起テ、居ル次第ゴザイマス、又一  
面ニ於キマシテハ行政事務ト致シマシテ、或ハ戶籍事務、或  
ハ土地ノ臺帳ノ事務、其他諸般ノ行政事務ガ複雑ニナタ  
次第ゴザイマス、然ルニ斯ノ如ク公共事務ガアリ、行政事  
務ガアルニ拘リマセズ、今日迄樺太ニ於キマシテハ、何等  
地方ニ關スル制度ガゴザイマセズ、甚ダ不利不便ヲ極メテ居  
ル次第ゴザイマス、就キマシテハ此不利不便ヲ除キマシテ  
住民ノ福利ヲ増進シ、併セテ公益ヲ進メテ行キマスニ就  
マシテハ、何等カノ制度ヲ設ケナクハレバナラヌト考ヘルノゴ  
ザイマス、併ナガラ之ヲ内地同様ノ町村制ヲ施クト云フコト  
ハ、今日樺太ノ民度ニ於キマシテ、不適當ナリト信ジテ居  
マスノデ、樺太ニ適當スル所ノ地方制度ヲ設ケタイ趣旨デ  
ゴザイマス、其内容ハ極ク簡單ゴザイマシテ、即チ樺太ノ町  
村ニ法律勅令ノ範圍内ニ於キマシテ、公共事務ヲ處理スル  
所ノ團體ヲ認メマシテ、而シテ或ハ租稅權ヲ認メ、或ハ起債  
權ヲ認メ、或ハ土地及財產ヲ所有スル所ノ權利ヲ認メ、或  
ト考ヘルノデアリマス、即チ簡單ナル法人團體ト致シマシテ、  
公共事務、並ニ其他諸般ノ權利ヲ若干認メタイト云フニ過  
ギナイノデアリマス、極メテ簡單ナル法案ゴザイマシテ、而シ  
テ其細部ノ事柄ハ總テ勅令ニ譲リタイ考デゴザイマス、右様  
ノ次第ヲ以テマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第ゴザイマ  
スカラ、何卒御審議ノ上ニ御協賛ヲ希望致シマス(拍手起  
ル)

### 第八 右讀案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ 選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名アラ  
ンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致  
シマス、即チ茲ニ清峯太郎君外十三名提出、議院本建築  
工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者岩切重雄  
君ノ説明ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望、マス

メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、議院本建築工事速成  
ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、岩切重雄君  
議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

### 議院本建築工事速成ニ關スル建議案 (清 峯太郎君外十三名提出)

議院本建築工事速成ニ關スル建議案

明治二十三年帝國議會開會ノ時期切迫セルニ際シ一  
時ノ應急手段トシテ假議院ヲ建築セラレタルモ不幸ニシ  
ル初期帝國議會開會中燒失セシヲ以テ同二十四年中  
急遽再建築ニ着手シ僅ニ二十箇月ヲ以テ落成セリ是レ即  
チ現在ノ假議院ニシテ今距離ルコト實ニ三十餘年前ナ  
リ爾來政府ニ於テモ議院ノ本建築ニ關シテハ屢調査セ  
ラルル所アリ去大正七年度ヨリ漸ク實施ノ緒ニ就キタル  
モ經費不足ニシテ豫定ノ進行ヲ見ル能ハス

然ルニ現在ノ假議院ハ固ヨリ狹隘不便ノ點多ク又年所  
ヲ經ルニ從ヒ漸次修繕費ノ増加ヲ求セルノミナラス今ヤ  
各部ノ腐朽結構ノ弛緩漸ク甚シキヲ加ヘ近時白蟻ノ被  
害モ少カラサルモアルヲ發見スルニ至レリ故ニ假令適  
當ナル修繕ヲ加フルトスルモ結局一時ヲ彌縫スルニ過キサ  
ルヘシ殊ニ近ク衆議院議員選舉法ノ改正ニ依リ議員ノ増  
加ヲ見狹隘不便益甚シク年々多額ノ工費ヲ投シテ擴張  
ニ次クニ擴張ヲ以テシ漸ク當面ノ急ニ應ジタルモ最早此  
ノ上設備ノ餘地ナキニ至リ到底現狀ヲ以テ安ムルコト  
能ハサルハ明ナル事實ニシテ此ノ際必要ノ工費ヲ増額シ  
議院建築ノ速成ヲ期スルハ刻下ノ急務ナリトス

右建議ス

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

○岩切重雄君 各派ノ御贊同ヲ得マシテ、議院本建築工  
事速成ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第アリマス、之ニ  
就キマシテ極メテ簡單ニ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、只  
今ノ此議院ハ、明治二十三年ニ極メテ簡單ナル建築ヲ以  
テ建築致サレタノデアリマスケレドモ、其後火災ニ罹リマシ  
テ、二十四年ニ更ニ之ヲ間ニ合セシ、僅カク十月ノ日子ヲ以  
テ改造サレタヤウナ次第ゴザイマス、其後本議院ガ立法府  
トシテ十分デナイ爲メニ、政府ニ於テカレマシテモ、種々之三研  
究ヲシテ、大正七年ヨリ大正十六年度ニ至ル間、繼續工  
事トシテ、豫算ガ提出サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後物  
價ノ暴騰ニ伴ヒマシテ、豫算ニ非常ナル變更ヲ來シタノデア  
リマス、初メノ豫算ニ於キマシテハ、七百五十萬圓ノ豫算デ  
アリマシタノガ、只今ノ時局ニ依リマシテ、二千二百八十  
萬圓ノ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、此約三倍ノ費用  
ヲ要スルニ拘ラズ、未ダ此豫算ガ更正サレテ居ナイノデアリ

マス、之ヲ年々ニ就テ考ヘマス、三倍ニ經費ガ膨脹シテ、而モソレハ未ダ更正シテ居リマセヌカラ、一年ニ約八ヶ月ヅ、議院ノ建築ガ遅レルト云フコトニナルノデアリマス、此儘デ過シマシタラバ、大正十六年度ニ出來ル筈ノ此議院ガ、非常ニ時日ガ遷延致シマシテ、吾々ノ希望スル所ノ議院ヲ一日モ早く竣工セシメタイト云フ、此希望ニ副ハナイコトガ甚シイト思フノデアリマス、此理由ニ就キマシテハ、皆サシモ既ニ御會得ノコトデアルト思ヒマスカラ、吾々各派ガ交渉致シマシテ、御贊同ノ下ニ此議案ヲ提出シテ次第デアリマス、之ヲ一方カラ考ヘマス、漸次選舉權ガ擴張セラレマシテ、議席ガ非常ニ殖エテ來ルト云フコトヤ、或ハ議會ガ漸次國民ニ親シク參リマス、傍聽席ガ非常ニ狹隘ヲ告ゲテ來ルノデアリマス、尙ホ其他或ハ圖書館ガ無イトカ、研究室ガ無イトカ、委員會ガ非常ニ殖エテ參リマシテモ、之ヲ開クベキ十分ナル設備ガ無イト云フヤウナ色ニナル點ニ於テ、極メテ不都合ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ此案ガ一日モ早く政府ノ容ル、所トナテ、本議院ガ竣工セシムコトヲ希望スルノデアリマス、ドウゾ御贊同ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、特二十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ勳議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ勳議ノ如ク決シマシタ。日程第九 樞密院官制改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス。提出者副島義一君

第九 樞密院官制改正ニ關スル建議案

(副島義一君提出)

樞密院官制改正ニ關スル建議案

樞密院官制改正ニ關スル建議案

政府ハ樞密院ノ職掌ヲ縮少スル爲ニ左ノ四項ヲ主眼トシ同院官制ヲ改正セラレムコトヲ望ム

一 樞密院官制第六條第二條中「又ハ憲法ニ附屬スル法律勅令ヲ削除スルコト

二 同條第三號中「及其他罰則ノ規定アル勅令ヲ削除スルコト

三 同條第六號ヲ削除スルコト

四 同條ニ左ノ一項ヲ追加スルコト

前項中第一號及第二號ヲ除クノ外閣議ヲ經テ内閣總理大臣之ヲ奏請シタルトキニ限り諮詢セラレハシ

右建議ス

〔副島義一君登壇、拍手起ル〕

○副島義一君 諸君、樞密院問題ニ就テノ御清聴ヲ煩シ

タイト思フノデアリマス、(謹聽)當衆議院ニ於キマシテハ、既ニ豫算案ヲ審議致シマシタ、其豫算案ノ中ニハ、樞密院ノ經費ノコトモ計上サレテアッタノデアル、既ニ樞密院ノ經費ヲ審議致シタルコトノ出來タ以上、其職掌權限等ニ就テモ亦審議致シタルコトノ出來タ以上、其職掌權限等申スマデモナイ事デアリマス、樞密院ニ關スル事ガ憲法五十六條ニ規定アルコトハ、諸君ノ御存知ノ通りデアル、五十六條ニ「樞密顧問ハ樞密院官制ノ定ムル所ニ依リ天皇ノ諮詢ニ應ヘ重要ノ國務ヲ審議スルコトデアリマス、此憲法ニ樞密顧問ガ重要ノ國務ヲ審議スルコトニ就テハ、茲ニ彼此言議ヲ挿ム次第デアリマセヌガ、唯タ併ナガラ茲ニ樞密顧問ハ、樞密院官制ノ定ムル所ニ依リ云々トアリマシテ、樞密院ノ權限職掌等ノ事ハ樞密院官制ニ定メテアル、即チ勅令ニ依テ定メテアル、此官制此勅令ガ果シテ適當デアルカ、果シテ時勢ニ適合スベキモノデアラカドウカト云フ事ニ就テハ、吾々十分審議スルコトノ出來ナケレバナラナイ事デアル、又必要ニ依テ之ヲ改正スルコトノ出來ネバナラヌノデアル(拍手起ル)又改正モ輒スルコトノ出來ルヤウニ、樞密院官制ニ依テ特別ニ規定サレテ居ル所以デアリマス、此樞密院ノ職掌ニ關スル事ハ、實ハ明治二十三年ニ規定セラレタノデアル、今ヲ距ルコト三十二年、隨分古イ規定デアラ、元來此樞密院ガ設ケラレタノハ明治二十一年デアリマシテ、當時立憲政體ヲ明治二十三年ヨリ行フニ就テ、先ヅ憲法、皇室典範等、重要ナル法規ヲ制定セナケレバナラナイカラシテ、其諮詢機關トシテ樞密院ハ設ケラレタモノデアル、此樞密院ガ是等ノ重要ナル法規ヲ制定スルニ就テ、非常ナ貢獻ヲ爲シタルト云フコトハ勿論ノ事デアリマス、既ニ憲法モ制定セラレ、明治二十三年ヨリ立憲政體ガ行ハル、コトニナラタ上ニ於テハ、樞密院ナルモノヲ存續セラレベキ必要ガアツカト云フコトハ、大ニ疑ガアツカノデアル(拍手起ル)唯タ併ナガラ當時立憲制草創ノ際デアツテ、政府ニ於テモ、議會ニ於テモ、又人民ニ於テモ多少不慣レナ所ガアル、幸ニ樞密顧問ハ憲法制定ニ參與シテ、憲法ニ熟達シ居ルノデアルカラ、後見職ノモノトシテ、存續セラレベキ半面ノ理由ハアツカノデアリマス、ソレデ從來ノ職掌ガ改正セラレテ、今日ニ殘テ居ル所ノ權限ガ規定セラレタノデアラガ、要スルニ是ハ一時ノ規定デアツカノデアル、然ルニ三十年後ノ今日ニ於テハ、時勢ハ非常ニ進歩シテ居リマス、官民一般ニ憲法政治ニ就テモ大ニ習熟スルコトニナツテ居ル、政黨モ大ニ發達シ、整頓スルコトニナリ、不完全ナガラ政黨内閣モ出來得ルト云フコトニナツテ居ル、衆議院議員選舉法ノ如キモ、數度改正セラレテ、選舉資格ノ如キモ、十五圓ヨリ今日ニ於テハ三圓ニ低下ニナリ、加之普通選舉サヘモ主張セラレ、コトニナツテ

居ル、其他女子參政權ト云フ如キモノモ主張セラレ、或ハ地方制度ナドモ改正セラレ、ト云フ如ク、政治上ノ制度モ思想モ非常ニ進歩シテ來テ居ルノデアル、然ルニモ拘ラヌ、三十年前ノ權限ニ從テ樞密院ガ尙ホ其權勢ヲ逞シクシ、議會ガ專ラ爲スベキ事、内閣大臣ガ自由ニ處理スベキ事、法制局ニ屬スル事マデモ、總テ自己ノ權内ニ吸收シテ、益、其權限ヲ擴張シテ飽クコトヲ知ラナイト云フ如キ事ハ、大ナル時代錯誤デアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手起ル)加之樞密院ガ斯ノ如キ權勢ヲ逞シウスルコトハ、立憲制ノ本義ニ反スルモノデアリマス(拍手)抑、立憲制ニ於テハ、議會ガ獨立ノ地位ヲ有セバナラヌ、議會ノ議決ノ效力ハ十分價値ガアラネバナラヌ、徹底シテ實現セラレナケレバナラヌ、又内閣大臣モ自由活動ノ地位ヲ有シ、其職責ヲ完ウスルコトガ出來ネバナラヌノデアル、然ルニ樞密院ガ斯ノ如キ職權ヲ有シテ居ルト云フコトハ、此立憲制ノ大原則ニ矛盾スルコトデアリマス、(拍手)樞密院官制ノ第六條第二號ノ規定ニ依リマシレバ、憲法附屬ノ法律勅令ニ就テハ、樞密院ガ審議スルコトニナツテ居リマス、憲法附屬ノ法律勅令ト云ヘバ、衆議院議員選舉法、貴族院令、議院法、裁判所構成法其他デアリマス、是等ノ法令ヲ改正スルニ就テハ、政府ガ提案スル場合ニ於テモ、又議員ガ提案スル場合ニ於テモ、免三角兩院ノ議決ノ上ニ、尙ホ樞密院ノ議決ヲ經ネバナラヌト云フコトニナツテ居ル、是ガ立憲政治上適當ノ事デアラカ、既ニ兩院ノ議決シタルモノヲ樞密院デ又議決スルコト云フコトニナレバ、樞密院デ其議決ヲ躊躇スルコトモアルシ、延期スルコトモアルシ、或ハ甚シキ場合ニ於テハ、否決スルコトモ無イトモ限ラナイ、兩院ガ議決シタルコトヲ直チニ之ヲ行ハレヌヤウニ、其議決ヲ延期スル、或ハ否決スルト云フコトニナラバ、則チ議院ノ權限ト云フモノハ、地ニ墜チテシマウコトニナルノデアル(拍手)元來我カ帝國議會ハ、申スマデモナク兩院制ヲ以テ組織サレテアリマス、衆議院ノ外ニ尙ホ貴族院ト云フモノガ設ケラレテ居ル、此兩院制ヲ採用セラレタト云フコトガ、既ニ國務ヲ十分慎重ニ審議スルコト云フ所以デアル、其上ニ尙ホ樞密院ノ議決ヲ經ナケレバナラヌト云フ理由ガ何所カラ生ジテ來ルノデアルカ、貴族院ノ議員ノ中ニハ、國家ニ勤勞アリ、學識アル者ヨリ勅任セラレ、者モアリ、又貴族ノ代表者、資産家ノ代表者モアル、其數三百有餘名デアル、又吾々衆議院議員モ無論國家ノ選良デアル、適當堪能ノ人民ノ代表者デアル、其數四百有餘名、貴族院衆議院ノ兩議員ノ數合セテ八百有餘名、此八百有餘名カラ組織セラレタル議會ノ議決シタ事ヲ僅々二十四五名ノ樞密院顧問ノ議決デ之ヲ齟シ、或ハ其議決ノ效力ヲ薄弱ニスルコト云フコトノ出來ルト云フコトハ





密院ガ決議ヲスルト云フコトニテ居ル、此臨時ニ諮詢セ  
ラレタル事項ノ規定ハ、一見スレバ、餘リ樞密院ノ權限ニ就  
テ重キヲ爲サナイ、重要ナル規定デナイヤウニ思ハレルノデア  
リマスケレドモ、併ナガラ此規定ガアレバ、多少重要ナル規定  
ハ勿論、餘リ重要ナラザル規定デナクテモ、一々樞密院ニ諮  
詢セラレルトコトニナル、即チ此規定ガアル爲メニ、種々ノ官  
制勅令ノ多クハ、樞密院ニ頻繁トシテ諮詢セラレルト云フコ  
トニナル、而シテ一度樞密院ノ議決ヲ經テ制定セラレタルモ  
ノハ、之ヲ變更廢止スルニハ、復タ樞密院ノ議決ヲ經ネバナ  
ラヌト云フコトニテ、歲月ヲ經過スルニ從テ、樞密院ノ權  
限ノ範圍ガ非常ニ擴張セラレルト云フコトニナル、之ガ樞密院專  
制ノ基礎ヲ形造ルト云フコトニナル、デスカラ此臨時諮詢事  
項ト云フモノハ、削除セヌケレバナラヌノデアアル、以上ノ憲法  
附屬ノ法令ノ罰則ノ規定、勅令、臨時諮詢事項、之ヲ樞密  
院ノ職掌ノ中カラ省クストレバ、跡ニ殘ルノハ皇室典範ニ規  
定スル場合、憲法ノ條項ニ關スル場合、戒嚴、緊急勅令、財  
政ノ緊急處分、其他條約等ノ事ニ就テ、尙ホ樞密院ニ諮詢  
シナケレバナラヌト云フコトニテ居リマスガ、此內皇室典  
範ニ規定ノアル事、及憲法ニ關スル事ヲ除キ、他ノ事ニ就テ  
樞密院ニ諮詢セラレ、ニハ、內閣ノ會議ヲ經テ總理大臣ガ  
奏請シテ、始メテ樞密院ニ諮詢セラレ、ト云フコトニシタイ  
デアアル、是ハ舊ニ述ベタル國務大臣ガ輔弼ノ職責ヲ有スル  
事柄ハ、何ガ重要ノ國務大臣アルカト云フコトヲ、準備的ニ國  
務大臣ガ決定スルコトガ出來ネバナラヌト云フ論結カラ來  
ル事デアリマス、此一項ヲ樞密院官制第六條ノ末項ニ加ヘ  
タイト云フノガ、此建議案ノ趣意デアリマス、デ尙ホ私ハ此  
際述ベテ置カネバナラヌ事ハ、今日ノ我が內閣ノ組織ガ頗ル  
不健全デアアル、制度上ノ組織ガ尙ホ不健全デアアル、今日政  
黨內閣ト云フコトハ世間ニ言ハレルノデアアル、レドモ、決シ  
テ完全ナル政黨內閣デハナイ、即チ此內閣ノ中ニ於テ、陸軍  
大臣海軍大臣ハ特別ノ地位ヲ有シテ居リマス、陸海軍大  
臣ハ軍人デナケレバ之ニ充ツルコトハ出來ナイ、文官ノ陸海  
軍大臣ハ設ケルコトハ出來ナイ、(軍人)デナケレバナラナイト  
云フコトニテ居ル、其軍人ハ軍閥ニ根據ヲ有スル者デア  
ル、軍閥ニ根據ヲ有スル者カラ、陸海軍大臣ハ任命シナケレ  
バナラナイト云フコトニテ居ルノデアアル、總理大臣ハ  
陸海軍大臣ノ候補者ヲ推薦スルニ就テモ、其選擇ノ範圍  
ヲ廣クスルコトガ出來ナイ、已ムヲ得ズ軍閥ニ根據ヲ有スル  
者ヲ陸海軍大臣ニシナケレバナラヌノデアアル、其軍閥ニ根據  
ヲ有スル者デアラカラ、陸海軍大臣ハ內閣ノ內ニ於テモ、一  
種特別ノ地位ヲ有シテ居ル、即チ之ニ依テ總理大臣ハ、人  
ニ就テ十分統一ノ組織ヲ爲スコトガ出來ナイ、隨テ總理  
大臣ノ勢力ハ、頗ル內閣ノ內ニ於テモ微弱ナモノデアアル、人

ニ就テ統一ヲ爲スコトノ出來ナイノミナラス、尙ホ此總理大  
臣ノ權限ニ就テモ、不統一ノ事ガアリマス、ソレハ內閣官制  
ノ第七條ニ依レバ、事ノ軍機ノ軍令ニ關スル事ハ、總理大臣  
ハ前以テ之ニ參與スルコトガ出來ナイ、陸海軍大臣ガ此軍  
機軍令ニ關スルコトハ先ツ參與スルノデアアル、總理大臣ハ  
前以テ之ニ參與スルコトハ出來ナイ、其他明治四十年ノ軍  
令ノ規定ヲ見テモ、軍令ガ一般ニ發セラル、場合ニ就テ、陸  
海軍大臣ガ之ニ副署シテ、內閣總理大臣ハ副署シナイト云  
フコトニテ居ル、即チ軍機軍令ニ關シテハ、內閣總理大臣  
ハ前以テ參與スルコトモ出來ナイ、副署モシナイト云フコトニテ  
テ、之ニ與カルコトガ出來ナイコトニテ居ル、然ルニ此軍機  
軍令モ、矢張一般ノ政治ニ關聯ヲ有スルモノデアアル、場合ニ依  
テハ大ナル影響ヲ有スルコトガアル、ソレヲ總理大臣ガ統轄スル  
コトノ出來ナイト云フコトハ、是ハ官制ノ上ニ於テ、非常ニ缺  
點デアアルト謂ハナケレバナラヌノデアアル、此官制ノ上ニ於テ缺  
點ガアルコトカラシテ、實際ノ政治ノ上ニ非常ナル失策ガ  
起ラテ來ルノデアアル、對支政策ノ失敗、又西伯利亞出兵ノ不  
始末ノ如キハ、是ハ人ノ罪モアリマセウケレドモ、其人ノ罪ヨ  
リモ、モット一層深イ所ニ其原因ガアルノデアアル、(拍手起ル)  
即チ人ノ統一ガ出來ナイ制度ニテ居ルノデアアルカラ、例  
ヘバ對支政策ニ就テ言フナラバ、總テノ者ガ區々ナ行動ヲ  
執テ居ル、即チ先ツ官民區々ナ行動ヲ執リ、又政府關係  
ノ者デアテモ、軍人ト外交官ハ別々ナ行動ヲ執テ居ル、同  
ジク軍人ノ中デモ、海軍陸軍ハ別々ナ行動ヲ執テ居ル、別  
別ナ行動ヲ執テ、種々様々矛盾シタ事ヲスルノデアアルカ  
ラ、結局對支問題ニ就テハ、何等得ル所ガ無イト云フコトニ  
ナルノデアアル、西伯利亞出兵ノ不始末デモ、矢張參謀本部  
ガドウカシテ居ル、陸軍大臣ハドウカシテ居ル、外務大臣ガ  
ドウカシテ居ルト云フノデ、其遺方ガ種々區々ニテ居ル  
ト云フコトカラ、餘計ニ不始末ト云フコトガ出來テ來ルノデ  
アル、(拍手)即チ是ハ先ツ陸海軍大臣ガ內閣ノ中ニ於テ、  
總理大臣ヨリ統轄ヲ受ケナイト云フ特別ノ地位ヲ有シテ居  
ルト云フ、制度上ノ缺陷カラシテ生ズル政治上ノ弊害デア  
ル、(拍手)凡ソ一國ノ政治ハ、統一シタル國是ノ下ニ行ハナ  
レバ、外交、軍事、財政、總テノ效果ヲ擧ゲルト云フコトハ出  
來ナイノデアアル、其統一シタル國是ヲ樹テ上ニハ、人ヲ統  
一セナケレバナラヌ、制度ヲ統一セナケレバナラヌ、即チ人ヲ  
統一スル、制度ヲ統一スルニ就テハ、此總理大臣ガ完全ナ  
ル統一ノ勢力、權力ヲ有セナケレバナラヌノデアアル、即チ  
總理大臣ハ、國家元首第一ノ信任者デナケレバナラヌノデア  
アル、又第一ノ信任者ト自信スル者デナケレバナラヌノデア  
ル、然ルニ特別ノ地位ヲ有スル者ヲ存在スルコトノ出來ル

ト云フ場合ニ於テ、トウシテ總理大臣ガ第一ノ信任者デア  
ルト云フコトガ言ヘマスガ、今日ノ制度ニ於テ、總理大臣ガ  
第一ノ信任者デアルト云フコトハ出來ナイノデアアル、ソレハ  
特別ノ地位ヲ有スル者ガ官制ノ上ニ於テ認メラレタルカ  
ラデアアル、無論總理大臣モ、或規定ニ於テハ統一ノ作用  
ヲ爲スコトガ出來ルヤウニ見エル規定モアル、即チ內閣官制  
ノ第二條ニハ、總理大臣ハ行政各部ヲ統一スル規定モアル  
ル、又明治十八年ノ詔勅ヲ見テモ、內閣ハ統一ノ簡捷ヲ要ス  
ル、諸大臣重責ニ當リ、統アルニ總理大臣ヲ以テスルト云フ  
規定ガアリマス、此規定ノ精神ガ各方面ニ實現サレナケレ  
バナラヌノデアアル、ソレガ他ノ方面ニ於テハ、ソレト矛盾スル  
ヤウナ規定ガアルノデアアルカラ、即チ人ト制度トヲ統一スル  
コトガ出來ナイト云フコトニテ、陸海軍大臣ガ特別ノ地  
位ヲ有スルト云フコトニテ、テ居ル、此制度ヲ改メナケレバナ  
ラヌノデアアル、即チ陸海軍大臣ノ如キモ、軍人ノミナラス、文  
官ヲ以テモ之ニ任ズルコトガ出來ルト云フコトニセナケレバ  
ナラヌノデアアル、(拍手)ソレニハ制度ヲ改革シナケレバナ  
ラヌ、官制ヲ改革シナケレバナラヌノデアアル、ソレカラモウ一ツハ  
內閣組織ニ就テ缺點ノアルト云フノハ、如何ニモ今日ノ內  
閣ノ組織デハ人ガ少ナイ、內閣ノ勢力ガ微弱デアアル、僅カ十  
人位ノ內閣員デ、ドウシテ此政治ヲ斷行シテ、效果ヲ收メテ  
行クト云フコトガ出來マスガ、モット澤山ナ無任大臣ト云フ  
如キモノヲ設ケテ、內閣ノ勢力ヲ大キクスルト云フコトヲ努  
メナケレバナラヌノデアアル、(拍手)無任大臣ハ、今日ノ我が官  
制ノ上ニ於テモ入ル、コトガ出來ルト云フコトニテ居ルガ、併ナ  
ガラ此無任大臣ノ外ニ、尙ホ多數ノ政務官ヲ政府ニ入ル、  
ト云フコトガ必要デアアル、內閣モ無任大臣等多數ノ大臣ガ  
入り、政府ノ各要路ニモ多數ノ政務官ガ入ッテ、サウシテ始  
メテ或ル政黨ナラバ政黨ノ政策ヲ斷行スルコトガ出來ルノ  
デアアル、而シテ此政務官ヲ政府ニ入ル、ニハ、政務官ト事務  
官トノ區別ヲ明カニシテ、事務官ノ地位ヲ保障シテ置キ、事  
務官ハ決シテ內閣ノ更迭ニ依テ其地位ヲ動カサルト云フ  
コトノ、懸念ノ無イヤウニシナケレバナラヌノデアアル、(拍手)  
サウ云フ制度ガ設ケラレナケレバ、此內閣ガ自由ニ容易  
ニ更迭セラレ、コトガ出來ヌノデアアル、今日ノヤウニ內閣ガ  
更迭セラレバ、地方ノ事務官、府縣知事マデモ總テ更迭  
セラレ、ト云フコトデアアル、其事務ノ上ニ於テモ非常ナル  
滯滯ヲ來スノデアアル、(拍手)又斯ノ如キ制定デハ、到底此政  
黨內閣ト云フモノヲ十分實現シテ行クト云フコトハ出來ナ  
イノデアアル、此點ハ大ニ改メナケレバナラナイ、即チ政務官ヲ  
多ク入ル、ヤウニ官制ヲ改革スル、陸海軍大臣ヲ文官ニス  
ルト云フ如キ官制ヲ立テネバナラナイ、此官制ハ如何ニシテ  
出來ルノデアアルカ、今日ノヤウニ、樞密院ガ斯ノ如キ強大ナ

ル權限ヲ有スル場合ニ於テハ、此官制ノ改革ハ容易ニ出來ナイノデアル、(拍手)ソレデ先ツ樞密院ノ官制ヲ改革スルコトガ必要デアル、是ガ此本案ヲ提出シテ重大ナル理由デアールノデアリマス、此建議ハ元來ハ政府ニ之ヲ提出スルノデアール、デスカラ若シ此建議案ガ通過シタル場合ニ於テハ、政府ニ於テ是ガ實現スルヤウニ盡力アラシムコトヲ希望スルノデアリマス、併ナガラ樞密院官制ノ改革ハ、矢張樞密院ノ決議ヲ經ネバナラヌト云フコトニナラテ居ル、デスカラ此建議案ガ通過シテモ、樞密院ガ知ラナイ風ヲスラナラバ、此建議ハ其效果ガ無イト云フコトニナルノデアリマス、併ナガラ此建議ハ實質上ハ樞密院ニ對シテモ之ヲ提出スルモノデアアル、形式上ハ政府ニ提出スルケレドモ、實質上ハ樞密院ニ對シテモ是ハ提出スルモノデアアル、即チ此議會ニ於テ此建議案ガ審議セラレテ通過シタルト云フコトガ、同時ニ樞密院ニ對シテモ建議セラレタルト云フコトニナルノデアアル、(拍手)若シ樞密院ガ此建議ノ通過シタルニモ拘ラス馬耳東風ニ附スルト云フ如キコトガアツタナラバ、即チ樞密院ハ民意ニ反シテ、濫リニ其政權ヲ私スルト云フ議ヲ免ル、コトガ出來ナイ、(拍手)殊ニ(普選必要)ト呼フ者アリ、殊ニ明治元年ノ御誓文ニ萬機公論ニ決スルト云フ此御詔勅ノ趣旨ニ反スルト云フコトヲ、樞密院ハ承諾セヌケレバナラヌノデアアル、デ私ハ此樞密院官制ノ改革ハ、爰ニ大ニ主張スルノデアリマス、レドモ併ナガラ樞密顧問各位ニ對シテハ、固ヨリ尊敬ヲ拂フ者デアリマス、デ樞密顧問各位ハ固ヨリ元勳練達ノ士デアアル、併ナガラ此元勳練達ノ士ガ、果シテ政治上國家ニ貢獻スルト云フ志ガアルナラバ、其方法ヲ擇バナケレバナラヌノデアアル、即チ貴族院議員トナルカ、或ハ衆議院議員トナルカ、或ハ政府ノ當局者トナラ、其抱負ヲ行フト云フ方法ニ依ラナケレバナラヌノデアアル、之ガ國家ニ最も忠ナル所以ノ方法デアアル、之ガ國家ニ盡ス所ノ正シキ途デアアル、然ルニ此正シキ途ヲ執ラズシテ、雲ノ深イ奥ノ院ニ隠レテ私議私論シテ、政治ノ當局或ハ政治ニ干渉スルト云フガ如キハ、公明正大ノ舉動デアハ決シテナイノデアアル、(拍手)ガ併ナガラ今日ノ樞密院ト云フノハ、非常ナ勢力ヲ有シテ居ルモノデアアリマシテ、其權限ヲ縮小スルト云フコトハ、是ハ容易ナ事テナイガ、斯ノ如ク併ナガラ權限ヲ有スルト云フ樞密院ハ何レノ國ニ於テモ存在シナイ、英國ニ於テハ會テ樞密院ガ政權ノ衡ニ當ッタコトガアル、然ルニ英國ニ於テハ、内閣ガ政權ノ地位ニ立ツコトニナツテ結果、樞密院ハ自然消滅ニ歸シタルデアアル、而シテ樞密顧問ト云フノハ、今日ニ於テハ只ダ名譽上ノ稱號ニナラテ居ルノデアアル、デ今日何レノ國ニ於テモ我國ノ如キ權限ヲ有スル樞密院ノ存在スルト云フ所ハ無い、斯ノ如キ樞密院ガ三十年間モ依然トシテ存在シ得

ルノハ、是ハ併ナガラ歴代ノ内閣モ大ニ罪ガアツタノデアアル、即チ歴代ノ内閣ノ中ニ於テハ、或ハ責任通レノ爲メニ、樞密院ノ力ヲ藉リタト云フコトモアル、或ハ樞密院ノ御陰ニ依リテ、其政策ヲ行ハント圖ラタ者モアル、是等ノ事デ樞密院ノ權力ガ彌ヨ助長セラレタノデアアル、デ内閣ガ斯ノ如キ者ヲ懷クト云フノハ大ナル感デアアルガ、併ナガラ政黨ニ就テモ矢張多少ノ罪ガアルガラウト思フ、政黨モ内閣ヲ攻撃スル爲メニハ或ハ貴族院ノ歡心ヲ買ヒ、或ハ樞密院元老ノ歡心ヲ買フコトニ汲ミタル者ガ無イトモ限ラヌ、(拍手)是ハ大ナル迷デアアル、此或此迷ヲ一掃スルデナケレバ、此樞密院ノ官制ヲ改革スルコトハ出來ナイノデアアル、(ヒヤ)「デ今日ノ如キ權限ヲ有スル樞密院ノ存在スル下ニ於テハ、何人ガ内閣ヲ組織シテモ、決シテ其眞ノ抱負ヲ行ヒ、立憲大臣タル職責ヲ完ウスルト云フコトハ出來ナイノデアアル、(拍手)實ニ此樞密院ト云フガ如キモノガ、我國ノ政治組織ノ中ニ於テ在ルト云フコトハ、我が政治界ノ最も瘡治シ難イ所ノ病源デアアルガ、併ナガラ此瘡治シ難イ、手ヲ著ケ難イ病源カラシテ改正ヲスルト云フデナケレバ、我が政治界ノ廓清ヲ期スルト云フコトハ出來ナイノデアアル、(拍手)而シテ此最も手ヲ著ケ難イ瘡治シ難イ所ニ向テ行クベキモノハ、果シテ何人デアアルカ即チ是ハ政治ノ中心點タル衆議院ノ外ニハ無いノデアアル、(拍手)衆議院ガ共同一致シテ、此最も手ヲ著ケ難イ瘡治シ難イ所ニ突進シテ向フデナケレバ、此政界ノ廓清ト云フコトハ圓ルコトハ出來ナイノデアアル、此樞密院ガ小サイ事ニガヤガヤ言フト云フガ如キ事ハ、其大ナル任務ヲ誤ラシ居ル、其任務ヲ等閑ニ付シテ居ルト謂ハネバナラヌノデアアル、是ガ即チ此本案ヲ提出シテ而シテ滿場ノ諸君ノ熱心ナル御贊同ヲ希望スル所以デアリマス、(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ(植原悦二郎君)議長——議長ト呼フ、押川方義君提出植民省設置ニ關スル建議案ノ委員ニ、併セテ付アラシコトヲ望ミ、マヌ

○植原悦二郎君 議長 質問ガアリマス

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ガ先ニ出シマシタ

○植原悦二郎君 其前ニ議長々々ト呼ンデ居リマス

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(與繁三郎君) 質問ガアリマシタナラバ、委員付託ニナラテ後ニ委員會ヲ願ヒマス、此際一寸諸君ニ希望シテ置

キマス、本日各派ノ人ノ申合デハ、成ベク本日本日ト明日ノ本會議ニ於テ、建議案ハ總テ委員付託ニマデ漕付ケタイト云フコトデス、本日モ七十何件アリマス、明日ハ少クモ百件位アリマス、(笑聲起ル)固ヨリ定刻デ濟マネバ、十二時マデ掛ッテモ宜カラウトハ思ヒマスガ、十分勉強シテ濟マサレンコトヲ望ムト同時ニ、此副島君ノ分ハ極メテ重大ナ問題デアリマシテ、十二分ニ其意思ノ在ル所ヲ述ベラレルヤウニト云フ諸君ノ希望デアリマシタカラ、相當時間ノ費エタノハ已ムヲ得マセヌガ、今後ノ分ハ極メテ短ク説明セラレンコトヲ望ミマス、日程第十、科學知識普及ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、鈴木錠藏君

第十 科學知識普及ニ關スル建議案 (鈴木錠藏君提出)

科學知識普及ニ關スル建議案

科學知識普及及ニ關スル建議案

國力ノ充實國富ノ増進ハ産業ノ發達振興ニ在リ産業ノ發達振興ハ即チ科學應用ノ成果ニ外ナラス近代ニ於ケル軍備國防ハ勿論國家百般ノ施設其ノ國民生活ノ諸問題亦科學ヲ基調トセサルハナシ然ルニ我カ邦ノ科學的知識ノ普及發達ハ之ヲ歐米諸國ニ比シテ遙ニ遜色アルノミナラス國土狭小ニシテ天恵ノ富源ニ乏シク而モ人口ノ増率頗ル大ナリ刻下時艱ヲ極ヒ國策ヲ達成セムニハ一二科學的知識ヲ普及發達セシメ國民ノ文化生活ヲ向上セシムルト共ニ世界ノ競争場裡ニ馳騁シテ能ク優勝者タルコトヲ期セサルヘカラス故ニ政府ハ速ニ國民ノ科學知識ノ普及振興ニ對スル適當ナル方策ヲ購スルヲ急務ナリト認ム

右建議ス

〔自席デ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

〔鈴木錠藏君登壇 拍手起ル〕

○鈴木錠藏君 成ベク簡單ニ趣意ヲ述ベル積リデゴザイマスケレドモ、此科學ノ問題ハ中ニ重要ナル問題デアゴザイマス爲メニ、已ムヲ得ズシテ少シ延ビルカモ知レマセヌガ、ソレハ御了承ノ願ヒマス、(簡單々々)「ユクリヤレト」呼フ者アリ(凡ソ國策ヲ論ズルニ當リマシテハ、其問題ハ多岐多様ニ涉リマスレドモ、要スルニ國力ノ充實、國運ノ進運ト云フノニ歸著スルノデゴザイマス、其國力ノ充實、國運ノ進運ハ、一ニ繁リテ産業ノ振興發達ニ在ルモノト存ジマス、現代ニ於ケル凡テノ産業、各種ノ生産品ハ、全ク科學即チ「サナエンス」ノ應用ニ俟タナイモノハナイノデ、將來ノ國力ノ消長ハ、其國ニ於ケル科學進歩ノ程度如何ニ依テ決セラレルト云フモ、過言デアアリマスマイ、獨リ産業上ノ問題バカリデ

ク、彼ノ歐洲大戰ノ教フル所ニ依リマスレバ、將來ノ戰爭ハ武力ヨリモ寧ロ智力ノ優劣ニ依リテ、其勝敗ヲ決セナケレバ、ラスト云フ實證ヲ肯定セバナリマセズ、乃チ科學的の智能ヲ極度ニ發揮應用セシメタル精銳ナル武器ト、之ニ附隨スル軍需品ノ優秀ニシテ、無限ノ供給力ヲ有スル偉大ナル生産力ニ俟ツト云フコトニ相成リマス、科學ノ應用ハ獨リ工業の生産ノミナラズ、彼ノ世界ニ比較ナキ人口ノ稠密ヨリ來ル我國ノ食糧問題ノ解決ニ於キマシテモ、其他運輸、交通、保健、衛生等、國家百般ノ施設、是レ悉ク科學ヲ基礎トセナイモノハ無ク、科學的知識ハ現代文明ノ原動力デアリマシテ、所謂文化生活ノ理想的實現モ、此科學知識普及ニ依ラナケレバ、最も合理的ノ成果ヲ期シ難イデアリマス、(拍手起ル)更に個人ノ問題ト致シマシテモ、實驗ト觀察カラ得ラレル、組織的ニシテ緻密ナル頭腦——空論ヲ排シ、眞理ヲ重シズル、著實ニシテ勤勉ナル性格ハ、自然科學教育ノミニ依リ生マル、人類ノ一大福音デアリマス、(ヒヤヒヤ)斯ノ如ク文明人ノ生活上ニ、寸時モ、忽セニスベカラザル根本的知識デアリマスニ拘ラズ、由來或國ハ因襲ノ久シキト、其發達ノ歴史ノ淺キカ爲メニ、科學知識ノ普及ハ歐米各國ニ較ベマシテ大ナル遜色ヲアリマス、ハ、我が國民ノ知識中、最も缺乏セルモノ一ツデアルト存ジマス、之ガ爲メニ日常生活ニ於キマシテモ、餘程不生産的ノ點ガ多イデアリマス、彼ノ石炭ノ埋藏量ニ對シマシテモ、最も寒心スベキ採掘率ヲ示シテ居リマス、我國ガ燃料研究ノ聲ニ覺醒シマスルモノ、又衣食住ノ改善ヲ叫ビマスルモノ、畢竟徹底的科學ノ上ニ立脚セル生活様式ニ依リマシテ、ヨリ裕カナル文化生活ヲ營マントスル欲求ニ外ナラナイデアリマス、同時ニ科學的思想ノ缺乏タル反映デアリマス、(ヒヤヒヤ)獨逸ガ從來世界第一ノ工業國デアッタノハ、御承知ノ如ク、其工業ノ深遠ナル科學ノ上ニ立脚シテ居ルカラデアリマス、又獨逸ガ強クタクト云フコトハ、獨逸人一般ノ頭腦ガ、科學的知識ノ應用ニ優秀ナル活動ヲシタト云フ事デアリマシテ、單ニ武勇トカ豪邁トカ云フ事ニ秀デタ爲メデアリト云フコトハ、爭ハレマセズ、獨逸ハ曩ニ人造衛星ヲ合致シマシテ、又人造絹絲ヲ造リテ、常ニ我が産業界ヲ脅シ、近時ハ合成「ゴム」ニ多大ノ貢獻ヲ爲シ、アルヲ見マシテモ、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)如何ニ獨逸ノ科學的進歩ノ恐レハキカヲ知ルノデアリマス、(拍手起ル)其他航空機、潛航艇、時ニ黃十字、青十字、綠十字ト云フ戰艦スベキ毒瓦斯ヲ研究發明シテ、聯合國ガ戰後ノ今日ト雖モ尚ホ豫防「マスキ」ノ發明ニ苦シテ居ルノハ、正シク科學ノ威力デアリマセヌカ、人道問題ハ別ト致シマシテ、斯ル兵器ノ上カラ見マシテモ、我國ノ朝野ガ、從來如何ニ科學知識ヲ重シテ居

ナカッタカト云フコトガ窺ハレルデアリマス、彼ノ巨大ナル大砲「タンク」火藥、船體ノ保護色トモ譯スベキ「カモフラージュ」、危險覺知機、又ノ名船ノ耳トモ譯スベキ「ヒドロホン」又ハ自動的ニ布設水雷ヲ切斷スル「パラベーン」ノ如キ、新改良新發明ヲ達シテ見マシテモ、我が一般國人ノ有スル科學知識ノ貧弱ヲ思ハ、實ニ將來ノ國運ヲ憂慮セネバナラヌコト、存ジマス、我國ハ六百萬馬力ノ水力ヲ有シマシテ、世界有數ノ電力國タリ得ルニモ拘ラズ、現今ハ僅ニ二百五十萬馬力ヲ利用シ得ルニ過ギマセズ、デ一方ニ又一般國民ニ電力使用ノ利益ト興味ヲ解セヌ者ノ多イハ、實ニ嘆ハシイ次第デアリマス、歐米各國人科學思想ガ非常ニ進シテ居ルコトハ、今更線返ス必要モアリマセヌガ、一例ヲ舉ゲマスルト、先年來英國ニ於テ「ホーム、ユニバシチー、ライブラリー」ト云フ叢書ヲ出シテ居リマス、是ハ家庭叢書ノ本トハ申スモノ、日本ノ科學ノ程度カラ見マスレバ、高等學校或ハ大學ノ講義トシテモ宜イ位ノモノデゴザイマス、是ガ一斑ヲ見マシテモ、歐米人ノ科學知識ノ程度ガ知ラレマス、更ニ近頃英國デアハ、文官登試試験ノ科目中ニ自然科學ノ一科ヲ加ヘタ程デアリマシテ、政治家モ、軍人モ、又宣教師デサヘモ、漫然ト旅行ヲスル者ハ無イ位ニ鐵、石炭、石油等ニ注意シテ居ルト云フ有様デアリマス、英國、加奈陀、澳洲、伊太利等ニハ近年學術研究會ガ出來テ、一般ニ氣勢ヲ舉ゲテ居ルデアリマス、獨逸ノ「カイゼル」研究所、佛國ノ「ハストール」米國ノ「ロックフエラー」及國防研究所、其他枚舉ニ遑ナキ有様、單ニ地上ノ研究ニ上ラズ、「ウイロン」觀測所ノ如キ、大體研究ノ權威ヲ以テ任スル米國人ノ熱誠ニハ、驚嘆ノ外ハアリマセズ、諸君ハ一々例證スルマデモナク、獨逸ガ戰敗後如何ニ苦悶ノ生活ヲ續ケテ居ルカト云フコトヲ、十分御承知ト存ジマス、其上今回ハ二千三百三十億圓克ト云フ過大ノ賠償金ヲ課セラレ、益、困憊ノ度ガ加ハリソ、アル、其苦シイ財政ノ中カラモ、政府ハ内務大臣「ゴツホ氏」發案ニ依リテ、年額二千方圓ヲ支給シ、科學救濟會ナル一財團ヲ組織シ、將ニ減ビントスル科學教育ニ保護ト鞭撻ト加ヘテ居リマス、科學ノ進歩ニ忠實ナル其心情ハ實ニ敬服ニ堪ヘマセヌ、而シテ我國ノ科學的施設ハ如何ト願ヒマスルニ、歐洲大戰ニ目覺メ此偉大ナル科學研究ノ必要ニ迫ラレマシテ、熱心ナル官民ノ援助ニ依リ、先年理化學研究所ノ設立ヲ見、畏多クモ皇室ヨリ百萬圓ノ御下賜金ト、政府及民間カラ七百方圓ノ御金トニ依リマシテ、一財團法人ガ成立致シマシ、其他ニモ少額ナリト雖モ、文部省ノ研究獎勵費モアリ、又先達テ學者ヲ網羅シタル學術研究會ガ成立シタノハ、頗ル喜バシイ事デアリマス、併ナガラ是ハ科學獎勵事業ノ中テ、高級ノ施設ニ屬スルモノデアリマシ

テ、主トシテ天下ノ學者ニ、學理ノ蘊奧ヲ根本的ニ研究努力シテ貫フ方面デアアルノデ、我國科學發達上、其一面ヲ援助シタニ過ギナイト思ヒマス、其最も必要ナルモノハ、即チ一般國民ニ科學知識ヲ普及セシメテ、第二第三ノ國民、即チ吾等ノ最も信賴スベキ子孫ニ對シテ、今日ヨリモ一層正確ニ科學ノ知識ト興味トヲ與ヘ、將來此中カラ「ニュートン」ヤ「ラバアヂエ」ヤ「ダーウイン」ヲ輩出セシメ、又高尚ナル學術ヲ修得スル餘裕ナキ民衆ニ對シテ、科學知識ノ増進ヲ圖リ、文化生活上甚大ナル福利ヲ齎ラントスルコトデアリマス、私ハ重ねテ申シマスガ、一般民衆ニ科學知識ヲ普及セシメテ、所謂民衆的科學ノ基礎ノ上ニ國民福利ヲ増進セシメルコトハ、我國目下ノ急務ト存ジマス、(ユゼニツク)即チ優種學ノ上カラ言フテモ、人間ノ改造ニ與テカアルモノハ、正ニ自然科學知識ノ普及ニ在リト信ズルデアリマス、此事ハ社會政策ノ上カラ見マシテモ、餘程重大ナル問題デアリマス、例ハバ近時ノ思想問題ノ如キモ、科學知識ガ普及致シマスレバ、冷靜ニ合理的ニ解決セシメルコトガ出來マス、又勤儉ノ美德モ、之ニ依ッテ大ニ増進セシメルコトガ出來マス、然ルニ我國ニ於テ戰時中工業熱ノ勃興ト共ニ、理化學獎勵ノ聲ガ高クカタレドモ、戰後工業ノ頓挫ト共ニ、理化學必要ノ叫モ自然衰微シ去ラントスル傾向ガアリマス、由來熱シ易ク又冷ニ易キハ我國民ノ一短所デアリマス、此際特ニ聲ヲ大ニシテ、科學知識普及ヲ高唱スル必要ガアルト思ヒマス、通俗的ニ科學知識普及ノ方法トシテハ多々アリマス、例ハバ其方法トシテ科學知識普及ニ關スル一大機關ヲ作りマシテ、天下ノ學者ガ實驗家ヲ糾合致シマテ、通俗的科學叢書ヲ編纂シテ、之ヲ低價ニ汎ク頒布スルコトヤ、通俗講演會及講習會ノ開催、見學團ノ組織、展覽會ノ開催、活動寫眞、幻燈、又ハ演劇ノ利用、科學博物館ノ設置、學術普及ノ常設館ノ設置、其他ヲ必要ト存ジマス、政府ハ右ノ趣旨ニ依リ、速ニ國民ノ科學知識普及及振興ニ關スル適當ナル方策ヲ講セラレンコトヲ切望致シマス、終リニ臨シテ此建議案ハ、最も文部當局ノ注意ヲ喚起スル必要アリト信ズル者デアリマス

○岩崎勳君 本案ハ奧村安太郎外二名提出、發明獎勵ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ヒマス

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 御異議ハ無イト認メマス、岩崎君ノ動議ノ如ク決セラレマシタ

○岩崎勳君 再ビ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ第二號大正十年度歲入歳出總豫算追



加、特第二號大正十年度各特別會計歲入歲出豫算追加、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、右ヲ一括議題ト爲シ、豫算委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ム、マヌ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク日程ハ變更サレマシタ、即チ第二號大正十年度歲入歲出總豫算追加案外二件、此三案ヲ併セテ議題ト致シマヌ、委員長ノ報告ヲ求メマス——武藤金吉君

〔第二號〕大正十年度歲入歲出總豫算追加案

報告書

一(第一號)大正十年度歲入歲出總豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十八日

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

〔特第二號〕大正十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

報告書

一(特第二號)大正十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十八日

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

〔追第三號〕豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書

一(追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十八日

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

豫算委員長 武藤 金吉

衆議院議長 與繁三郎君

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 只今議題ニ供セラレマシタ第二號大正十年度歲入歲出總豫算追加、特第二號大正十年度各特別會計歲入歲出豫算、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件、此三案ヲ豫算委員會ニ於キマシテハ、本日午前ヨリ午後ニ引續キマシテ審議ヲ致シマシタ、其結果ヲ委ニ御報告申上ゲマス、第二號大正十年度歲入歲出總豫算追加案ノ歲入經常部ニ於キマシテハ、印紙收入ノ增加二十三萬六千二百七十五圓、又歲入ノ臨時部ニ於キマシテハ、前年度ノ剩餘金繰入ノ增加千七百六十四圓四千七百三十圓ヲ計上サレマシタ、歲出ニ於キマシテハ、經常部臨時部各省ニ涉リマシテ、其主ナルモノハ特計法其他ノ改正ニ伴フ經費、又講和條約實施委員派遣費、國際勞働會議ノ參列費、國際聯盟事務局費分擔金、茨城縣外九縣災害土木費、臨時教育行政調查會諸費、是等ガ此主ナルモノデアリマス、特第二號ノ各特別會計ノ歲入歲出ノ部ニ於キマシテハ、大藏省所管ノ警務局國債整理基金賠償金、朝鮮總督府、臺灣監督府、關東廳、樺太廳、是等ノ各歲入歲出額ヲ計上サレタモノデアリマス、詳細ナル數字ハ省略ヲ致シマス、又豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スルモノハ、此第二號ノ大正十年度歲入歲出總豫算案ノ中ニ、此文部省ノ部分ニ掲載サレテ居リマスカラ、是モ說明ヲ省キマス、委員會ニ於ケル質問應答ハ、高橋大藏大臣ノ說明ヲ聽キマシテ、之ニ對シテ憲政會ノ濱口君、國民黨ノ大口君カラ發セラレマシタ質問ハ、此追加豫算ハ第四回目ニナテ居リテ、サウシテ其金額モ多額ニ上テ居リテ、之ガ爲メニ大正十一年度ノ豫算ニ支障ハ無イカ、又是等ノ數字ヲ以テテ示スコトガ出來ルナラバ、數字ヲ以テ答辯ヲ望ムト云フコトデアリマシタ、政府ハ將來ノ豫算ニ對シテ、數字ヲ以テ答フスルト云フコトハ避ケタイ、又大正十一年度ノ財政ガ行詰マルト云フコトデアラウガ、政府ハ決シテ行詰マルト思フテ居ラヌ、斯ウ云フ應答ノ要旨デアリマス、其外問題ニナリマシタノハ、臨時教育行政調查會デアリマシタガ、是ハ既ニ本議場ニ於キマシテモ建議案ガ出テ居リマス、其建議案當時ノ質問應答ト異ル事ハアリマセヌカラ省略ヲ致シマス、討論ニ移リマシテ、憲政會ヲ代表シテ樋口君ヨリ修正ノ動議ガ出マシタ、其修正ノ要旨ハ、歲出臨時部ニ於テ、大藏省所管ニ屬スル第三款ノ第十項ノ臨時教育行政調查會諸費金三萬九千五百三圓ヲ、全部削除スルト云フコトデアリマシタ、其理由ハ本會ニ於テ述べルト云フコトデアリマシタ、又國民黨ノ小橋君ハ、此追加豫算ノ三案ニ對シテ全然贊成

ヲスルガ、臨時財政經濟調查會ヲ根本的ニ調査ヲ進メテ、財政稅制ノ根本整理ヲ行フコトヲ希望スルト云フ、熱心ナル希望條件ヲ添ヘラレマシタ、又臨時教育行政調查會ニ對シテハ、政府ノ提案ハ、此程ノ建議案トハ其趣旨モ異ナル點ガアルヤウデアアルカラ、此意味ニ於キマシテ贊成ヲスルト云フコトデアリマシタ、又政友會ヲ代表シテ長田君ハ、此三案ハ全然政府案ニ同意スル、庚申俱樂部ノ井内君カラモ右同様贊成ヲサレマシテ、採決ノ結果樋口君ノ修正案ハ少數ヲ以テ否決サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレマシタ、此段御報告ニ及ヒマス拍手起ル

○議長(與繁三郎君) 樋口秀雄君外二名ヨリ、第二號豫算追加案ニ對シテ修正案ヲ提出サレマシタ、仍テ此說明ヲ許シマス——樋口君

〔樋口秀雄君登壇、拍手起ル、簡單ト呼フ者アリ〕

○樋口秀雄君 私ハ本日上程致サレテ居リマスル大正十年度ノ第二號ノ追加豫算、大藏省所管ノ臨時部ニ屬シテ居リマスル調査費用ノ中、第十項ノ臨時教育行政調查會諸費ト云フモノ、三萬九千五百三圓ヲ削除致シタイト云フ修正動議ヲ提出シテ居ルデアリマス、此案ハ頗ル重大視サレテ居ルデアリマシテ、只今委員會ニ付託ニナテ居リマスル所、義務教育費國庫負擔額ニ關シテ居リマス、又同委員會ニ付託サレテ居リマスル所、井上角五郎君外十三名ノ御提案ニナリマシタ、市町村教育費整理ニ關スル建議案ト云フモノト密接ニ關係ガアルデアリマス、サウシテ諸君ノ御承知ノ通り、此地方自治體ノ經費ニ於キマシテ、教育費ガ非常ニ多額ニ達シマシタガ爲メニ、今ヤ全國ノ自治體ノ財政上ノ、破綻ニモ及バンカト云フコトヲ憂慮サレテ居ル時デアリマスカラ、此案ニ就テハ、今回提案ニナリマシタ此調査會ノコトニ就テハ、吾々ハ極メテ慎重ニ考ヘタノデアリマス、而モ其考慮ノ結果、遺憾ナガラ此調査會ト云フモノノ設置ノ費用ヲ削除シタイト云フ結論ニ到達致シタノデアリマス、只今簡單ト云フ御希望モアリマシタガ、出來得ル丈ケ簡單ニハ申述ベマスガ、之ニ對シテ已ムヲ得ズ反對ヲ致スニ至ラ理由ダケニ就キマシテ、是ヨリ逐一申述ベマシテ諸君ノ御同意ヲ得タイト思フデアリマス、先ヅ私共ガ此調査會ト云フモノ、設置ニ對シテ、不必要デハナカラウカト云フ感ゾヲ持チマシタノハ、嚮ニ豫算會其他ノ際ニ於キマシテ、原總理大臣カラモ屢、御言明ガアリマシタ、此教育費ノ非常ニ——市町村ノ教育費ガ非常ニ多額ニ上リマシタニ就テハ、諸種ノ建議案若クハ請願等モアリテ、増額ノ必要ハアルカモ知レマセヌガ、財政ノ現狀ガ之ヲ許サナイ、又一方ニ於テハ、

ヲスルガ、臨時財政經濟調查會ヲ根本的ニ調査ヲ進メテ、財政稅制ノ根本整理ヲ行フコトヲ希望スルト云フ、熱心ナル希望條件ヲ添ヘラレマシタ、又臨時教育行政調查會ニ對シテハ、政府ノ提案ハ、此程ノ建議案トハ其趣旨モ異ナル點ガアルヤウデアアルカラ、此意味ニ於キマシテ贊成ヲスルト云フコトデアリマシタ、又政友會ヲ代表シテ長田君ハ、此三案ハ全然政府案ニ同意スル、庚申俱樂部ノ井内君カラモ右同様贊成ヲサレマシテ、採決ノ結果樋口君ノ修正案ハ少數ヲ以テ否決サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレマシタ、此段御報告ニ及ヒマス拍手起ル

○議長(與繁三郎君) 樋口秀雄君外二名ヨリ、第二號豫算追加案ニ對シテ修正案ヲ提出サレマシタ、仍テ此說明ヲ許シマス——樋口君

〔樋口秀雄君登壇、拍手起ル、簡單ト呼フ者アリ〕

○樋口秀雄君 私ハ本日上程致サレテ居リマスル大正十年度ノ第二號ノ追加豫算、大藏省所管ノ臨時部ニ屬シテ居リマスル調査費用ノ中、第十項ノ臨時教育行政調查會諸費ト云フモノ、三萬九千五百三圓ヲ削除致シタイト云フ修正動議ヲ提出シテ居ルデアリマス、此案ハ頗ル重大視サレテ居ルデアリマシテ、只今委員會ニ付託ニナテ居リマスル所、義務教育費國庫負擔額ニ關シテ居リマス、又同委員會ニ付託サレテ居リマスル所、井上角五郎君外十三名ノ御提案ニナリマシタ、市町村教育費整理ニ關スル建議案ト云フモノト密接ニ關係ガアルデアリマス、サウシテ諸君ノ御承知ノ通り、此地方自治體ノ經費ニ於キマシテ、教育費ガ非常ニ多額ニ達シマシタガ爲メニ、今ヤ全國ノ自治體ノ財政上ノ、破綻ニモ及バンカト云フコトヲ憂慮サレテ居ル時デアリマスカラ、此案ニ就テハ、今回提案ニナリマシタ此調査會ノコトニ就テハ、吾々ハ極メテ慎重ニ考ヘタノデアリマス、而モ其考慮ノ結果、遺憾ナガラ此調査會ト云フモノノ設置ノ費用ヲ削除シタイト云フ結論ニ到達致シタノデアリマス、只今簡單ト云フ御希望モアリマシタガ、出來得ル丈ケ簡單ニハ申述ベマスガ、之ニ對シテ已ムヲ得ズ反對ヲ致スニ至ラ理由ダケニ就キマシテ、是ヨリ逐一申述ベマシテ諸君ノ御同意ヲ得タイト思フデアリマス、先ヅ私共ガ此調査會ト云フモノ、設置ニ對シテ、不必要デハナカラウカト云フ感ゾヲ持チマシタノハ、嚮ニ豫算會其他ノ際ニ於キマシテ、原總理大臣カラモ屢、御言明ガアリマシタ、此教育費ノ非常ニ——市町村ノ教育費ガ非常ニ多額ニ上リマシタニ就テハ、諸種ノ建議案若クハ請願等モアリテ、増額ノ必要ハアルカモ知レマセヌガ、財政ノ現狀ガ之ヲ許サナイ、又一方ニ於テハ、

ヲスルガ、臨時財政經濟調查會ヲ根本的ニ調査ヲ進メテ、財政稅制ノ根本整理ヲ行フコトヲ希望スルト云フ、熱心ナル希望條件ヲ添ヘラレマシタ、又臨時教育行政調查會ニ對シテハ、政府ノ提案ハ、此程ノ建議案トハ其趣旨モ異ナル點ガアルヤウデアアルカラ、此意味ニ於キマシテ贊成ヲスルト云フコトデアリマシタ、又政友會ヲ代表シテ長田君ハ、此三案ハ全然政府案ニ同意スル、庚申俱樂部ノ井内君カラモ右同様贊成ヲサレマシテ、採決ノ結果樋口君ノ修正案ハ少數ヲ以テ否決サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレマシタ、此段御報告ニ及ヒマス拍手起ル

○議長(與繁三郎君) 樋口秀雄君外二名ヨリ、第二號豫算追加案ニ對シテ修正案ヲ提出サレマシタ、仍テ此說明ヲ許シマス——樋口君

〔樋口秀雄君登壇、拍手起ル、簡單ト呼フ者アリ〕

○樋口秀雄君 私ハ本日上程致サレテ居リマスル大正十年度ノ第二號ノ追加豫算、大藏省所管ノ臨時部ニ屬シテ居リマスル調査費用ノ中、第十項ノ臨時教育行政調查會諸費ト云フモノ、三萬九千五百三圓ヲ削除致シタイト云フ修正動議ヲ提出シテ居ルデアリマス、此案ハ頗ル重大視サレテ居ルデアリマシテ、只今委員會ニ付託ニナテ居リマスル所、義務教育費國庫負擔額ニ關シテ居リマス、又同委員會ニ付託サレテ居リマスル所、井上角五郎君外十三名ノ御提案ニナリマシタ、市町村教育費整理ニ關スル建議案ト云フモノト密接ニ關係ガアルデアリマス、サウシテ諸君ノ御承知ノ通り、此地方自治體ノ經費ニ於キマシテ、教育費ガ非常ニ多額ニ達シマシタガ爲メニ、今ヤ全國ノ自治體ノ財政上ノ、破綻ニモ及バンカト云フコトヲ憂慮サレテ居ル時デアリマスカラ、此案ニ就テハ、今回提案ニナリマシタ此調査會ノコトニ就テハ、吾々ハ極メテ慎重ニ考ヘタノデアリマス、而モ其考慮ノ結果、遺憾ナガラ此調査會ト云フモノノ設置ノ費用ヲ削除シタイト云フ結論ニ到達致シタノデアリマス、只今簡單ト云フ御希望モアリマシタガ、出來得ル丈ケ簡單ニハ申述ベマスガ、之ニ對シテ已ムヲ得ズ反對ヲ致スニ至ラ理由ダケニ就キマシテ、是ヨリ逐一申述ベマシテ諸君ノ御同意ヲ得タイト思フデアリマス、先ヅ私共ガ此調査會ト云フモノ、設置ニ對シテ、不必要デハナカラウカト云フ感ゾヲ持チマシタノハ、嚮ニ豫算會其他ノ際ニ於キマシテ、原總理大臣カラモ屢、御言明ガアリマシタ、此教育費ノ非常ニ——市町村ノ教育費ガ非常ニ多額ニ上リマシタニ就テハ、諸種ノ建議案若クハ請願等モアリテ、増額ノ必要ハアルカモ知レマセヌガ、財政ノ現狀ガ之ヲ許サナイ、又一方ニ於テハ、

ヲスルガ、臨時財政經濟調查會ヲ根本的ニ調査ヲ進メテ、財政稅制ノ根本整理ヲ行フコトヲ希望スルト云フ、熱心ナル希望條件ヲ添ヘラレマシタ、又臨時教育行政調查會ニ對シテハ、政府ノ提案ハ、此程ノ建議案トハ其趣旨モ異ナル點ガアルヤウデアアルカラ、此意味ニ於キマシテ贊成ヲスルト云フコトデアリマシタ、又政友會ヲ代表シテ長田君ハ、此三案ハ全然政府案ニ同意スル、庚申俱樂部ノ井内君カラモ右同様贊成ヲサレマシテ、採決ノ結果樋口君ノ修正案ハ少數ヲ以テ否決サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレマシタ、此段御報告ニ及ヒマス拍手起ル

○議長(與繁三郎君) 樋口秀雄君外二名ヨリ、第二號豫算追加案ニ對シテ修正案ヲ提出サレマシタ、仍テ此說明ヲ許シマス——樋口君

〔樋口秀雄君登壇、拍手起ル、簡單ト呼フ者アリ〕

○樋口秀雄君 私ハ本日上程致サレテ居リマスル大正十年度ノ第二號ノ追加豫算、大藏省所管ノ臨時部ニ屬シテ居リマスル調査費用ノ中、第十項ノ臨時教育行政調查會諸費ト云フモノ、三萬九千五百三圓ヲ削除致シタイト云フ修正動議ヲ提出シテ居ルデアリマス、此案ハ頗ル重大視サレテ居ルデアリマシテ、只今委員會ニ付託ニナテ居リマスル所、義務教育費國庫負擔額ニ關シテ居リマス、又同委員會ニ付託サレテ居リマスル所、井上角五郎君外十三名ノ御提案ニナリマシタ、市町村教育費整理ニ關スル建議案ト云フモノト密接ニ關係ガアルデアリマス、サウシテ諸君ノ御承知ノ通り、此地方自治體ノ經費ニ於キマシテ、教育費ガ非常ニ多額ニ達シマシタガ爲メニ、今ヤ全國ノ自治體ノ財政上ノ、破綻ニモ及バンカト云フコトヲ憂慮サレテ居ル時デアリマスカラ、此案ニ就テハ、今回提案ニナリマシタ此調査會ノコトニ就テハ、吾々ハ極メテ慎重ニ考ヘタノデアリマス、而モ其考慮ノ結果、遺憾ナガラ此調査會ト云フモノノ設置ノ費用ヲ削除シタイト云フ結論ニ到達致シタノデアリマス、只今簡單ト云フ御希望モアリマシタガ、出來得ル丈ケ簡單ニハ申述ベマスガ、之ニ對シテ已ムヲ得ズ反對ヲ致スニ至ラ理由ダケニ就キマシテ、是ヨリ逐一申述ベマシテ諸君ノ御同意ヲ得タイト思フデアリマス、先ヅ私共ガ此調査會ト云フモノ、設置ニ對シテ、不必要デハナカラウカト云フ感ゾヲ持チマシタノハ、嚮ニ豫算會其他ノ際ニ於キマシテ、原總理大臣カラモ屢、御言明ガアリマシタ、此教育費ノ非常ニ——市町村ノ教育費ガ非常ニ多額ニ上リマシタニ就テハ、諸種ノ建議案若クハ請願等モアリテ、増額ノ必要ハアルカモ知レマセヌガ、財政ノ現狀ガ之ヲ許サナイ、又一方ニ於テハ、

ヲスルガ、臨時財政經濟調查會ヲ根本的ニ調査ヲ進メテ、財政稅制ノ根本整理ヲ行フコトヲ希望スルト云フ、熱心ナル希望條件ヲ添ヘラレマシタ、又臨時教育行政調查會ニ對シテハ、政府ノ提案ハ、此程ノ建議案トハ其趣旨モ異ナル點ガアルヤウデアアルカラ、此意味ニ於キマシテ贊成ヲスルト云フコトデアリマシタ、又政友會ヲ代表シテ長田君ハ、此三案ハ全然政府案ニ同意スル、庚申俱樂部ノ井内君カラモ右同様贊成ヲサレマシテ、採決ノ結果樋口君ノ修正案ハ少數ヲ以テ否決サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレマシタ、此段御報告ニ及ヒマス拍手起ル

ヲスルガ、臨時財政經濟調查會ヲ根本的ニ調査ヲ進メテ、財政稅制ノ根本整理ヲ行フコトヲ希望スルト云フ、熱心ナル希望條件ヲ添ヘラレマシタ、又臨時教育行政調查會ニ對シテハ、政府ノ提案ハ、此程ノ建議案トハ其趣旨モ異ナル點ガアルヤウデアアルカラ、此意味ニ於キマシテ贊成ヲスルト云フコトデアリマシタ、又政友會ヲ代表シテ長田君ハ、此三案ハ全然政府案ニ同意スル、庚申俱樂部ノ井内君カラモ右同様贊成ヲサレマシテ、採決ノ結果樋口君ノ修正案ハ少數ヲ以テ否決サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレマシタ、此段御報告ニ及ヒマス拍手起ル

○議長(與繁三郎君) 樋口秀雄君外二名ヨリ、第二號豫算追加案ニ對シテ修正案ヲ提出サレマシタ、仍テ此說明ヲ許シマス——樋口君

〔樋口秀雄君登壇、拍手起ル、簡單ト呼フ者アリ〕

○樋口秀雄君 私ハ本日上程致サレテ居リマスル大正十年度ノ第二號ノ追加豫算、大藏省所管ノ臨時部ニ屬シテ居リマスル調査費用ノ中、第十項ノ臨時教育行政調查會諸費ト云フモノ、三萬九千五百三圓ヲ削除致シタイト云フ修正動議ヲ提出シテ居ルデアリマス、此案ハ頗ル重大視サレテ居ルデアリマシテ、只今委員會ニ付託ニナテ居リマスル所、義務教育費國庫負擔額ニ關シテ居リマス、又同委員會ニ付託サレテ居リマスル所、井上角五郎君外十三名ノ御提案ニナリマシタ、市町村教育費整理ニ關スル建議案ト云フモノト密接ニ關係ガアルデアリマス、サウシテ諸君ノ御承知ノ通り、此地方自治體ノ經費ニ於キマシテ、教育費ガ非常ニ多額ニ達シマシタガ爲メニ、今ヤ全國ノ自治體ノ財政上ノ、破綻ニモ及バンカト云フコトヲ憂慮サレテ居ル時デアリマスカラ、此案ニ就テハ、今回提案ニナリマシタ此調査會ノコトニ就テハ、吾々ハ極メテ慎重ニ考ヘタノデアリマス、而モ其考慮ノ結果、遺憾ナガラ此調査會ト云フモノノ設置ノ費用ヲ削除シタイト云フ結論ニ到達致シタノデアリマス、只今簡單ト云フ御希望モアリマシタガ、出來得ル丈ケ簡單ニハ申述ベマスガ、之ニ對シテ已ムヲ得ズ反對ヲ致スニ至ラ理由ダケニ就キマシテ、是ヨリ逐一申述ベマシテ諸君ノ御同意ヲ得タイト思フデアリマス、先ヅ私共ガ此調査會ト云フモノ、設置ニ對シテ、不必要デハナカラウカト云フ感ゾヲ持チマシタノハ、嚮ニ豫算會其他ノ際ニ於キマシテ、原總理大臣カラモ屢、御言明ガアリマシタ、此教育費ノ非常ニ——市町村ノ教育費ガ非常ニ多額ニ上リマシタニ就テハ、諸種ノ建議案若クハ請願等モアリテ、増額ノ必要ハアルカモ知レマセヌガ、財政ノ現狀ガ之ヲ許サナイ、又一方ニ於テハ、



若シ調査會ヲ設ケテ十分ニ調査ヲ致シタラバ、此教育費ト云フモノ或程度マデ節約スルコトガ出來ルカモ知レヌ、又其趣旨ニ依テ調査會ヲ設ケル積リデアルト云フ言明ガアリマシク、又二月十三日ニ、先程申述ベマシタ井上君ノ町村教育費ノ整理ニ關スル建議案ガ出マシタトキ、同君ノ御説明ニ依テ見マシテモ、教育整理ノ爲メノ調査會デアアルベキ筈デアリマス、然ルニ本日上程セラレマシタ所ノ豫算ノ款ニ於キマシテハ、名目ガ臨時教育行政調査會トナッテ居リマシテ、教育費ノ節約ノ爲メニスル調査會ト全然同一デアリヤ否ヤト云フコトハ、多少疑ハレルノデアリマス、此點ニ就キマシテ、然ラバ如何ナル事項ヲ御調査ニ相成ルコト云フコトヲ、國民黨ノ小橋君カラ當局ノ文部大臣ニ御尋ニナリマシタ所ガ、其内容ニ就テハ精密ニ御陳述ニナルコトヲ御避ケニナッテ伺テ居リマス、然ラバ當局ニ於テ御説明ノナイ以上ハ、私共ハ之ヲ先日原總理大臣ガ申述ベラレタ意味ノ調査會又委員會ニ御提案ニナッテ居ル意味ノ調査會、斯ウ了解スルコト外ナイノデアアル、果シテ然ラバ地方ノ自治體ニ屬スル教育費——市町村ノ義務教育ニ關スル教育費ノ上デ縦シテ調査會ヲ設ケマシテモ、幾何ノ整理ガ出來ルカト云フコトガ、第一問題ニナラナクテハナラヌノデアリマス、此點ニ關シマシテハ、先日提案者ノ井上君ト吾トノ間ニ質問應答ヲ重ネマシタ、其際井上君ハ委員會ニ於カレテモ、四割ト云ウタノハ誤リデアツケレドモ、三割位井上君出來ルト思フテ原稿ニモ書イテ居ルト言フテ、其原稿ヲ御示ニナッテ程デアル、サスレバ此一億五千萬圓ニ達シテ居リマス義務教育ヲ致シマスル教員ノ俸給費ノ中デ、是カラ三割ノ節約ガ出來ルト云フコトハ、何等カ根柢ノアル御考慮ノ下ニ御發表ニナッテ居ルト存ジマス、然ルニ吾々ハ之ニ對シテ絕對ニ反對ノ意見ヲ持テ居リマス、如何ナル方法ヲ執リマシテモ、或ハ御陳述ニナリマシタ如ク、學校ノ併合ト云フヤウナコトヲ致シタリ、或ハ校長ノ兼任ト云フヤウナコトガ其效果ガ教育上ニ於テ果シテ善イカ惡イカハ姑ク別問題ト致シ、經費ノ節約整理丈ケニ就テ考ヘマシテモ、到底斯ノ如キ多大ノ節約ヲ致スコトガ出來ナイ、況ヤ現内閣ノ國務大臣諸君ハ、臨時教育委員會及前身タル教育調査會ノ決議ハ、十分ニ尊重致スト云フ御言明ニナッテ居リマスガ、果シテ然ラバ大正七年ニ於テ兩院ヲ通過致シタ所ノ義務教育費ノ國庫補助ニ關スル建議案、是ハ當時ノ教員費ノ總額三千七百萬圓ト云フモノニ對シテ、約半額ノ二千萬圓ヲ國庫ニ於テ負擔スベシト云フ決定ヲ致シタノデアアル、全員一致ノ決定デアリマス、是ト時ヲ少シク進ヘマシテ、教育委員會ニ於テモ、同ジク此義務教育ニ從事シマスル教員ノ俸給ノ半額マデハ、國庫ニ於テ補助ガアツテ然ルベシト云フ意味ノ決議ヲ爲サレタ、ノミナ

ラス其決議ニ附帶致シテ希望條件ノ中ニ——日本其原文ヲ持參致シマセヌガ、意味ハ間違テ居リマセヌ、其希望條件ノ中ニ、政府當局ハ速ニ教育費ノ整理ニ努メテ貫ヒタイト云フ意味ノ事ガ明カニ謳ハレテ居リマシテ、若シ果シテ此教育委員會ノ決議ヲ非常ニ御尊重ニナリマシタラバ、現内閣トシテハ成立以來既ニ二年有餘、此間十分此整理ニ關スル御調査ガアツタコト、思フ、今更地方ノ市町村ノ代表者ガ請願ニ參レバトテ、急ニ更メテ御調査ニナル程ハ、御油斷ノアル政府デアアルマイト私ハ思フ、果シテ然ラバ茲ニ臨時教育行政調査會ナルモノヲ設ケズトモ、考慮中々々々ト云テ常ニ御考慮ニナッテ居ル政府トシテハ、二年有半ノ歲月ノ間ニ、未ダ御調査ガ出來ナイ筈ハ斷ジテ無カラウト思フ、(拍手)何ノ意味ニ於テ更メテ斯ノ如キ調査會ヲ設ケラレタカ、其趣意ヲ私共ニ之ヲ了解スルコトガ出來ナイ、加之本年ノ通常豫算ヲ見マスルト云フト、臨時教育委員會ノ經費ハ其儘計上シテアリマス、又臨時教育委員會ガ了リマシタラバ、新タニ教育調査會ノ如キモノ——廣キ意味ニ於ケル教育調査會ノ如キモノヲ設ケルト云フコトハ、當局ニ於キマシテ御説明ニナッテ居ル、然ラバ其教育委員會ノ任期ガ終了致シ、更メテ教育調査會ガ起ルトシマシタラバ、縦シテ只今マデ御調査ノ結果ガ、尙ホ其方面ニ堪能ナル人ノ意見ヲ併セテ聽ク必要ガアラバ、此教育調査會ニ付議サレテ、少シモ心配ハ無イコトデアルト私ハ思フ、然ルニ何ゾヤ今ニ於テ倉皇トシテ教育行政調査會ナルモノヲ設ケルト云フ趣意ハ、私甚ダ了解ニ苦シム、(拍手)加之尙ホ此政府當局ノ言明ニ於キマシテモ、此教育費ノ調査會、若クハ教育行政調査會ト云フ銘ヲ打テ現レマシタル本調査會ニ於テ、調査致シタ後ニ、地方民ノ要求セル——熱望セル國庫負擔額ノ増額ニ取掛ルト云フ意味ハ、在リ——ト現ハレテ居ルノデアリマスカラシテ、此會ハ恐ラク地方ノ要求ガ盛ナルニ困ジ果テラレテ、暫ク調査會ニ隱レテ、國庫負擔額ノ增加ヲ御通ゲニナラウト云フ案デアアルマイカト私ハ思フ、(拍手)起ル「ノウ」——加之此教育行政調査會ガ出來マシテモ、之ヲノ位ノ期間ニ於テ果シテ御決定ニナラウト云フコトニ就テハ私ハ疑ガアル、御承知ノ通り貴族院ニ於テ問題ニナッテ居リマシタ昇格問題ニ就キマシテハ、政府部内ニ於テ——新タニ別二人選ヲ爲サラズニ、政府部内ノ各大臣若クハ各政府委員ガ調査會ヲ造ラシテ、急速ニ其結果ハ既ニ御報告ニナルマデニ運ンデ居ルト云フコトヲ承テ居ル、若シ同一ノ御誠意ガアルナラバ、貴族院ニ對シテ會期中ニ既ニ調査會ナルモノヲ急造セラレテ、結了ニ近ゾイタ程ノ御盡力ヲテ衆議院ノ要求ニ對シテモ亦極メテ短日月ノ間ニ、此調査ヲ爲スニ裁クハ宜カラウト思フノデアリマス、(拍手)所ガ先日

政友會ノ總務鵜澤君ガ、小學校教員費國庫負擔額增加ニ關スル建議案ノ委員會ニ於キマシテ、斯ウ云フ事ヲ御述ベニナッテ、何時マデノ間ニ此調査會ハ終了セシムルノデアアルカト云フコトヲ、吾々カラ質問致シタ時ニ、ソレハ便々トシテ時日ヲ延バスベキモノデアナイ、急速ニヤル、彼ノ昇格問題ニ對スル調査會ノヤウナ手際ヲ以テ、十五日若クハ連クテモ二十日間位ニ結了シテ貰フテ、成ルベクハ會期中ニ、其結果ヲ報告シテ貰ヒタイ積リデアルト云フコトヲ御述ニナッテ居ル、果シテ然ラバ是ガ二週間ヤ三週間デアラ出来ル位ノ調査ナラバ、過去二年有半ノ間何ヲ爲スデ居ラシタ、又鵜澤君ハ十五日ト云フコトハ後ニ御改メニナリマシタガ、極メテ短時日ノ間ニヤル委員會ナラバ、何モ如何ニ金ガ有餘デ居ルカハ知りマセヌガ、約四萬圓ニ近キ經費ヲ支出シテ、斯ノ如キ調査會ヲ設ケル必要ガ何所ニ在ルノデアリマスガ、此調査會ヲ設ケテ御調査ニナルベキ内容ニ就テハ、政府ニ必ズヤ豫メ御成案ガアルニ違ヒナイ、而モ先日政府委員ノ述ベラレタ如ク、或ハ井上君若クハ鵜澤君ノ御申述ニナッテ如ク、學校ノ併合デアルトカ、校長ノ兼任デアルトカ、若クハ複式教授ト云フヤウナモノハ、教育上ノ效果ヲ以テ論ジマスレバ、吾々ガ原則トシテ反對デアリマスルガ、何リニスル節約ヲ爲スルコトガ、到底此所謂三割ナドハ出來ル筈ハナイ、竊ニ承ル所ニ於テハ、政府ハ此文部省ガ小學校教員ノ俸給ノ等級表等ヲ作り、此教員優遇ニ努メタ結果、費額ガ増加シタノデアルカラ、文部省トシテ手ノ付ケ様ガナイ、已ムラ得ズ内務省及大藏省ノ政府當局者ヲ雇ヒ來ッテ、内閣總理大臣直屬ノ調査會トシ、其協定ニ依ッテ文部省ノ省議ヲ齎サレタイト云フ口實ノ下ニ、小學校教員ノ俸給ヲ非常ニ減額サレテ、之ニ依ッテ三四萬圓ノ經費ヲ節約ナラウト云フ、底意ガアルト云フコトヲ私ハ承テ居ル、(拍手)起ル斯ノ如キハ吾々ハ絕對ノ反對セニヤナラス、其意味ニ於テ強テ文部省自身ガ爲シ得ザルガ爲メニ、内務大藏當局ヲ雇ヒ來リ、其他省トノ關係上、果シテ教員ノ優遇ト云フコトヲ逆行致シマシテ、又世間ノ希望ニ反シマシテ、之ヲ一億五千萬圓ノモノヲ急速ニ二千萬圓ヲ減ズルト云フヤウナ事ナラバ、吾々ハ此小學校教育ト云フモノ、前途ニ對シテ、悲觀ノ推測ヲシナケレバナラウト思フ、(拍手)起ル又縦シテ假リニ是ガ何等カノ方法ニ依ッテ、三千万圓四千万圓ノ金ガ節約ガ出來タト致シマシテモ、當時吾々衆議院全員一致ヲ以テ建議ヲ致シ、教育委員會ガ亦之ヲ認メマシタル所ノ、教員俸給半額マデハ、國庫ニ於テ負擔スベシト云フ此原則ニ對シテ如何デアリマスガ、假リニ一億五千萬圓ノ中カラ三千万圓ノ節約ガアツタトシテモ、尙ホ七千五百萬圓アリマス、其半額トシマスレバ、三千六百七百萬圓ト云フモノハ國庫カラ支出ス



公言シテ居ルモノデアルト思フデアリマス、更ニ又再々言フ通り、建議案ニ對スル委員會ノ時ニ、政府委員モ、建議案ノ提出者タル政友會ノ瀧澤君及井上君等モ、何等整理節約ノ餘地アリトハ申サヌノデアリマス、唯タ私ノ質問ニ對シテ政府委員ガ、一ツノ問題ガアル、ソレハ一學級七十人ハ七十五人以上トシテモ差支ナイガ、或極メテ小部分ノ山間僻地ノ場所ニ於キマシテ、一學級二十人或ハ三十人位ノ編成ヲ以テシテ、而シテ代用教員ヲ以テ之ニ充テ、居ルト云フ所ガ幾ツモアル、之ヲ整理シテ、詰リ文部省ガ所シタル相當ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編成スレバ、或程度ノ削減ハシ得ル、是タテ以外ニ何モアリマセヌ、委員會ニ於テ政府委員ノ御話トシテモ、三割ノ整理節約ヲ爲シ得ルト稱シタル、政友會ノ提案ノ説明者ニモ是以外何モアリマセヌ、少シモ無イ、而シテ此問題ニ就キマシテ、私ハ政府委員ガ左様ナル事ガアルトシテモ、是ハ何モ特別ニ委員會ヲ開カズトモ、只ダ文部大臣ガ地方長官ニ命ジテ、而シテ那視學或ハ照視學ヲ以テ實行セシムレバ出來ルデハナイカ、(拍手起ル)之ガ爲メニ調査機關ヲ設ケル必要ガ無イデハナイカト云フ質問ヲ致シマシタ、所ガソレガ爲メニハ、敢テ調査機關ヲ設ケル必要ハ無イト斯ウ言明ニナツテ居ル、彼此綜合スレバ、何レノ點カラ言ヒマシテモ、整理節約ノ餘地ハゴザイマセヌ、唯ダ小橋君ノ御話ニナツトモ、私能ク知りマセヌガ、文部大臣ハ斯ウ云フ事ガアルノデス、私ガ委員會ニ於テ、文部大臣ガ——此問題ハ、貴方ガ衆議院議員タル時代ニ於テ、教員給ノ半額マデハ、國庫ノ負擔ニシロト云フコトヲ要求スル一人トナツテ、而シテ御承認ニナツタ問題デアル、而シテ大正九年七月ノ特別議會ノ時ニ於テハ、先程樋口君ノ言フ通り是ガ半額ニナリ、或ハ倍額ニナツタナラバ、何ヲ質ニ置イテモ此問題ヲ解決シナケレバナラヌト仰シヤタデハナイカ、故ニ貴方ハ此問題ハ文部大臣トシテ、全ク國民教育ニ忠實デ在ラセラルナラバ、何故ニ此問題ニ對シテ職ヲ賭シテ争ハレナイカト云フコトヲ、私ガ委員會ニ於テ聽キマシタ、所ガ文部大臣ハ答ヘテ曰ク、文部大臣トシテハ之ヲ爲サントスレドモ中ニ出來ナイ、政黨内閣デアラカラ職ヲ賭シテ争フト云フコトハ出來ナイノデアアル、唯タ御推量ヲ願ヒタイノデアルト、斯ウ仰シヤタノデアアル、是ハ速記録ニ明カニ在リマス、其御推量ヲ願ヒマスト云フコトハ、詰リ教育費ノ國庫負擔ヲ増額スルト云フコトハ、文部大臣ハ必要ハ認メテ居ル、併ナガラ大藏省或ハ内務省ノ諒解ヲ得ルコトガ出來ナイ、所謂諒解ヲ得ルコトガ出來ナイノハ、文部大臣トシテノ威信ガ無イ爲メニ、結局ハムラ得ズ調査會ナド、云フモノ、名ヲ藉リテ之ヲ解決セントスルニ非ズヤト私ハ思フノデアアル、(拍手起ル)若シ文部大臣ガ實際ニ誠意ガアツテ、此問題ヲ解決セ

ントスレバ出來ナイ事ハナイノデアレドモ、誠意ガ無イト同時ニ、他ノ各省ニ向テ此問題ヲ解決スルダケノ、文部大臣トシテノ威信ガ無イノデアルト思フ、唯タ此威信ノ無イコトヲ掩ハンガ爲メニ、而シテ國民ノ要求ニ追ハレテ、其通路ヲ造ランガ爲メニ、斯ノ如キ整理節約不可能ナル所ノ豫算ヲ政府ガ、提出シタルモノデアルト私ハ斷言スルノデアリマス、以上ノ理由ヲ以テ本案否決ニ同意シマス

○副議長(粕谷義三君) 牧山耕藏君

〔牧山耕藏君登壇、拍手起ル〕

○牧山耕藏君 本員ハ憲政會ノ臨時教育行政調査ニ關スル經費ノ削減説ニ反對ヲ致シマシテ、委員長ノ報告ニ賛成ノ意ヲ表明致ス者デアリマス、我が帝國ニハ、教育ニ關スル種々ノ調査會ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、初等教育ニ關シマシテ、十分ナル調査ヲ致シタル機關ハ是マデ無イノデアリマス、尤モ臨時教育會議ニ於キマシテ、學制ニ關シテハ大分調査ヲサレタノデアリマス、財政經濟ノ見地ヨリシテ、十分ナル所ノ調査ヲ遂ケラレタ事ハナイノデアリマス、然ルニ今回設ケラレマスル所ノ調査會ハ、主トシテ此初等教育ニ關スル調査ヲ目的ト致シタモノデアリマス、只今樋口君並ニ高田君ヨリ色々御議論ヲ伺ヒマシタガ、結論ニ於テハ之ニ反對ヲサレテ居リマス、御議論ノ内容ヲ伺ヒマシタル、矢張調査ヲシテ見ナケレドモ、判ラナイト云フ意味ガ含マレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、(ノウ)何等教育費ニ關シテハ殊ニ義務教育費國庫補助増額ニ關スル建議案ノ委員會ニ於テモ、色々御議論サレテ居リマス、高田君ノ如キモ、矢張調査ヲシテ見ナケレドモ、節約ノ餘地モアルデアラウト云フヤウナ御議論モアツタノデアリマス、此調査會ト云フモノハ、必ズシモ教育費ノ整理節約ノ目的ト致シテ居ルノデアリナイノデアリマス、即チ現在ニ於キマシテハ、市町村教育費ノ總額ハ約一億七千万圓、此巨額ナル教育費ノ爲メニ、市町村ハ非常ニ苦シテ居ルノデアリマス、又國庫ヨリハ——大正六年ノ議會ニ於テ我立憲政友會ヨリ、教育費ニ對シテ國庫補助ノ建議ヲ致シテ、其建議ニ基ツイテ寺内内閣ハ大正七年ニ於テ、一千万圓ノ補助ヲ議會ニ要求シ、之ニ對シテ御互ハ協賛ヲ與ヘタノデアリマス、之ニ就キマシテモ二千万圓ノ内、百五十萬圓ヲ貧弱町村ニ割當テ跡ノ九百萬圓ノ内、四百五十萬圓ヲ正教員並ニ准教員ノ數ニ比例割當テ、残り四百五十萬圓ヲ、兒童數ニ依テ割當テタト云フコトニ相成テ居リマス、尤モ果シテ公平ナル割當方法デアラカドウカト云フコトハ、尙ホ大ナル研究ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、(食シキ町村ニ於キマシテ、准教員若クハ正教員ヲ雇フコトガ出來ナイデ、代用教員ヲ澤山使テ居ルノデアアル、然ルニ此割當ノ方法デハ、却テ其貧シイ村

ハ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイト云フヤウナ疑モアルノデアリマス、斯様ナ點ニ就キマシテモ、尙ホ調査會ヲ設ケテ、十分ニ調査研究致ス必要ガアラウト思フノデアアル、又調査會ノ目的ハ、同ジ金ヲ使ヒマシテモ、即チ一億七千万圓ト云フ經費ヲ學校教育ノ爲メニ使テ居ルノデアリマス、尙ホ大ニ研究ヲ致ス必要ガアラウト思フノデアリマス、又整理ノ問題ニ關シマシテハ、成程教員ノ俸給ヲ減ラスト云フコトハ出來ナイノデアリマセウガ、制度及法規ノ改廢整理、其他ノ方法ニ依テ、教育ノ效果ヲ損セザル範圍内ニ於テ、學校教育費ヲ削減シ得ラレル途ガ無イト、此所ニ於テ斷ズルコトハ出來ナカラウト思フノデアリマス、(拍手起ル)又此調査會ヲ設ケルノハ、何カ政府ガ初等教育ニ冷淡デアラフ、教育費ノ國庫補助ヲ増額スルノヲ避ケル爲メニ、其陰ニ隠レテ、之ヲ口實トシテ、此委員會ヲ設ケルノデアルト云フヤウナ説ヲ爲サレシテ居ラレマス、是ハ非常ニ二調査會設置ノ目的ヲ誤解シテ居ラレマス、所ノ議論デアラウト思フノデアリマス、(拍手起ル)現在ニ支出シテ居ル所ノ補助一千万圓ハ勿論、一億七千万圓ト云フ教育費ヲ如何ニ有效ニ使フコト云フコトガ、矢張此調査ノ目的ノ一ツデアリマシテ、尙ホ増額ヲ致スト致シマスレバ、其増額シタル補助金ヲ如何ニ有效ニ使テ、教育ノ效果ヲ増進セシムルカト云フコトモ、更ニ此調査會ニ於テ研究ヲシナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、憲政會ノ諸君ハ、文部省ガ極メテ怠慢冷淡ト言ハレルノデアリマス、市町村教育費ノ問題ハ唯ダ更ニ文部省ノ調査ノミニ依テ出來ナイノデアアル、事柄ハ大藏省及内務省ニモ關係ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、此調査會ヲ設置致シテ、整理スベキハ整理シ、増加スベキハ増加シ、サウシテ帝國國民教育ノ效果ヲ十分ニ發揮セシムルコト云フコトハ、極メテ必要ナリト信ジマシテ本案ニ賛成ヲ致スノデアリマス、(拍手起ル)

○副議長(粕谷義三君) 他ニ發言ノ御通告モアリマセウカラ、討論ハ終結セラレタモノト認メマス、採決ヲ致サウト思ヒマス、先ツ修正案ニ就キマシテ採決致シマス、樋口秀雄君外二名提出ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ乞ヒマス

〔贊成者 起立〕

○副議長(粕谷義三君) 少數——修正案ハ否決セラレマシタ、次ニ委員長ノ報告ニ就テ採決致シマス、三案共ニ委員長ノ報告ニ賛成ノ諸君ハ起立

〔贊成者 起立〕

○副議長(粕谷義三君) 多數、仍テ三案共ニ委員長報告ノ通り可決致シマシタ、次ハ日程第十一、商務省及工務省





行ノ傳染病豫防法ハ「デアリマス」今「行」トノ誤デアリマスカラ、茲ニ訂正シテ置キマス

○岩崎勳君 本案ハ松下禎二君提出埋葬法案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

第十四 中央線淺川驛鹽山驛間電力速成ニ關スル建議案(三枝彦太郎君提出)

中央線淺川驛鹽山驛間電力速成ニ關スル建議案 中央線淺川驛鹽山驛間電力速成ニ關スル建議案 往年電力ニ變更シテ好成績ヲ示シツアリト云フ確氷

○岩崎勳君 本案ハ提案ノ理由説明ヲ省略シテ、松浦五兵衛君外五名提出、遠美鐵道速成ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

第十五 賣藥營業稅廢止ニ關スル建議案(高見之通君外二名提出)

賣藥營業稅廢止ニ關スル建議案 賣藥營業稅廢止ニ關スル建議案 政府ハ速ニ賣藥營業稅廢止ノ案ヲ立テ之ヲ議會ニ提出ス

○高見之通君 諸君、此賣藥ニハ二ツノ使命ガアルト思ヒマス、此賣藥ノ使命ノ一ハ醫者ノ代用、醫者ノ代用藥ニナルト云フコトノ爲メニ、賣藥ヲ非常ニ有效ニナルヤウニシ

テ來タノデアリマス、ソレヲ賣藥法ノ簡條ノ中ニ、毒藥若クハ劇藥ヲ漸次殖シテ、藥ヲ有效ニ段々スルヤウニナテ來タ、此使命ト共ニモウ一ツハ、賣藥ハ下層ノ人間ノ爲メニ、賣藥ノ效果ヲ發揮スルト云フ一ノ使用ヲ持テ居ル、一方ニ於テ

○岩崎勳君 本案ハ岩本平藏君外九名提出所得稅法中改正法律案外四件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、次ニ日程第十六、大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者山口義一君

第十六 大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案(山口義一君外四名提出)

大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案 大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案 大阪和歌山地方ニ於ケル旅客及荷物ノ輻輳スルコト頗

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、次ニ日程第十六、大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者山口義一君

其ノ必要ナルコトハ朝野ノ均シク認識スル所ナリ政府ハ速ニ本鐵道ヲ敷設セラレムコトヲ望ム

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ガ無イト認メマス、仍テ本案ハ委員付託ニ決シマシタ、次ニ日程第十七、國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者日野辰次君

第十七 國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案(日野辰次君外一名提出)

國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案 國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案 國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案

○日野辰次君 此席ヨリ申上ゲマス、提案理由ノ詳細ナ



ル事ハ委員會ニ譲ルコトニ致シマシテ、唯々此所ニハ熱誠ナル諸君ノ御賛同ヲ望ミテ置クニ止マラス（拍手）

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

第十八 櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案

櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ既成線タル奈良縣下櫻井驛ヨリ三重縣下松坂驛ニ連絡セシメタル線路ニシテ奈良三重兩縣下ノ資源ヲ開拓シテ以テ産業ノ發達ヲ促シ伊勢大廟參拜者ノ利便ヲ計リ以テ國民敬神ノ實現ヲ容易ナラシムルノミナラス産業上風教上ニ資スルコト亦極メテ大ナルモノアリ且此ノ線ハ九州四國近畿ヲ橫斷スル我カ邦將來交通網ノ大幹線タルヘキ一部ヲ形成スルモノニシテ即チ熊本ヨリ佐賀關八幡濱川之江徳島和歌山五條ヲ經テ本鐵道ニ聯絡シ更ニ松坂ヨリ大口ヲ經テ海上豊橋ニ達シ東海道本線ニ通シ以テ豊橋以西ノ東海道本線並山陽線ニ於ケル運輸ヲ緩和スルノミナラス其ノ經過線中軍事上重要ノ地點亦抄カラス經濟上軍事上之カ建設ハ一日モ忽ニスヘカラサルナリ政府ハ宜シク速ニ豫算ニ計上シ其ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

○津野田是重君 本案ハ昨年可決ヲ致シテ居リマスカラ、爰ニ詳細ニマセヌ、何卒本年モ全會一致ヲ以テ可決セラレシコトヲ希望致シマス（拍手）

○岩崎勳君 本案ハ山口義一君外四名提出、大阪和歌山間鐵道建設ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長（粕谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ、次ハ日程第十九、勢江鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ下致シマス、提出者天春文衛君

○副議長（粕谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ、次ハ日程第十九、勢江鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ下致シマス、提出者天春文衛君

第十九 勢江鐵道速成ニ關スル建議案

官報號外 大正十年三月十九日 衆議院議事速記第三十號

勢江鐵道速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ關西線四日市驛ヨリ東海道關ヶ原驛ヲ經由シ北陸線木本驛ニ達スル線路ニシテ本州中部ニ於ケル太平洋ト日本海トヲ聯絡接續スル最短距離ノ橫斷線ニシテ三重岐阜滋賀ノ三縣ニ渉ル沿道ノ富源ヲ開發シ國家産業政策上ニ資スルコト多大ナルノミナラス四日市港ト敦賀港ト接觸ヲ保チ延テ浦鹽方面トノ交通ヲ盛ニシ更ニ軍事國防上一日ヲ緩フヘカラサル重要ノ幹線ナリトス政府ハ速ニ豫算ヲ定メ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○天春文衛君 自席カラ辯明ヲ致シマスデアリマスガ、是ハ既ニ第四十議會ニ本會ヲ通過致シマシテ、其後當局ニ於キマシテモ實地踏査ヲセラレマシテ、今回本會ヲ通過致シマシト所ノ敷設法案ニ編入ニナリテ居リマスデアリマスカラ、何卒速ニ建設セラレシコトヲ希望致シマス（拍手）

○岩崎勳君 本案ハ日程第十六ノ委員ニ、併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長（粕谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ、次ハ日程第二十、西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案 提出者成田榮信君

第二十 西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案（成田榮信君外五名提出）

西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案  
西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案  
一四國線西條松山間ニ於テ愛媛縣下三津ヶ濱港ヲ交通圈ニ編入スル爲豫定線ノ一部ニ變更ヲ加フルコト  
一三津ヶ濱停車場ヲ設置スルコト  
右ハ三津ヶ濱町ノ人口及經濟力ニ於テ獨リ其ノ必要ヲ認ムルノミナラス地方交通ノ利便ヲ完ウシ海陸運輸連繫ヲ圖ル上ニ於テ極メテ緊要ナルヲ信ス政府ハ宜シク其ノ實狀ヲ調査シ相當ノ施設ヲ講セラレムコトヲ望ム

○成田榮信君 此席ヨリ簡單ニ理由ノ説明ヲ致シマス、本案ハ四國鐵道中、愛媛縣西條町ヨリ松山へ通ズル豫定線デアリマス、此一部ニ變更ヲ加ヘテ、西條ヨリ三津ヶ濱ヲ經由シテ松山ニ通ズルコト云フノガ、此建議案ノ目的デゴザイマス、三津ヶ濱ハ伊豫ニ於テ最も重要ナル港灣デアリマス、人口モ一萬二三千アリマス、其上ニ附近ノ人口ヲ加ヘマス

ト二万程アルノデアリマス、伊豫デハ最も重ヲ爲シテ居ル港灣デゴザイマス、又四國ノ上カラ見マシテモ最も重要ナル所デゴザイマス、全國ノ港灣ノ位地カラ見マシテモ、第二十ノ地位ヲ占メテ居ル所ニ拘ラズ、彼ノ豫定線ニ、之ヲ除外シテ居ルト云フノハ、地方ノ交通機關ノ上カラ見マシテモ、交通政策ノ上カラ見マシテモ、甚ダ遺憾トシテ居ル次第デゴザイマス、將來土佐ニ向テ鐵道ガ著クト云フコトニナリマシタラバ、軍事上カラ見マシテモ、經濟上カラ見マシテモ、是ハ最も必要ナル線デアルト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル、此建議案ノ目的ハ、三津ヶ濱ヲ經由スルト云フノガ主眼デゴザイマスカラ、何卒御賛成ヲ願ヒマス（拍手）

○副議長（粕谷義三君） 本案ニ對シテハ質疑ノ通告ガアリマス、押川方義君

○押川方義君 時期切迫ノ折柄デゴザイマスガ、是ハ頗ル重大ナ問題デアルト私ハ考ヘマスカラ、（ヒヤ）「簡單」ト呼フ者アリ」一言提案者ニ向テ質問ヲ致シタイノデアリマス（委員會デアレバ宜イ）ト呼フ者アリ」大體是ハ四國鐵道ノ全體ニ大障礙ヲ起スモノト考ヘマス、（ノウ）「此線路ノ變更ハ、例ヘバ東京ト橫濱トノ間ノ現今敷設セラレテ居リマス所ノ線路ヲ、恰モ多摩川ノ終點ノ方ニ線路ヲ著ケ替ヘマシテ、而モ其間ニ大ナル山ガアル、其隧道ヲ穿テマデ、線路ノ變更ヲシヤウト云フ希望デアリマス、一體此事ニ就テ諸君ニ訴ヘテ置キタイ譯ハ、此變更ニ就キマシテハ、愛媛縣カラ選出セラレテ居リマス所ノ九名ノ衆議院議員ノ中、五名ハ政友會ノ方デゴザイマスルガ、其政友會ノ五名ノ御方ハ、皆ナシハ提出者ニナリテ居ラレドデアリマス、ソレデ萬一此事ガ委員會及本會デ通過シマスルヤウナコトガゴザイマスレバ、四國循環鐵道ノ根本義ニ於テ、大失態ヲ來スモノト我輩ハ信ズルノデアリマス（拍手）「ノウ」ソレ故ニ「ノウ」ト下言ハレル方モアリマスルガ故ニ、此時期切迫ノ折柄ニモ拘ラズ、一言之ヲ申述ブル譯デアリマス、提案者ニ向テ私ハ承リタイ、五六箇條ノ此變更ニ就キマシテノ意見デアリマスガ、餘リ長クナリマスコトヲ慮レマスカラ、是ハ骨子ダケヲ申上ゲマスカラ、ソレヲ何卒御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、第一此事ハ工事ヲ非常ニ難ク六ヶシクスルコトデアリマス、一體今日ノ豫定線ハ平坦ナル土地ヲ走ルノデアリマスガ、此變更ノ通りニ致シマスと、隧道ヲ抜イテ、而モ大山寺山ト云フ大キナ山ニ隧道ヲ抜イテ線路ヲ敷カナケレバナラス、此難事ノ工事ヲ故ラニ求メマスル理由ハ如何デアルト云フコトガ、一ツ、其次ニハ四國循環鐵道ヲ甚ダ遲延ナラシムル譯デアリマス、（ノウ）「斯ノ如ク致シマスレバ成工ヲ遅カラシムル、四國縣民ハ悉ク此事ニ就テハ、一日モ早カラシムコトヲ

希望スルニモ拘ラズ、斯ノ如キ變更ヲ爲シマスルコトハ、甚ダ時機ヲ誤ル譯デアリマス、第三八線路ノ長短ヲ云ヒマスレバ提案者ノ如ク致シマスルトハ八哩ニナル譯デアリマス、豫定線デアリマスレバ、唯ダ五哩デアリマス、其間三哩ノ長距離ヲ求メマスル理由ハ如何デアリマス、又豫算ト工事ニ於キマシテ、甚ダ相違ヲ來ス譯デアリマス、平地ナラバ一哩十八万円デアリマスニモ拘ラズ、隧道ハ六十萬圓掛ルデアリマス、ソレ故ニ若シ此豫算ノ上カラ申シマシテモ、唯ダ工事ノ上カラ申シマシテモ、一方ハ九十萬圓デアリマスモ、一方ハ百八十六萬圓ヲ要スルデアリマス、又其次ハ運賃ノ問題デアリマスガ、一人ノ運賃ガ之ガ爲メニ往復十五錢損ヲシナケレバナラヌ、此事ニ就キマシテ、如何致スカト云フ問題デアリマス、又港灣トノ間ノ關係セヨザイスマガ、此海陸ノ結合ハ三津ヶ濱ヲ以テ良港ト仰セラレマシタケレドモ、三津ハ最モ難港デアリマス、決シテ良港デハナイデアリマス、是ハ愛媛縣人ハ誰モ知ラナイ者ハ無イデアリマス(「ヒヤ」)ソレ故ニ高濱ト云フモノガ開カレマシテ、サウシテ之ヲ連結シテ居ル譯デアリマス、決シテ三津ト云フモノハ良港デハナイバカリデハナイ、二百萬噸位ノ船ヨリ繫クコトハ出來ナイデアリマス(「二百萬噸繫ケレバ宜イデヤナイカ」)二百萬噸カト呼フ者アリ)ソレ位ナ小サナル所デアリマス、百噸カ二百噸ノ意味デス、ソレカラ又三津濱ト掘井トノ間ノ客モ少ナク、貨物モ無イデアアル、ソレカラ又其地方ノ人民ハ、皆此變更ニ向テハ反抗ヲシテ居リマスルガ故ニ、是ニ就キマシテ、何卒明白ナル御答辯ヲ願ヒタイデアリマス

○成田榮信君 只今ノ押川君ヨリノ質問ニ就テハ、委員會デ詳シク討論ヲ致シタイ積リデアリマス(「賛成々々」)尙ホ一言加ヘテ置キマスノハ、押川君ニ御參考ノ爲メニ申上ゲテ置キマスガ、鐵道ハ地方全體ノ爲メニ拵ヘルノデ、決シテ一地方ノ爲メニ拵ヘルノデハナイ、地方全體ノ國民ガ均霑スルヤウニ、出來得ベクンバ之ヲヤラナケレバナラナイト云フコトヲ御參考ニ申シテ置キマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ本案ハ委員付託ニ決シマシタ、次ニ日程第二十一、溫泉政策ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス——成田榮信君——木下謙次郎君

第二十一 溫泉政策ニ關スル建議案(成田榮信君外一名提出)

溫泉政策ニ關スル建議案

我カ國ノ溫泉ニ關スル施設ハ專ラ地方ノ自發ニ任シ未タ國家トシテ其ノ改善發達ヲ期スルノ積極的方策ヲ闕如スル憾ナキニ非ス政府ハ來遊外客ノ頻年激増スル實況ニ鑑ミ、時代ノ要求ニ副フヘキ適當ノ方針ヲ定メ速ニ之カ實行ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔木下謙次郎君登壇、拍手起ル〕

○木下謙次郎君 本建議ノ趣意ハ二點アリマス、第一點ハ建議ノ趣意書ノ中ニ詳シク載テ居リマス、第二點ハ趣意書ノ中ニ載テ居リマセヌカラ、私ノ演說ヲ以テ補充シヤウト考ヘマスルガ、併ナガラ多少ノ時間ヲ要シマスルカラ、此際議長ノ許可ヲ得テ、私ノ演說ノ草稿ヲ議事録ニ掲載スルコトニ依テ、私ノ演說ハ省キタイト思ヒマス(拍手起ル)

(參照)

我國ノ溫泉ノ起源ハ神代ニ始マリ多ク神祕的ノ傳説ヲ有シ亦タ有名ナル溫泉ハ古代ニ於テ皇室ト關係ヲ有シタルモノモ少ナカラズコレヲコトヨリ我國民ノ溫泉ニ對スル趣味ハ頗ル豊富デアリマス亦タ最近ノ調査ニヨレバ溫泉ノ數モ壹千餘ニ上リ其ノ數ト量ノ多キコト世界第一ト稱セラレ

而シテ近時歐米人モ日本ノ溫泉趣味ニ親マントスル氣分漸ク多キヲ加ヘ從テ箱根草津有馬別府登別杯ハ世界ノ其二其ノ聲名ヲ博シ、アルハ喜ブベキコトナルモ只ダ或ルモノハ設備ノ不十分ナルタメ或ル者ハ交通不便等ノタメ來遊ノ外人中失望ノ聲ヲ聞クコト少ナカラズデアリマス日本文化生活ノ上ヨリ遺憾少ナカラズ政府ハ國民ノ娛樂保健疾病療養外人誘致等ノ點ヨリ考慮シ相當ノ設備ヲ以テ保護開發ヲ加ヘラレンコトヲ望ムデアリマス

尙ホ此外ニ申上ゲベキコトハ溫泉ノ蒸氣ヲ以テ地下熱ヲ利用シ動力ヲ作ル學術的ノ新事業デアリマスコレハ建議ノ理由書ノ中ニ書イテアリマセヌカラ私ノ演說ヲ以テ補充イタシテ思ヒマス

我國石炭ノ壽命モ水力ノ限度モ最早キマテ居リマス幸ヒ我國ノ溫泉ノ量ガ世界第一デアアル天恵ニヨリ地下熱ヲ利用シ動力界ノ大革命ヲ起スコトハ我國ニ取リテ極メテ緊要ノコト、思ヒマス

伊太利ガ大戰中ニ溫泉利用ノ研究ヲ進メ軍需品ノ製造ニモ電車ノ運轉ニモ多大ノ貢獻ヲナシ石炭ノ缺乏ヲ補フタ

ルコトハ有名ノ事柄デアリマス、私ノ持ッテアリマス書キモノハ大正七年一月二十一日大阪毎日新聞ニ掲ゲラレタル外國學術雜誌ノ翻譯ノ一節デアリマス石炭石油ヲ要セス工業界ノ大革命ト云フ題目デ地下熱利用ノ起源沿革現在ノ狀況等委シク記載サレテアリマス殊ニ溫泉國タル日本ニ對シテモ大ナル獎勵ノ意見ガ含マレテ居ルデアリマス此書キモノ、内容ヲ御紹介スルコトハ興味アルコトデアリマスガ時間ノ餘裕ノナキタメ省略イタシマス但ダゴ、此書キモノニヨリ暗誦ヲ受ケタル結果トシテ御間キテ願ウテ置キタイコトハ故海軍中將山内滿壽治並ニ日本鑿泉會資會社長松本隆治兩君ガ大分縣下別府溫泉ニ地熱利用ノ最初ノ試メタルコトデアリマス不幸山内男爵中途ニシテ他界セラレ松本氏ノ業務多忙ノ故ニヨリ專心コレニ没頭スル譯ニ至ラズ三インチノ鐵管ガ七十尺リノ地底ニ達シ六十ポンドノ壓力ニテ攝氏百二十度ノ熱氣ヲ吐キツ、空シク此文明事業中絶ノ痕跡ヲ語リツ、アルデアリマス

私ハ此事業ヲ繼承シテ此事業ノ完成セヨト云フコトハ本建議ノ目的デアリマセヌ政府ハ別ニ相當ノ計畫ヲ立テ地下熱利用ノ動力ヲ以テ工業界ノ一大國策ヲ建ツルコトニ盡力セラレンコトヲ希望スルデアリマス

以上二ツノ主意ニヨリ諸君ノ御贊成ヲ得テ目的ヲ達スルヲ得バ國家ノタメニ至幸デアリマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ委員付託ニ決シマシタ、日程第二十一、港灣行政ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス——三善清之君

第二十二 港灣行政ニ關スル建議案(三善清之君外四名提出)

港灣行政ニ關スル建議案

戰後世界ノ海運業ハ國際的競争ノ時代トナリ英米等列強ハ既ニ業ニ其ノ準備充分ナリ而シテ我カ邦ノ船腹モ亦戰前ノ貧弱ニ非ズ故ニ之カ運用ヲ敏捷ニシテ世界經濟戰ニ於テ勝利ノ獲得ニ努力セザルヘカラス然ルニ我カ邦ノ神戸、橫濱等商港ノ設備ハ尙未タ不完備ニシテ之ヲ倫敦、紐育、漢堡等商港諸般ノ設備完全ナルニ比スレハ其ノ缺陷少カラズ加之我カ港灣行政ノ機關甚ダ複雜混沌名狀スヘカラス則チ我カ現行ノ制度ハ船舶管掌ノ事務ハ逡信省ニ、關稅ノ事務ハ大藏省ニ、衛生及警察事務ハ地方廳ニ、修築擴張ノ土木事務ハ內務省ニ屬シ

港灣行政ニ關スル建議案

戰後世界ノ海運業ハ國際的競争ノ時代トナリ英米等列強ハ既ニ業ニ其ノ準備充分ナリ而シテ我カ邦ノ船腹モ亦戰前ノ貧弱ニ非ズ故ニ之カ運用ヲ敏捷ニシテ世界經濟戰ニ於テ勝利ノ獲得ニ努力セザルヘカラス然ルニ我カ邦ノ神戸、橫濱等商港ノ設備ハ尙未タ不完備ニシテ之ヲ倫敦、紐育、漢堡等商港諸般ノ設備完全ナルニ比スレハ其ノ缺陷少カラズ則チ我カ現行ノ制度ハ船舶管掌ノ事務ハ逡信省ニ、關稅ノ事務ハ大藏省ニ、衛生及警察事務ハ地方廳ニ、修築擴張ノ土木事務ハ內務省ニ屬シ

港灣行政ニ關スル建議案

戰後世界ノ海運業ハ國際的競争ノ時代トナリ英米等列強ハ既ニ業ニ其ノ準備充分ナリ而シテ我カ邦ノ船腹モ亦戰前ノ貧弱ニ非ズ故ニ之カ運用ヲ敏捷ニシテ世界經濟戰ニ於テ勝利ノ獲得ニ努力セザルヘカラス然ルニ我カ邦ノ神戸、橫濱等商港ノ設備ハ尙未タ不完備ニシテ之ヲ倫敦、紐育、漢堡等商港諸般ノ設備完全ナルニ比スレハ其ノ缺陷少カラズ則チ我カ現行ノ制度ハ船舶管掌ノ事務ハ逡信省ニ、關稅ノ事務ハ大藏省ニ、衛生及警察事務ハ地方廳ニ、修築擴張ノ土木事務ハ內務省ニ屬シ

港灣行政ニ關スル建議案

戰後世界ノ海運業ハ國際的競争ノ時代トナリ英米等列強ハ既ニ業ニ其ノ準備充分ナリ而シテ我カ邦ノ船腹モ亦戰前ノ貧弱ニ非ズ故ニ之カ運用ヲ敏捷ニシテ世界經濟戰ニ於テ勝利ノ獲得ニ努力セザルヘカラス然ルニ我カ邦ノ神戸、橫濱等商港ノ設備ハ尙未タ不完備ニシテ之ヲ倫敦、紐育、漢堡等商港諸般ノ設備完全ナルニ比スレハ其ノ缺陷少カラズ則チ我カ現行ノ制度ハ船舶管掌ノ事務ハ逡信省ニ、關稅ノ事務ハ大藏省ニ、衛生及警察事務ハ地方廳ニ、修築擴張ノ土木事務ハ內務省ニ屬シ

港灣行政ニ關スル建議案

戰後世界ノ海運業ハ國際的競争ノ時代トナリ英米等列強ハ既ニ業ニ其ノ準備充分ナリ而シテ我カ邦ノ船腹モ亦戰前ノ貧弱ニ非ズ故ニ之カ運用ヲ敏捷ニシテ世界經濟戰ニ於テ勝利ノ獲得ニ努力セザルヘカラス然ルニ我カ邦ノ神戸、橫濱等商港ノ設備ハ尙未タ不完備ニシテ之ヲ倫敦、紐育、漢堡等商港諸般ノ設備完全ナルニ比スレハ其ノ缺陷少カラズ則チ我カ現行ノ制度ハ船舶管掌ノ事務ハ逡信省ニ、關稅ノ事務ハ大藏省ニ、衛生及警察事務ハ地方廳ニ、修築擴張ノ土木事務ハ內務省ニ屬シ

テ行政事務ノ統一ヲ爲サス然ルニ彼ノ倫敦港ノ如キハ右各般ノ政務ヲ總轄シテ之ヲ唯一ノ倫敦港廳ノ行政廳ニ於テ統一シ其ノ規律整然タリ因テ我カ邦ニ於テモ斯ル好適ノ範例ニ倣ヒ政府ハ速ニ二三主要商港ノ擴張改良ヲ實行シ而シテ其ノ港政ノ統一ヲ爲シ我カ通商貿易ノ發達ニ資セラレムコトヲ望ム

〔三善清之君登壇、拍手起ル〕

○三善清之君 此建議案ハ一地方ノ問題ニ非ズシテ、國際の通商貿易、世界的海運業ニ重大ノ關係ヲ有スル所ノ重要ノ機關ナル、我カ神戶港、橫濱港、關門、日本海方面ニ於キマシテ敦賀ノ如キ、今日國家ガ認メテ一等港灣ト稱スル所ノ重要商港ノ設備(並ニ其行政ノ統一ニ關シテ)爰ニ建議ヲ致スノガ主要ノ目的デアリマス、同時ニ全國ニ於ケル二等港灣及三等港灣ニ就テモ、同時ニ其行政上ノ建議ヲ致スノデアリマス、嚮ニ我國ガ鎖國攘夷ノ長策ヨリ覺醒致シマシテ茲ニ六十年、今ヤ漸ク我カ輸出八年額ハ四十億圓以上ニ相達シマシタノハ、國民ノ努力奮勵ニ依リマスル次第デアリマス、尙ホ益、是等ノ發達増進ヲ圖ラナクシテハ、ナラスコトハ申スマデモナク事デアリマス、今ヤ國內ニ於キマシテハ、一萬五千哩ノ國有鐵道ト五千哩ノ私設鐵道ハ、近キ將來ニ於テ其鐵道網ヲ爲サントスル場合ニ拘ラズ、國內ニ於ケル大小港灣ノ設備ハ甚ダ不完全、不完備、其行政甚ダ不統一デアリマス、爰ニ實例ヲ擧ゲテ申シマスレバ、(一)簡單ノ第一等港灣者アリ、神戶港ハ我國ニ於キマス所ノ主要港灣中ノ第一位ヲ占メ、輸出入貿易ノ三割五分ヲ占メテ居ル第一等ノ港灣デアリマス、現在ノ設備ヲ申シマスレバ、其東方ニ於テ僅ニ六百間ノ防波堤アルノミデ、大正八年以後十年計畫デ、今ヤ僅ニ其延長ヲ圖シテ居リマスルナドモ、甚ダ工費不足、工業甚ダ進マナイ、而モ其東南方面ニ於テ、重大ナル防波堤ヲ築カザルヲ得ナイデアリマス、御承知ノ如ク港灣ナルモノハ、防波堤ニ依テ防禦サル、ト云フコトハ三尺ノ童兒モ能ク知ル所デアリマス、然ルニ神戶港ハ、斯ノ如ク港灣内ニ於ケル浮標數ノ如キモ僅ニ十箇以上、其他岸壁ノ長サト言ヒ、上屋倉庫ト云ヒ、缺陷タラテ缺陷枚舉ニ違アラザル次第デアリマス、斯様ナル神戶港ノ有様デアリマス、大戰後世界ノ海運等ハ、今ヤ國際の競争ノ時代ニ到達致シマシテ、歐米ノ諸邦既ニ其競争場裡ニ向テ進マントシテ波トシテ居ル、我國ニ於キマシテモ、大戰中ニ於キマシテ大ニ船腹ガ増加致シマシタカラ、世界海運業ニ敏捷ニ圓滑ニ運用ヲ逞ウシテ、以テ其競争場裡ニ勝利ヲ獲得セザルヲ得ナイデアリマス、然ルニ神戶港ノ現狀ヲ申シマスレバ、神戶港ニ入りマス者ノ數ガ一箇年ニ一萬六千艘、其登簿噸數千

二百噸、其中大船巨船ガ四十艘デ、其登簿噸數七百萬噸デアリマス、斯ノ如ク神戶港ハ盛況ニ向テ進ミシ、アリマスケレドモ、只今申シマシタ如ク其設備不完全、行政不統一ナルガ爲メ、神戶港ノ有様ヲ御覽ニナリマシタナラバ、其大船巨船モ、瀬戸内海或ハ沿岸航路ニ就キマスル所ノ小汽船モ、肥料船マデガ列ヲ同ジウシテ、港内ニ犬牙錯綜シテ居ルト云フ醜態デアリマス、斯ノ如キ醜態ハ諸外國ノ重要港灣ニ於テ見ル能ハザル所ノ醜態デアリマス、彼ノ倫敦港或ハ漢堡、或ハ紐育、或ハマルセユノ如キ(拍手起ル)其港灣ノ設備ニ比較致シマスレバ、甚ダ不完備不完全、而モ行政ガ不統一デアリマス、(簡單々々)ト呼フ者アリ、然ルニ英國ニ於キマシテハ、流石ニ通商貿易ヲ以テ國家ノ大ヲ成シマシタルダケニ、最近ニ於キマシテモ皇帝御自身ガ倫敦港ニ臨マレマシテ、其倫敦港ノ設備及一切ノ計畫ヲ御覽ニナリマシテ、荷役ノ事マデ御検査ニ相成ツタト云フコトデアリマス、斯ノ如ク爲シ、國民ニ好印象ヲ與ヘ、以テ彼ガ通商貿易ニ、彼ガ海軍業ニ旺盛ヲ致ス所以デアルト思フデアリマス、(拍手起ル)我國ハ四面環海ノ國デ、英國ノソレト同ジ地形デアリマス、我國ハ四面環海ノ海軍思想ガ幼稚デアリマス、徳川氏三百年間ニ於ケル鎖國攘夷ノ餘弊デアリマス、今日ハ國民大ニ覺醒シタル筈デアリ、我カ神戶及橫濱港ノ如キハ、東洋ニ於ケル海運業ノ中堅トナリ、以テ上海及香港等其他の港灣ヲ支配セザルヲ得ナイデアリマス、然ルニ先刻申上ゲタ如ク、港灣内ノ設備行政ノ不統一ナルガ故ニ、神戶港ニ出入スル船舶ガ出港スル時分ニ、常ニ時間ガ遅レル、定期航路ノ時間ガ遅レル、郵船會社ノ調査ニ依リマスレバ、千艘ノ中四百艘遅レテ、其遅レル時間ガ一艘ニ付テハ八時間デアリ、斯ノ如キ事ガ、國際貿易ニ莫大ナ損害ヲ來シツ、アルデアリマス、港灣行政ノ事デアリマス、我國ノ港灣行政ハ、御承知ノ如ク、例ヘバ神戶港内ノ行政ニ就テ申シマスレバ、關稅ノ事ハ大藏省ノ管轄デアリ、船舶ノ事ハ遞信省ノ管轄デアリ、漁船ニ關スル事ハ農商務省ノ管轄デアリ、港内ノ檢疫警察等ノ事ハ地方廳ノ管轄デアリ、(簡單)ト呼フ者アリ、又港内ノ土木工事ハ、浚渫修築等ノ土木工事ハ、一切内務省ノ管轄デアリト云フ次第デ、一ノ港灣行政ガ八省九省ニ涉テ居ル、之ガ故ニ港灣行政ガ不統一デアリ、然ルニ英國ニ於テハ之ヲ統一一致シマシテ、一括致シマシテ、之ヲ倫敦港廳ト云フ内閣直屬ノ下ニ於ケル港灣行政廳ニ於テ、港灣ノ行政ヲヤテ居ルデアリマス、故ニ港灣ノ行政甚ダ敏捷ニ參ルデアリ、英國ニ於テ斯ノ如キ好範例ガアリマスルガ故ニ、我國ニ於テモ此一等港灣於キマシテハ、其リ範例ニ依テヤリタイデアリマス、(簡單)ト呼フ者アリ、願ヒマス、ト呼フ者アリ、一等港灣ニ對スル行政ニ就テ、將來ニ

望ム建議ノ趣旨デアリマス、我國ニ於ケル現在ノ二等港灣ナルモノハ現在十箇所程アリマスガ、尙ホ之ヲ更ニ増シテ二十箇所位ニスル必要ガアルト思フ、此二等港灣ニ對シテハ、無論其行政ハ地方廳ノモノデアリ、地方廳ニ任シテ行政ヲ致ス、而シテ其改築等ニ對シテ、國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助スルト云フコトガ各國ノ例デアリマス、然ルニ二等港灣ニモ相成ラスモノガ、或ハ全部國庫ノ補助ヲ要求スルト云フヤナモノ、中ニハアルヤウデアリマス、又三等港灣ニ就キマシテモ今我國ノ行政ハ區々デ、地方廳ニ於テ全部縣費ヲ以テヤテ居ルモノモアリマスガ、半額ヲ補助シテ居ルモノモアリ、一切其町村ニ任シテ居ルモノモアル、斯ウ云フヤウナ區々ニナツテ居リマスカラ、三等港灣ト雖モ此行政ハ其市町村ニ任シテ、半額ハ地方費ノ補助ヲ爲スト云フコトニシタイ、(簡單)ト呼フ者アリ、即チ河川ニ於ケル河川法、道路ニ於ケル道路法ノ如ク、港灣亦法規ナカルベカラズ、乃チ港灣法ヲ速ニ制定シ政府ヨリ發布セラレシコトヲ望ム、其趣旨ハ只今申シマシタ趣旨ニ依テ、速ニ港灣法ノ制定ヲ政府ニ促スデアリマス、倫敦港廳或ハ「マルセユ」或ハ漢堡等ノ取調ベタモノハ委員會ニ於テ説明致シマス、又現在我國ニ於キマシテ港灣調査會ガアリマスケレドモ、少數ノ官吏ヲ以テ組織シテ居ル、之ヲ將來ニハ有力ナル海運業者有力ナル貿易業者有力ナル實業家等ヲ網羅シテ、サウシテ港灣調査會ヲ組織シタイコトヲ政府ニ向テ建議シヤウト思フデアリマス、終リニ望ンデ諸君ニ一言希望ヲ申上ゲマス、普通選舉ノ叫ヨリモ斯ノ如キ生産の事業ニ向テ、諸君ノ宣傳、諸君ノ奮闘、諸君ノ鼓吹ヲ希望スル所以デアリマス、其意味ニ於テ其一助トシテ、本案ヲ爰ニ提出致シタデアリマス、只今マデ一般ニ涉ツタ港灣行政等ニ關スル御建議ガ餘リアリマセヌカラ、甚ダ淺學卑見ナガラ爰ニ提案致シマシタ、希クバ御贊成ヲ仰ギマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ嚮ノ日程第二十一ノ委員ニ、併セテ付託セラレシコトヲ望ム、

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認マラス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次ハ日程、第二十三、鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案、

第二十三 鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案

提出)

政府ハ速ニ鹿兒島縣大島郡各離島航海費補助ヲ増額セラレムコトヲ望ム

右建議ス  
○萩亮君 簡單デアリマスカラ自席ヨリ説明致シマス、鹿兒島縣大島郡ハ人口約二十三萬、其他幾多ノ島嶼ヨリ成テ居リマシテ、交通ハ凡テ船ニ依ルノ外ハ無イノデアリマス、然ルニ現今僅ニ月二回程船ガ行キマス、補助ヲ貰テ漸ク二回ツ、行クノデアリマスルガ、本建議案ノ趣旨ハソレヲ倍ニシテ、少クとも月ニ五回位船ヲ遣テ載クヤウニ、政府ノ補助ヲ願ヒタイト云フ趣旨デアリマス、詳シイ事ハ委員會申上ゲマス、諸君ノ御賛成ヲ仰ギマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ  
○岩崎勳君 本案ハ嚮ノ日程第二十一及第二十二ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ  
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ、次ハ日程第二十四、三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、井上角五郎君

第二十四 三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(井上角五郎君外三名提出)

三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案  
三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案  
廣島縣下三原ヨリ竹原ヲ經テ吳ニ至ル四十四哩ノ線路ハ地勢平坦人口稠密ニシテ最海陸ノ物産ニ富ミ鐵道敷設ノ必要ヲ感スルコト甚タ緊切ナリ加之吳鎮守府ヲシテ完全ニ山陽鐵道幹線ニ連絡スルノ便ヲ得セシムルモノナレハ軍事上亦之ヲ急請ニ付スヘカラス依テ政府ハ鐵道敷設ニ著手シ其ノ速成ヲ期セムコトヲ望ム

右建議ス  
○井上角五郎君 極メテ簡單ナ問題デゴザイマスカラ、當席カラ説明ヲ致シマス、三原吳間ハ幹線ニ準ズベキ處デアリ、又吳港ハ人口ニ於テモ、物産ニ於テモ、相當ニ繁榮ヲ極メテ居リマス、況ヤ吳鎮守府ノ所在地デアリマスカラ、速ニ鐵道ヲ敷設セラレタイト云フ建議案デアリマス、何レ詳細ハ委員會ニ於テ之ヲ述ベルコトニ致シマス

〔粕谷副議長議長席ヲ退キ與議長復席〕  
○議長(奧繁三郎君) 本案ニ就テ贊成ノ通告ガアリマス、佐々木千秀君

〔佐々木千秀君登壇拍手起ル、無用々々〕ト呼フ者アリ

○佐々木千秀君 只今議題トナテ居リマスル吳三原間ノ鐵道敷設速成ニ關スル所ノ建議案ハ、嚮ニ本員ニ於テモ同様ナル建議案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ同様ナル所ノ案ガ井上氏外御三氏ニ依テ提出サレテ居リマシテ、此案ガ只今議題ト相成リマシタル以上ハ、議事ノ便宜ヲ圖ル爲メニ、本員ガ提出致シテ居リマス所ノ同様ナル此案ハ撤回ヲ致シマシテ、爰ニ贊成ノ意ヲ明カニシヤウト思フノデアリマス、此吳三原間ノ鐵道ノ必要ナルコトヲ、極メテ簡單ニ説ク積リデアリマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)二分間ニヤリマス、此海岸ニ沿フ所ノ一帯ノ沿道ニ於キマシテハ、十數箇ノ町村ガ相連テ居ルノデアリマシテ、此一帯ニ於テ人口ガ如何ニ稠密ナルカト云フコトハ、各農産物海産物ノ多キコト、更ニ此沿道ノ中間ニ於キマシテ、御承知ノ如ク、吳海軍工廠ノ支廠ヲ廣村ニ新クニ設置セラレテ居ルノデアリマス、近キ將來ニ於テ此廣村ハ、數万ノ人口ヲ包容スル大都市ニナルト云フコトハ、何人モ認メル所デアアルノデアリマス、殊ニ又此海岸線ノ西ニハ、東洋第一ノ稱アル所ノ海軍工廠ノ所在地タル吳市ト云フモノヲ扼シテ居リ、更ニ東ニ於キマシテハ三原、糸崎、尾ノ道ト云フ大都市ヲ擁シテ居ルノデアリマス、デ現在ノ山陽道ノ鐵道本線ニ於ケル所ノ狀況ヲ申上ゲマスレバ、三原カラ西廣島ニ至ル間ト云フモノハ、山間僻地ヲ貫通致シテ居ルノデアリマス、殊ニ急勾配ノ山壁ヲ横切テ居リマス、此海岸一帯ノ各町村ハ此本線ニ依ル上ニ於テ、近キハ三四里遠キハ七八里ヲ歩マナクテレバ、鐵道ノ便ニ依ルコトガ出來ナイノデアリマス、吳市カラ島ニ下リ、更ニ東ニ上ラウト云フヤウナ、詰リ三角形ノ二邊ヲ通ルト云フ大ナル不便ヲ持テ居リマス、殊ニ八八艦隊ノ計畫ガ確立セラレマシテ、海軍ヲ軍需用品ノ運輸ト云フモノハ頗ル頻繁ニナル、此見地カラ申シマシテモ、此海岸線ノ速成セラル、曉ニ於テハ一直線ニナリ、本線ニ通ズル利便ヲ得ルコトニ相成ルノデアリマス、此海岸線ノ速成ヲ願フト云フコトハ、既ニ五十六年以前ヨリ、沿道町村ニ於テ盛ニ主張セラレタノデアリマス、其當時政府ニ請願スル所モアッタノデアリマスガ、當時ノ政府ニ於テハ、廣軌案ノ説ガ専ラ主張サレタ時デアリマシタノデ、若シ廣軌案ガ實施セラル、ト云フ場合ニハ、海岸線ニ變更スルト云フ計畫モアッタ爲メニ、其儘今日マデ經過シテ居タノデアリマス、併ナガラ此必要ナル鐵道ヲ未設ノ儘ニ打棄テ置クト云フコトハ、各町村並ニ吳市ニ於テ不便ヲ感ズルガ故ニ、一昨年更ニ私設會社ガ此敷設ノ爲メニ政府ニ出願シタノデアリマス、之ニ依テ見マシテモ、此鐵道ガ如何ニ採算上有利デアルト云フコトモ信憑セラル、ト同時ニ、如何ニ交通運輸並ニ物資集散ノ頻

繁デアアルカト云フコトヲ、想像スルニ餘アルノデアリマス、政府ハ私設會社ニ之ヲ許可シテ彼等ニ敷設セシムルトモ、政府自ラ之ヲ經營セラルトモ、孰レニシテモ右ノ事情デアリマス故ニ、速ニ此鐵道ノ敷設ヲ期セラルベク、速成ヲ望ムンデ此壇ヲ降ルノデアリマス

○岩崎勳君 本建議案ハ、議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ  
○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第二十五、酒造稅法中改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ付シマス——中村清造君

第二十五 酒造稅法中改正ニ關スル建議案(中村清造君外四名提出)

酒造稅法中改正ニ關スル建議案  
酒造稅法中改正ニ關スル建議案  
酒造稅法第八條中清酒ノ滓引減量及貯藏減量百分ノ五以内トアルヲ百分ノ七以内ト改メラレムコトヲ望ム

右建議ス  
○中村清造君 只今上程ノ建議案ニ就テ、極メテ簡單ニ提出ノ理由ヲ此席カラ説明致シマス、私共ガ改正ヲ要望スル點ハ、酒造稅法中第八條ノ但書デアリマス、同但書ニ依レバ、命令ノ定ムル所ニ依リ清酒ハ査定石數ノ百分ノ五以内味淋ハ査定石數ノ百分ノ二以内焼酎ハ査定石數ノ百分ノ一以内貯藏減料又ハ滓引減料ヲ控除スルコトヲ得ト書イデアリマス、ソレデ此但書中ノ清酒ハ査定石數ノ百分ノ五以内トアルノヲ、百分ノ七以内ト改正致シタイノデアリマス、御承知ノ如ク酒造稅ハ、消費稅ノ部類ニ屬スルモノデアリマスガ故ニ、課稅ノ原則ハ實際對數物以外ニ課稅スルコトハ出來ヌモノト信ジマス、此貯藏減料ト云フモノハ百分ノ三ト云フコトデハ、到底不足スルノデアリマス、其實際ハ百分ノ五以上ニ達スル、即チ滓引減料ト合セマスレバ、ドウシテモ百分ノ七以上ニ達スルモノト信ズルノデアリマス、故ニ之ヲ是非百分ノ七以内ニ修正セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、尙ホ詳細ノ事ハ、委員會ニ出席シテ説明スルコトニ致シマス

○岩崎勳君 本案モ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ  
○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ

○岩崎勳君 便宜上茲ニ一ノ動議ヲ提出致シマス、即チ前ノ日程第二十五ト同様ナル建議案——早川龍介君外一名提出ノ酒造税法中改正ニ關スル建議案ハ、未ダ議題ニナラズ居リマセヌガ、同様ノ建議案デアリマスカラ、此際提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シテ、之ヲ同一委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハ無イト認メマスカラ、動議ノ如ク決シマシタ——日程第二十六、農産物收穫調査及農家經濟調査確立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——土井權大君

第二十六 農産物收穫調査及農家經濟調査

查確立ニ關スル建議案(土井權大君提出)

農産物收穫調査及農家經濟調査確立ニ關スル建議案

食糧政策ノ根本ハ主要食糧ノ充實ヲ圖ルト共ニ其ノ價格ノ平準ヲ保テ以テ生産者タル農民及消費者タル商工業者勞働者等ノ生活安定ヲ期スルニ在リヤ論ナシ然ルニ米穀ノ需給平衡ヲ失シ其ノ價格亦高低常ナキハ我カ國ノ現狀トス其ノ原因種々アリト雖其ノ主ナルモノハ食糧ニ關スル根本對策ノ樹立ナキト共ニ之カ實行ニ必要ナル基本調査ノ不完全ナルニ歸セザルヘカラス政府ハ曩ニ開墾助成法ヲ制定シ今又將ニ米穀法案ヲ提出セムトシツアリト雖而モ是等ノ政策ハ未ダ基本調査確定ノ上ニ立テラレタルモノニ非ス基本調査トハ何ソヤ曰ク農産物收穫及消費ニ關スル正確ナル統計ヲ作成シ常ニ需給ノ程度ヲ知悉シ價格平準ノ便ニ供スルニ在リ更ニ進ムテハ農産物ノ生産費及農民ノ生活費其ノ他農家經濟ノ收支計算ヲ調査シ彼等農民經濟ノ維持確立ニ關スル方策ヲ定メ主要食糧ノ充實ヲ保ツニ在リ若夫此ノ基本調査ヲ確立セシテ各種ノ對策ヲ講セムカ途ニ砂上樓閣ヲ築クニ均シキ結果ヲ見ルニ至ルヘク何ヲ以テカ國民生活ノ安定ヲ期スルヲ得ムヤ仍テ政府ハ速ニ農産物收穫調査及農家經濟調査確立ニ關スル方策ヲ講シ之カ實行ヲ期スヘシ

右建議ス

○土井權大君 極メテ簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲマス、嚮ニ政府ハ食糧政策ノ根本樹立トシテ、米穀法案ヲ提出シナリマシタ、併ナカラ食糧政策ノ基礎調査デアル最

モ重要ナル農産物收穫調査、及農家經濟上即チ農民ノ收穫調査、農産物ノ生産調査ト云フコトニ就テハ、極メテ之ヲ等閑ニ付セラレテ居ルノデアリマス、故ニ斯ノ如キ重大ナル根本政策ヲ樹立シ之ヲ實行サレル上ニ於テ、此基本調査ヲ完全ニシナレバ、砂上ニ樓閣ヲ築クガ如キ感ガアリマス、故ニ此際政府ニ於テハ、農産物收穫調査及農家經濟調査確立ニ關スル手段ヲ執ルベシト云フ趣意デアリマス、何卒諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ奥村安太郎君外二名提出發明獎勵ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二十七、軍人恩給法中改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ付シマス——近藤達兒君

第二十七 軍人恩給法中改正ニ關スル建議案

軍人恩給法中改正ニ關スル建議案

近藤達兒君提出

大正九年七月法律第十號ヲ以テ文武官ノ恩給並扶助料等ヲ増加セラレタリト雖未タ以テ時勢ノ變化ニ件ハザルモノアリ政府ハ此ノ際更ニ軍人恩給法ヲ改正シ以テ増加恩給及遺族扶助料ヲ増額セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○近藤達兒君 簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲマス、昨年七月一般ノ恩給法ガ改正ニナッタニモ拘ラズ、又此軍人恩給法中改正案ヲ提出致シマスノハ、或ハ異様ノ感ヲ御持ニナル方ガアルカモ知レマセヌガ、軍人恩給法中ノ或ル一部ニ限リテ改正デアリマシテ、即チ公務ニ因リ傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リマシタ者、及死亡シタル遺族ニ對シ其増加恩給、及遺族扶助料ヲ増額セラレンコトヲ望ム改正案デアリマス、御承知ノ如ク痲痺ノ現狀ハ洵ニ氣ノ毒デアリマシテ政府ニ於テモ目下考慮中ノヤウニ存ジマスカラ、是非速ニ此恩給法ノ改正ヲ致シタイト云フ趣意デアリマス、何卒御賛成アラントラ希望致シマス

○岩崎勳君 本案ハ荒川五郎君外六名提出ノ非役壯丁税法案外三件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シタ——日程第二十八、清酒ノ滓

引及貯藏減量控除額増加ニ關スル建議案ヲ議題ニ附シマス——山邑太三郎君

第二十八 清酒ノ滓引及貯藏減量控除額

增加ニ關スル建議案(山邑太三郎君外二名提出)

清酒ノ滓引及貯藏減量控除額増加ニ關スル建議案

清酒ノ滓引及貯藏減量控除額増加ニ關スル建議案

一酒造税法第八條第二項但書ニ規定シアル清酒ノ滓引減量及貯藏減量控除額「百分ノ五以内」ヲ「百分ノ七以内」ニ改ムルコト

右ハ全國釀造ノ成績ニ照シ法律ノ規定ヨリモ實際ノ減量百分ノ二以上多量ナルノ事實明ナルヲ以テ政府ハ速ニ之カ改正案ヲ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○山邑太三郎君 極メテ簡單デアリマスカラ此席カラ申上

述ベマス、本案ハ清酒ノ滓引及貯藏減量控除額ノ増加ヲ致シタイト云フノガ、本案ノ目的デアリマシテ、其提出ノ理由ハ建議案ノ理由書ニ書イテアリマスガ、尙ホ詳細ノ事ハ委員會ニ於テ申述ベマスカラ、ドウカ諸君ニ於テモ御賛成アラントラ希望致シマス(拍手起シ)

○岩崎勳君 本案ハ日程第二十五件外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二十九、相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ニ付シマス——伊坂秀五郎君

第二十九 相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案

伊坂秀五郎君提出

相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案

相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案

三重縣下相可町ヨリ松坂町ヲ經テ大口港ニ至ル鐵道敷設ノ緊要ナルヲ認ム政府ハ速ニ該敷設案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○伊坂秀五郎君 簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲマス、建議ノ趣旨ハ極メテ簡單ニ申上ゲヤウト存ジマスルガ、一般本議場ニ於テ可決致シマシタル、紀勢鐵道沿線タル熊野





義務ヲ負擔シ國法上他ノ國民ト何等異ナル所ナキニ拘  
ラス被選舉權ヲ附與セラレザルハ立憲治下ノ國民トシテ  
遺憾トスルトコナリ故ニ現制ヲ改正シテ貴族院衆議  
院府縣會郡市會町村會ニ於ケル總テノ議員被選舉  
權ヲ僧侶其ノ他諸宗教師ニ附與スヘク政府ハ速ニ適當  
ノ方法ヲ講スヘシ

〔安藤正純君登壇、拍手起ル〕

○安藤正純君 建議案が雨下シテ居リマスル中ニ登壇説  
明致シマスルコトハ、甚ダ御氣ノ毒デゴザイマスルガ、(ノウ  
ノウ)此案ハソレガ分ッたら簡單ニヤリ給ヘト呼フ者アリ  
國民ノ人格權ニ關スル問題デゴザイマスルカラ、一應簡單  
ニ説明ヲ致シタイ、仍テ多少ノ時間ヲ此案ノ爲メニ御與  
ヲ願ヒタクゴザイマス(五分)下呼フ者アリ笑聲起ル)僧侶  
及其他諸宗教師ニ對シマスル被選舉權、此問題ハ國民ノ  
人格ニ關スル問題デゴザイマス、既ニ今期議會ニ於キマシテ  
モ、治安警察法ノ改正ニ當リ修正案ガ出マシタ、即チ僧  
侶、神官、及小學教師ニ、此改正ニ依テ、政治上ノ結社  
ノ自由ヲ得サセタイト云フ修正案ガ出マシタガ、遂ニ是ハ  
成立致シマセデシタ、更ニ兩三日前ニ市町村制ノ改正案  
ガ通過致シマシタガ、是亦宗教家及教育家ニ對シテハ、同  
ジク從來通り被選舉權ヲ與ヘタイト云フコトニ決定致シマ  
シタコトハ、現代ノ時勢ニ於キマシテ、國民ノ人格權ノ爲メ  
ニ深ク遺憾トスル所デゴザイマス、抑、此社會ノ生活ト云フ  
モノハ人間生活ノ水準デゴザイマス、(ヒヤ)社會ノ康  
福ヲ保持シ、國家ノ安寧ヲ増進スル爲メニハ、此水準カラ  
下ノ人ヲ國民ノ間ニ造ラナイヤウニ注意ヲスルト云フコト  
ガ、即チ政治ノ要諦デアラウト思フノデアリマス、然ルニ今  
日ノ僧侶ハ國民ノ水準ノ下ニ在ルノデアリマス、物質的ニ  
言ヘバ、維新ノ際ニ社寺ノ領地ヲ沒收セラレ、所有ノ山林  
ヲ官領トセラレ、境内地ヲ取り上ゲラレテ、總テノ特權ヲ剝  
奪セラレテ居ルノデアリマス、而シテ義務ハト言ヘバ兵役、納  
稅ノ義務ガアルノデアリマス、是ハ當然デアリマス、即チ奪  
モノハ斯ノ如ク奪ヒ、課スベキ義務ハ斯ノ如ク課シ、而シテ  
當然與フベキ所ノ國民ノ公權タル被選舉權ヲ斯ノ如ク與  
ヘナイノガ、今日ノ現狀デゴザイマス、デアリマスカラ此僧侶  
及其他諸宗教師ハ、今日一般國民ト共ニ、納稅ト云フ上  
ニ於テ選舉ヲ制限セラレテ居リマス、其選舉權ヲ納稅ノ點  
デ制限セラレテ居ルト共ニ、更ニ宗教家教育家ハ、一歩進  
ンデ被選舉權ト云フモノヲ與ヘラレテ居ナイノデアリマス、  
故ニ一般國民ニ與ヘテアツテ、此階級ニバカリ與ヘテナイ所  
ノ被選舉權カラシテ、先ツ差當リ與ヘルノガ當然ダト云フノ  
ガ此建議案ノ趣意デゴザイマス、(分ッ)ト呼フ者アリ)若

シ今日ノ僧侶デアルトカ、其他ノ宗教家デアルトカ、教育家  
デアルトカ云フヤウナ、此階級ヲ依然水準ノ下ニ置キマシ  
テ、社會上ノ地位ヲ今日ノ如ク何時マデモ有セシメナイトキ  
ニハ、或ハ此不平ガ鬱積致シマシテ、其鬱積シタ不平ガ遂ニ  
勃發ヲ致シマシテ、將來怖ルベキ機會ヲ此時ニ於テ孕ムモ  
ノデナカラウト思フノデアアル(拍手起ル)政府ハ政教ノ混  
同ト云フコトヲ怖レテ居リマスガ、鬱勃タル不平ガ勃發シ  
タ場合コソ、始メテ政教混同ト云フ事ガ起ルノデアラウト  
思フ(拍手起ル)抑、教育家宗教家ト云フモノハ、是ハ現  
在ノ我ガ國民ノ中樞ノ階級デゴザイマシテ、知識ノ能力ト  
ガ比較的ニ平均ヲ保テ居テ、即チ是ガ國民ノ中堅ニナツテ  
居ルノデアアル、又將來モ中堅トセネバナラヌノデアアル、然ルニ  
現狀ハ此教育家ト宗教家ト云フモノガ一番痺レテ居ル、一  
番意氣地ノナイヤウナ形ニナツテ居リマス、何故斯ノ如ク萎  
靡不振デアラウト申シマスレバ、是レ即チ國家ガ維新以來  
此宗教家教育家ヲ尊重スベキ人格權ヲ奪テ居ッタコトガ、  
此教育家宗教家ヲ萎靡セシメタ所以デアアル、(拍手起ル)  
若シ政府ガ此際尙ホ自覺ヲセズ、此壓迫ヲ繼續シテ居リマ  
スレバ、或ハ怖ル彼等ノ階級ガ、彼ノ勞働團體中ノ過激ナ  
ル危激ナル所ノ者ト聯絡ヲ致シマシテ、自ら此壓迫ヲ免レ  
ントスルニ至ルカモ知レナイト思フノデアアル(ノウ)〇

○議長(與繁三郎君) 靜ニ...

○安藤正純君(續) 故ニ今日ハ僧侶教員ニ怖ルベキハ、  
政府ノ考フルガ如ク、參政權被選舉權ノ附與デハナクシテ、  
寧ロ之ヲ與ヘズシテ、過激ナル思想ト聯絡スルコトガ却テ怖  
シイ事デハナカラウト思フ(拍手起ル)只ダ一ツ茲ニ妙ナ  
議論ガ——只今モトナタカノ御批評ガ出マシタデスガ——  
何等ノ根據ガ無ク、最モ無力ニシテ而シテ俗耳ニ有力ナル  
所ノ議論ガアル、ソレハ何デアアルカト云フト、僧侶ハ俗界ニ  
超越シテ居ル者デアアル、政治ト云フ様所ニ入ッテ來ル者デ  
無イト云フコトヲ言ッテ居ル(其通り)ト呼フ者アリ)之ニ  
就テ一言申上ゲナケレバナリマセヌ、宗教ノ本義ト云フモ  
ノハ、人生ノ全體ニ活キルモノデナケレバ、宗教ト云フモノ  
デハナイノデアアル、只ダ獨り自ラ高クシ、自己ノ清シトシテ  
超然タル此獨善主義ハ、即チ今日南方ニ氣息奄々タル所  
ノ小乘佛教デアアル、日本ノ國家ニ發展シ、日本ノ國民性ト  
一致シ來ツテ現在ノ佛教其他ノ宗教ト云フモノハ、即チ大  
乘の精神ヲ帶ビテ居ルノデアリマスカラシテ、此ノ自利  
利他ノ大乘の精神ヲ、政治ニモ實業ニモ其他總テノ方面  
充實シ、眞實純眞ナル所ノ精神ヲ社會ノ上ニ發揮スルガ、  
此宗教ノ精神デゴザイマス、此純眞ナル所ノ宗教ノ精神ガ  
充實致シマスレバ、今日ノ如キ虛偽ノ政治、奸詐ノ政治、  
醜惡ナル政治ト云フモノハ行ハレナイデアラウト思フノデアアル、

(拍手起ル)デアリマスカラ此俗世間ト宗教トヲ愛ニ確然  
兩分シテ、宗教ハ俗世間トハ違フトシテ、此俗世間ト宗教  
トヲ兩分スルト云フコトハ、是ハ時代後レノ舊思想デゴザイ  
マス、ソナナ社會ト没交渉ト宗教ナラバ、此人生ニハ不必  
要ナリト私ハ思フノデアリマス(拍手起ル)而シテ今日ハ思  
想問題ヲ前ニ控(テ居ル)簡單々々)之ニ對シテ(ノウ)〇  
ト——モウ長クハアリマセヌ、直キ終リマスカラ少シ御聽ヲ  
願ヒマス——私ガ會テ此思想問題ニ就テ、此所デ政府ニ御  
尋ヲ致シマシタ時、内務大臣ハ民力涵養ノ講演ノ事ヲ  
御引キニナツテ御答ニナリマシタ、一應ハ私モ御承知ヲ致シ  
マシタガ民力涵養ニハ誰ヲ使ッテ居リマスト云フト——此間  
カラ種々御説ガ出テ居ル、或ハ浪花節ヲ使フ杯下、併シ  
私ハサウ云フコトハ特ニ言ハヌガ、一面ニ宗教家ヲ利用シ  
テ居ルノデアアル、所ガ此宗教家ノ利用ト云フコトハ、只ダソ  
レハ皮相ノ利用デアアル、只ダ表面ノ利用デゴザイマス、私ハ眞  
摯ニ國家ガ宗教家ヲ利用シヤウト云フナラバ、宗教家本然  
ノ態ヲ特質ト精神トヲ自由ニ發揮サセテ、其純眞ナル努力  
國政ノ上ニ傾ケシムルコトガ、本當ノ宗教ノ利用ト云フモノ  
デハナイカト思フノデアアル(拍手起ル)且ツ今日政府ハ危險  
思想ト云フコトヲ頻リニ憂ヘテ居リマス、又國民モ此危險  
思想ノ傳播ヲ憂ヘテ居ルノデアアル、併ナガラ危險思想ヲ防  
止スルト云フコトハ、一番能ク徹底的ニ了解ヲサセルト云フ  
コトガ、危險思想ノ何ヨリモ、防止デアリマス、(ヒヤ)〇  
此間吉良元夫君ガ此所デ孔子ノ言葉ヲ引カレマシタ、  
私モ爰ニ一ツ格言ヲ引キマス——一切ノ罪惡ノ根本ハ無  
明ナリ、(南無阿彌陀佛)ト呼フ者アリ、笑聲起ル)——  
御笑ニナルノハ御勝手次第、私ハ極メテ眞面目ニヤツテ居  
ル——是ハ佛教ノ言葉デアリマス、無明ト云フノハ物ガ分ラ  
ヌト云フコトデアリマス、能ク了解ヲスレバ危險思想必ズシ  
モ危險ナラズ、徹底的ニ了解ヲスレバ、即チ無明ノ闇ガ拔ケ  
レバ、過激主義必ズシモ過激主義デナイ、眞ノ了解ノ生ズル  
所即チ國民ノ思想ノ涵養デアアル、内務大臣ノ民心ノ統一、  
民力ノ統一、民力ノ涵養ト云フノハ、此點ニ於テ私ハ始メ  
テ完成サルコトデアルト思フノデアリマス、(拍手起ル)今日  
ハ此現實政治ヨリ少シク眼ヲ離シテ政治ノ與底ニ、理想デ  
アルトカ、哲學デアルトカ、若クハ宗教的精神デアルトカ云フ  
事ヲ、政治ノ與底ニ置カケレバナラヌト思フノデアアル(拍  
手)即チ偉大ニシテ敬虔ナル信念ト云フモノガ、政治ノ根  
柢ニハ必要デハナイカト思フノデアリマス、此點カラ考ヘマシ  
テ、精神の立場ニ在ル所ノ教育家及宗教家ニ政治ヲ開放  
スルト云フコトガ、尤モ有力ナル國策デアラウト思フノデアリ  
マス、(判リマシタ)モウソレデ宜シト呼フ者アリ)終リニ  
一言致シマス、此問題ニ就テ時々間違ヘテ居ル人ガアル、今

〇議長(與繁三郎君) 靜ニ...

日ハ政教分離ノ時代アルカ、宗教家ニ政治ノ權利ヲ與ヘルコトハ間違アルト云フコトヲ言フテ居ルハ、是全ク顛倒シテ居ルノデアリマス、政教一致アルレバ、宗教家ハ國家ノ公務ノ地位ニ在ルノダカラ、參政ノ權ガ無クテモ宜シ、被選舉權ガ無クテモ宜シ、然ルニ政教分離致シマスレバ、即チ宗教ト云フモハ國家ノ前ニ、何等ノ特權モ持テ居ラナイモノデアアル、即チ宗教ト云フモノハ、只ダ一個ノ私ノ事ニ外ナラナイモノデアアル、既ニ宗教ハ只ダ一個ノ私事ニ外ナラナイモノデアアル、其職責ニ在ル所ノ僧侶其他ノ諸宗教師ニ、國民ノ公權アル所ノ被選舉權ヲ與フルト云フノハ、是ハ亦當然ナル合理的ノ要求デハナイカト思フノデアリマス、即チ政教分離ノ國ハ、西洋各國トモ何レト雖モ、僧侶ニ被選舉權ヲ與ヘテ居ルノデアアル、千九百四年ニ佛蘭西ハ從來ノ國教制度ヲ破テ、政教分離ノ制度ヲ採リマシタ、夫レ以來直チニ僧侶ニ被選舉權ヲ與ヘタノデアリマス、此故ニ私ハ此際其等ノ事ヲ能ク御考下サイマシテ、國民ノ機會均等ヲ與ヘル爲メニ、僧侶其他諸宗教師ト云フヤウナ、此特別ニ扱ハレテ居ル所ノ階級ニ政治上ノ地位ヲ附與シ、一般國民ト社會上ノ同ジ待遇ヲ與ヘラレシコトヲ希望スル次第デアリマス、而シテ私ノ此建議案ハ、僧侶其他諸宗教師ト云フノデアリマスガ、私ノ趣意ハ衆議院選舉法第十三條第一項ニ掲ゲテアリマス、所ノ神官、神職ノレカラ僧侶、其他諸宗教師、及小學校教員ト云フ、總テノ宗教家及教育家ニモ私ハ之ヲ共通シテ希望スル次第デアリマス、(拍手「其點シカリ」ト呼ブ者アリ)何卒政府ハ適當ナル方策ヲ講ジ、速ニ之ガ解決ノ途ヲ講ゼラレンコトヲ要求スル次第デアリマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ濱田國松君外二名提出、府縣制中改正法律案外九件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第三十四、東京外國語學校修業年限延長二關スル建議案ヲ議題ニシマス

菅原傳君

第三十四 東京外國語學校修業年限延長ニ關スル建議案(菅原傳君外三名提出)

東京外國語學校修業年限延長ニ關スル建議案  
東京外國語學校修業年限延長ニ關スル建議案  
外國語ニ熟達シ實務ニ適スル人材ヲ要スル愈切ナルモノアルヲ認ム政府ハ速ニ東京外國語學校ノ修業年限二箇

年ヲ延長シ其ノ内容ヲ充實シ以テ國家ノ要求ニ應セシムコトヲ望ム

右建議ス

〔菅原傳君登壇、拍手起ル〕

○菅原傳君 學校ノ事ニ就キマシテハ、昇格問題等アリ、世間器々タル場合デアリマス、此案ノ如キモ若シ今後混淆サレルヤウナコトガアリマシテハ、發案者ニ於テ最モ遺憾トスル所デアリマス、故ニ少シク趣意ヲ申述セルノデアリマス、時問ノ無イ場合甚ダ恐縮デアリマス、此點諸君ノ御諒恕ヲ請ヒ置ク次第デアリマス、(御悠クヲ願ヒマス)ト呼フ者アリ)外國語學校ノ修業年限延引ノ事ハ、昨年ノ議會ニ請願トシテ滿場一致可決セラレタノデアリマス、當時本員モ紹介ノ一人デアラガ故ニ、今回此建議案ヲ提出スルニ至ラタリデアリマス、御承知ノ通り此學校ノ前身ハ、遠ク幕末ノ頃蕃書取調所、或ハ洋書取調所、其後ハ開成所等ノ名デアラタノデアリマス、外國語學校ノ名稱ヲ附セラレタノハ明治六年頃デアリマス、サウシテ其後十有餘年間繼續シテ、明治十八年頃デアラタリ記憶スルノデアリマス、高等商業學校ノ設立ト同時ニ是ガ廢校ニナタノデアリマス、其後明治二十九年日清戰爭後、帝國ノ興隆ト同時ニ、諸外國トノ運輸交通貿易等ノ事モ盛ニナタノデアリマス、自然ニ此外國語學校設立ノ必要ヲ感ジタノデアリマス、二十九年ニ衆議院ニ於テモ貴族院ニ於テモ、此學校設立ノ建議案ガ出タノデアリマス、當局者ニ於テモ、之ヲ諒トシ、調査論議ノ結果、確カ明治三十一年ト思ヒマス、高等商業學校ノ附屬トシテ設立ニナリ、翌三十二年獨立シテ東京外國語學校ガ設立セラレ、サウシテ今日マデ繼續シテデアリマス、此間ニ於テ學生モ二千有餘ヲ出シ、國家ニ貢獻シタコトモ多ク、日露戰爭ナリ北清事件等ニ於テモ、數百ノ人中ニ盡サレタコト云フコトデアリマス、而シテ管ニ學生ヲ出シ、世ニ貢獻シタコト云フコトデアリマス、此年間ニ於テハ、非常ニ語學ノ種類モ又學科モ増加シテ來タノデアリマス、此點諸君ノ御諒解ヲ願ヒ置キタイ所デアリマス、語學ノ如キモ初メハ英語トカ、佛蘭西語ト云フヤウナモノデアラタノカ、今日ハ獨逸語モ、支那語モ、朝鮮語モ、伊太利語モト云フヤウニ、十餘箇國ノ語ヲ教授スルニ至ラタノデアリマス、而シテ此語學ノミデハナイノデアリマス、他ノ學科ヲモ加ヘナケレバナラヌト云フコトニナタ、何ノ必要カ時勢ガ要求スルノデアアル、昔ハ外國語ヲ話セルトカ、或ハ書クト云フコトナラバ、一廉ノ御役ニモ立タノデアリマセウガ、今日ノヤウニ世ガ進ンデハ、只ダ語學ノミデハイカスノデアアル、他ノカヲモ加ヘナケレバナラヌト云フヤウナ譯合テ、他ノ學科ヲ追、加ヘテ來テ、只ダ國語トカ或ハ修身ト云フヤウナ外ニ、歴史ナリ、或ハ教育ニ關スル

事ナリ、或ハ法律ナリ、其他經濟ト云フヤウニ、漸次學科ヲ加ヘテ來ルノデアリマス、勿論語學ト云フコトモ、斯ウ云フ他ノ學力ガナケレバ、實際複雜シタ實用アル所ノ用事ハ足セナイノデアリマス、能ク人ガ言フ通り語學ナドヲ習テ、「シキスビヤ」ハ讀メテモ、倫敦「タイムズ」ノ記事ガ能ク解ラヌト云フヤウナコトガアリマス、カガ無ケレバ、外國語デ外國人ノ心ノアル所ヲ此方ヘ探リ、此方ノ心アル所ヲ彼ニ移スト云フコトハ至難デアリマス、故ニ語學ノ外ニ他ノ學科ヲ増加スルコト云フコトハ、是ハ時勢ノ進運已ムヲ得ザル所、實ニ必要ナ事ト思フノデアリマス、是等ノ點カラシテ、學校ノ教師等ニ於テモ、隨分苦慮シタノデアリマセウガ、文部當局ニ於テモ餘程心配セラレ、大正六七年ノ交ニ於テハ、校舍ノ設立——其爲メニ此議會ニ於テモ協賛ヲ與ヘタノデアリマス、或ハ貿易科トカ植民科ト云フモノヲ加ヘヤウ、サウシテ名稱ノ如キモ東京外國語學校デハナク、東京貿易植民學校ト云フヤウナ名モ付サウト云フ内議モ、タサウデアリマス、此名稱ノ事ハ、內議ダケデ、是ハ行ハレナイノデアリマシタガ、他ノ學科ヲ加ヘルト云フコトハ、遂ニ大正八年ニ於テ行ハレタノデアアル、外國語學校ノ設立以來ノ大革命トモ謂フベキ、學科ノ大變革ガ行ハレタノデアリマス、詰リ文科ト貿易科ト植民科ト此三部ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ實ニ學生ノ爲ニモ學校ノ爲ニモ一般ノ爲メニモ結構ナ事デ、慶アベキ事デアリマス、語學以外ニ他ノ學科ヲ加ヘタト云フコトハ、實ニ慶アベキ事デアリマス、去リナカラ慶アベキ事デアアル同時ニ、半面ニ於テハ非常ナル缺陷ガ生ジタノデアアル、ソレハ、何デアアルカ、時間ノ缺陷デアアルノデアリマス、同じ學生ニ同じ時間ニ於テ、倍加シタル所ノ學科ヲ教授スルコトハ不可能デアリマス、一升ノ枘ニ二升ノ量ヲ容ル、ト云フコトハ出來ザルト同様デアリマス、強ヒテ同ジ年限間ニ倍加シタル所ノ學科ヲ教授シヤウトスレバ、學生ノ健康ヲ害シ、習フ所ノモノガ半端ニナル、語學モ半分他ノ學科モ半分ト云フヤウニ、餘リ面白カラザル結果ヲ來シタノデアリマス、此所ガ實ニ大切ナル所デアアル、今申上ゲマス通り語學ノ點ニ於テモ、他ノ學科ノ點ニ於テモ、語學校ハ非常ナル進歩發展ヲシテ居ルケレドモ、年限二就イテハ一向變リガナイ、同ジ三年デアリマス、是ガ大缺陷デアアル、立派ナ人ヲ仕上ゲヤウトスルニハ、文部當局ニ於テモ、此缺陷ヲ補フコトニ大ニ注意セナケレバナラヌ、考慮セナケレバナラヌ、是レ二年ノ期間延長ヲ建議スル所以デアリマス、(拍手)一體普通カラ申シマシテモ、當前ノ學生ナラバ、一年デモ早く卒業シテ世ニ立チタイト云フノガ人情デアリマス、然ルニ此學校ノ人々ハ、一年ナラヌ二年モ長クシテ勉強致シタイト云フ希望デアアル、此學校ノ出身者モ

亦同ジ希望ヲ有テ居ル、サウシテ此學校ノ校長ナリ先生方モ同様ナ希望ヲ持テ居ル、私ノ如キモ實ニ是ト感テ同ジウスルノデアアル、(拍手)是等ノ人ハ名ヲ求ムルノデハナイ、實ヲ求ムルノデアアル、穩健著實ナル所ノ内容ヲ充實シタイト云フ、立派ナル希望デアアルト思フノデアリマス、(拍手)會ニ學生ノ爲メトハ云ハス、社會ノ爲メニ帝國ノ進運ニ應ズルガタ、名モ實モアル所ノ學生ヲ輩出スルヤウニ致シタキコトハ、發案者ノ希望シテ已マヌ所デアリマス、願クハ諸君ニ於テモ是非御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○岩崎勳君 本案ハ砂田重政君外二名提出、小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三十五、北海道本州連絡完成ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス—阿部武智雄君

第三十五 北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(伊藤廣幾君外四名提出)

北海道本州連絡完成ニ關スル建議案

北海道本州連絡交通機關ハ青森函館間ノ一路ニ過キサルヲ以テ極メテ不備不便ニシテ北方開發ノ進展ヲ妨クルヤ甚シ故ニ政府ハ速ニ之カ準備方法トシテ左記鐵道ノ完成ヲ期シ且青森港ノ海陸設備ヲ完ウセラレムコトヲ望ム

- 一 青森縣下青森ヨリ三厩ニ至ル鐵道
- 一 青森縣下五所川原ヨリ小泊ニ至ル鐵道
- 一 青森縣下田名部ヨリ大間ニ至ル鐵道
- 一 北海道戸井ヨリ函館ニ至ル鐵道
- 一 北海道福山ヨリ上磯ニ至ル鐵道

右建議ス

〔阿部武智雄君登壇、拍手起ル〕

○阿部武智雄君 一タヒ北海道ニ御出デニナシタ方ハ能ク御承知ノコト、思ヒマスガ、北海道本州トノ連絡ノ狀況ハ、現在ニ於テハ非常ナ不便ヲ感ズルノデアリマス、此連絡ノ方法ヲモウ少シ完全ニシテ貫ヒタイト云フノガ、此建議案ノ本旨デアリマスガ、詳シイ數字ノ事ナドハ何レ委員會デ申上ゲマスルガ、一口一寸簡單ニ申上ゲテ置キタイノハ、此問題ハ青森カラ函館ニ渡ル航路デ只今ハ航海ヲシテ居リマスルガ、之ヲ彼ノ陸奥灣ノ東ト申ト西ヲ渡リマシテ北海道ニ渡テ行クト極ク短イ航路デ行クトガ出來ル、此

路ヲ通りタイト云フノガ此建議ノ趣旨デアリマス、尙ホ北海道ニ渡リマシテハ、西ヲ渡ルト北海道ノ福山ニ渡リマシテ、福山カラ函館ニ連絡シテ行ク、東ヲ渡リマスルト戸井或ハ釜石ニ渡ラテ、ソレカラ函館ニ渡ラテ行クト云フ連絡ニナリマスガ、其等ノ詳シイ事ハ何レ委員會デ申上ゲマス、ガドウノ御贊成アラコトヲ望ミマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三十六、木次三次間鐵道建設ニ關スル建議案、此建議案ノ提出者ハ、印刷ニナテ居リマスカラシテ、趣旨ノ辯明ハシナイト云フコトデアリマス

第三十六 木次三次間鐵道建設ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)

木次三次間鐵道建設ニ關スル建議案

高根縣下木次驛ヨリ飯石郡來島村ヲ經テ廣島縣下三次驛ニ至ル沿道一帶ハ鬱蒼タル大森林ノ在ルアリテ獨リ林産及農産等ノ物資供給ノ豐富ナルノミナラス尙陰陽兩道ノ連絡上其ノ繫ルコト極メテ重要ニシテ之ヲ大ニシテハ國防上之ヲ小ニシテハ地方ノ開發上及産業ノ促進上至大ノ關係ヲ有ス異者政府カ作成セル鐵道網中此ノ幹線ヲ加ヘタルニ鑑ミルモ亦以テ其ノ之ヲ輕視スヘカラサル所以ヲ徵スヘシ故ニ政府ハ速ニ之ヲ調査シ以テ其ノ速成ノ途ニ出テムコトヲ要望ス

右建議ス

○岩崎勳君 本案ハ、日程第二十四ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三十七、落合木次間鐵道起工年度線上ニ關スル建議案ヲ議題ニ付シマス、本案提出者モ書面ニアリマスカラ、説明ヲシナイト云フコトデアリマス

第三十七 落合木次間鐵道起工年度線上ニ關スル建議案(佐野正雄君外五名提出)

落合木次間鐵道起工年度線上ニ關スル建議案

落合木次間鐵道起工年度線上ニ關スル建議案

落合木次間鐵道起工年度線上ニ關スル建議案

第三十八 日向沿岸國庫補助港設定ニ關スル建議案(長峰與一君外二名提出)

日向沿岸國庫補助港設定ニ關スル建議案

日向沿岸國庫補助港設定ニ關スル建議案

東九州日向沿岸ニ完全ナル港灣ヲ設備スルコトハ産業開發ノ爲緊要ナリ依テ政府ハ適當ナル港灣ヲ選ヒ國庫補助港ヲ設定シ速ニ修築ニ着手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○長峰與一君 建議ノ趣旨並ニ理由ハ委員會ニ讓ルコトニ致シマシテ、何卒御贊成ヲ希望致シマス

○岩崎勳君 本案ハ日程第二十一乃至二十三ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三十九、恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ付シマス—高木正年君

第三十九 恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)

恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案

恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案

現行官吏恩給法及軍人恩給法ハ執レモ明治二十三年ノ制定ニ係リ其ノ後數次ノ改正ヲ施シタルモ尙不公平ニシテ現狀ニ適セサル點多ク且複雑多端ナル恩給法規ノ統一ヲ要シ根本的ニ之カ改正ノ急務ナルコトハ前議會ニ於テ政府當局者ノ言明スルトコロナリ政府ハ速ニ適當

ノ調査ヲ遂ケ來第四十五議會ニ之カ提案ヲ爲スヘシ  
右建議ス

○高木正年君 此建議案ハ時刻モアリマセヌカラ、此席  
ヨリ事項ダケヲ申シマシテ御贊成ヲ求メマス、昨年改正ノ  
際ニ、政府ハ横田法制局長官ヲシテ、根本的ノ改正ヲ來ル  
ベキ年度ニ於テ實行スルト云フ聲明ガアリマシタ、私共ハ  
此聲明ノ實現ヲ待テ居ラシメテ、本年ノ會期モ  
終ラントスル今日迄、恩給法ニ關スル根本ノ改正ガ現ハレ  
テ居ラスノデアリマス、隨テ此建議ヲ爲ス次第デアリマス、  
此建議ヲ爲ス事項ヲ、私ハ演說ノ代リニ申上ゲテ御贊成ヲ  
願ヒタイト思フノデアリマス、軍人恩給ニ就キマシテハ昨年  
改正ニナリマシタケレドモ、尙ホ缺點多キ恩給法デアルガ故  
ニ、近藤君ヨリモ又仙波君等ヨリモ御提出ニナリテ居ル、私  
ノ此建議モ矢張ソレト共通ノ意味ヲ持ッテ居リマス、勿論  
金額ニ就テハ幾分程度ガ違テ居リマスケレドモ、要スルニ  
是等ノ案ハ共通ノ意味デアリマス、唯々其外ニ附加スベキ  
事ハ、文武官ヲ併セテ、文官ニ於テモ矢張缺點ノ多キ所ヲ  
此建議ニ依テ訂正ラシ、相當ノ恩給額ニ之ヲ增加スルト  
云フ意味ニナリテ居ルノデアリマス、ソレカラ文武官共通デ  
要求シマスル事柄ハ、恩給ヲ初メテ受ケ、マシタ所謂受恩給  
者トナリ、場合、本人ノ要求ニ依ッテハ、公債拂フ爲スベキ  
コトノ規定ヲ置クコト、又資金ノ必要アル者ハ、從來ハ抵  
當權ト爲シタノデアリマス、是ハ今日恩給法ニ禁ジテア  
リマス爲メニ、頗ル不便ヲ感ジテ居ルガ故ニ、郵便局ヲシテ  
三年間ノ假拂ヲ爲ス便宜法ヲ設クルト云フコトガ一箇條、  
又受恩給者デ既ニ恩給ヲ受ケテ居ル者ガ、今後ノ恩給ヲ  
一時拂フ受ケントスル者ニハ、矢張之ヲ公債ニ依ッテ立替  
拂フスル方法ヲ設クルコト、其他昨年鳩山一郎君ヨリ建議  
ニナリマシタ、各官省ノ雇員及該建議ニ對スル委員會ノ決  
議トシテ附加ヘタル所ノ僱員ノ恩給ノ件、ソレカラ地方費  
ニ依ッテ恩給ヲ受ケテ居ル者ガ官吏タル場合ニ於キマシテ、  
恩給ノ通算法ガ設ケテナイ、例ヘバ巡查看守ノ恩給ハ地  
方費ニナリテ居リマスガ、官吏トナル場合之ヲ通算スル制度  
ハ今日設ケテナイ、其他之ニ類似シタル地方費ニ依ッテ恩  
給ニナル者ガ官吏トナル場合ニ於キマシテハ、總テ通算スル  
方法ヲ設ケタイ、鐵道ニ於ケル機關庫業務員ニ對スル從  
來ノ恩給ノ如キ、低度ノ手當ニナリテ居リマスガ、之モ極メ  
テ不完全デアアル、斯ノ如キ各種ノ恩給類似ノモノヲ、總テ  
恩給法ノ下ニ根本立法ヲスル、尙ホ附加ヘマスルガ、海軍  
ニ於ケル造兵廠陸軍ニ於ケル工廠 是等ノ人ニ對シテ  
モ、矢張均一ニ從來ノ手當ヲ改メテ恩給ト爲シ、總テノ者  
ヲ網羅シマシテ完全ナル恩給法ヲ設ケベシト云フコトガ、即チ  
此建議ノ趣意ニナリテ居ルノデアリマス、願クハ委員會ニ於

キマシテ適當ニ御審議ニナリマシテ、政府ニ建議シテ、政府  
ヨリ相當ノ發案アラシムコトヲ願ヒマス  
○岩崎君 本案ハ荒川五郎君外六名提出ノ、非役壯  
丁稅法案外四件ノ委員ニ合セテ付託セラレンコトヲ望  
ミマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第四十、福山三次  
間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、永屋茂君

第四十 福山三次間鐵道速成ニ關スル建  
議案(永屋茂君外二名提出)

福山三次間鐵道速成ニ關スル建議案

福山三次間鐵道速成ニ關スル建議案

廣島縣下福山市ニ起リ府中、上下ヲ經テ三次町ニ至ル  
ノ間鐵道敷設ノ必要ナルコトハ政府力今大鐵道敷設改  
正法律案ヲ提出セラレタルニ視ルモ明ナリ該鐵道ニ沿フ  
福山市及深安、廣品、甲奴、比婆、雙三諸郡ノ地ハ所謂  
中國ノ中樞ニ位シ産業上並軍事用兵上甚タ緊急切要  
ニシテ實ニ一日ヲ緩フスヘカラス政府ハ速ニ其ノ費額豫  
算ヲ定メ工事ニ著手セラレムコトヲ望ム  
右建議ス

右建議ス

○永屋茂君 第四十三議會ニ於キマシテモ、本建議案ト  
同様ノ建議案ガ出マシテ、可決サレテ居ルノデアリマス、隨  
テ其提出理由ノ内容ヲ詳細説明スル必要ハナイト存スル  
程ニ、速成ノ必要ナル鐵道線デアリマス、若シ此上詳細ノ  
説明ヲ必要トスレバ、委員會ニ於テ述ベルコト、致シマス、  
何卒滿場ノ御贊成アラシムコトヲ望ミマス  
○岩崎君 本案ハ日程第二十四外二件ノ委員ニ、合  
セテ付託セラレンコトヲ望ミマス  
〔贊成ニ贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第四十一、吉野縱  
貫鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、岩本平藏  
君

第四十一 吉野縱貫鐵道建設ニ關スル建  
議案(岩本平藏君外二名提出)

吉野縱貫鐵道建設ニ關スル建議案

吉野縱貫鐵道建設ニ關スル建議案

政府ハ奈良縣吉野郡大淀町吉野鐵道吉野驛ヲ基點ト  
シ同郡川上村上下北山村三重縣南牟婁郡五郷村飛鳥

村ヲ經テ大本町ニ至リ紀勢鐵道ニ聯絡スル鐵道ヲ建設  
シ以テ地方産業ノ開發運輸交通ノ便ヲ促進セラレムコ  
トヲ望ム  
右建議ス

右建議ス

○岩本平藏君 本案ハ幾度カ本院ノ請願トナリ、總テ採  
擇サレテ居ル所ノ鐵道デアリマス、殊ニ四十三議會ニモ建  
議ヲ致シテ、通過ヲ致シテ居ル所ノ線路デアリマス、然ルニ  
今回鐵道網ニ隙定線路ニ加テ居ラスコトヲ甚ダ遺憾トス  
ルノデアリマス、何卒政府ニ於テ速ニ調査ラシ、之ガ建設ヲ  
致シテ貫ヒタイト云フノガ本建議ノ趣旨デアリマス、何卒  
今回諸君ノ御贊成ニ依リマシテ、此趣旨ヲ貫徹シタイト思  
ヒマス  
○岩崎君 本案ハ日程第十六ノ委員ニ、合セテ付託セ  
ラレムコトヲ望ミマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第四十二、...

○岩崎君 議長

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君、何デスカ

○岩崎君 殘餘ノ日程ニ對シテ延期ノ動議ヲ提出シマ  
ス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認  
メマス、...

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイト認メマシテ之ヲ許可  
致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ届出アラシ  
ムコトヲ望ミマス、今日ハ是ニテ散會、明日ハ定刻ヨリ開キマ  
ス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後五時四十五分散會